東、經　香西（舊江木）道　吾　廣島
東、經　河崎（舊大橋）省　三　岡山
東、法　岡田正實　廣島
東、經　上林正矩　岡山
京、法　久山俊一郎　岡山
京、經　荊　嗣仁　支那
東、文　香西　精　岡山
京、法　酒井惠治郎　廣島
京、法　蔣　思道　支那
京、經　田中賴道（舊塚本、飯田）大阪
京、經　田村　陽　京都
京、文　長野賴一　愛媛
東北、法文　西澤正則　兵庫
東、經　平井壽夫　岡山
京、法　養田篤治郎（舊福武）岡山
東、法　前川龍夫　兵庫

東、法　遠藤芳樹　長野
東、法　岡崎茂左衛門　岡山
京、法　奥田良三　廣島
×木村新瀞　岡山
京、經　黒田久太兵　庫
東、文　小山東一　廣島
東、法　佐々木五郎　廣島
京、文　志智左右六　兵庫
東、經　高畑稔　香川
京、經　永井哲二　兵庫
東、法　長尾精千葉
京、經　西井親夫　岡山
東、法　濱田康吉　高知
東、文　平塚錦平　福岡
京、法　細川清大　分
東、文　松浦一六　兵庫

京、經　王爽一　支那
東、法　岡崎茂左衛門　岡山
京、法　奥田良三　廣島
×木村新瀞　岡山
京、經　黒田久太兵　庫
東、文　小山東一　廣島
東、法　佐々木五郎　廣島
京、文　志智左右六　兵庫
東、經　鈴木順一郎　三重
東、經　守安（舊高見）正夫　岡山
東、法　長尾精千葉
京、經　西井親夫　岡山
東、法　濱田康吉　高知
東、文　平塚錦平　福岡
京、法　細川清大　分
東、法　松尾慶　岡山

京、法　志茂源吉　奈良
東、法　宮崎五郎（舊武夫）靜岡
京、法　矢吹誠也　岡山
京、經　×山田正健　福岡
京、文　吉川武男　奈良
京、經　吉田勝太　岡山
京、法　若林義孝　岡山

東、經　平山道夫（舊三町）岡山
東、法　森　寛造　香川
京、文　藪田三郎　和歌山
京、文　×山田正之　大阪
京、法　大內主税（舊吉川）德島
京、經　李　捷才　支那

東、法　三宅哲一郎　岡山
東、法　森原元夫（舊山下）岡山
東、法　出口輝彦　兵庫
東、文　山脇重雄　愛媛
東、法　吉田荒次　岡山
東、法　和栗陽　岡山

文科乙類（三十九名）

東、法　秋月胤雄　東京
東、法　×松本（舊井上）保　岡山
京、法　上野達和　歌山
京、法文　岡田準次兵　庫
京、經　加島正一　廣島
岡、醫博　日下連　岡山
京、法　×小林種材　岡山

京、經　東隆一　和歌山
東、法　伊藤英三　廣島
東、法　內海靜雄　兵庫
京、文　岡田正三　廣島
東、文　川島俊二　和歌山
東、法　窪田角一　愛媛
京、文　周學普　支那

東、法　荒井庄次郎　香川
京、法　板野道夫　岡山
東、法　太田德藏　岡山
東、法　岡林辰雄　高知
東、法　吉良喜重　高知
東、法　小橋林　岡山
京、法　武永豪郎　兵庫

東、法　津田　豊岡山
東、法　萩原幸市　静岡
東、法　松本榮一郎　廣島
東、法　藪谷虎芳（舊横山）　和歌山
京、法　原井克己　兵庫
京、法　和氣勇夫　岡山
東、文　永岡文男　廣島
東、法　原野是男（舊的野）　廣島
東、法　加藤周造　福岡
東、法　山路定　廣島
京、法　吉田信（舊和田）　兵庫
京、法　三好助三郎　廣島
京、法　木野光之輔（舊馬場）　東京
東、法　廣岡見二　岡山
東、法　森谷克己　岡山
京、經　山本二郎　兵庫
東、法　吉原迪（舊鷲尾）　滋賀
東、文　藤井龍藏　兵庫

理科甲類（百十一名）

東、工　青木熊雄　岡山
東、工　芦田勉　岡山
京、工　井上映　和歌山
京、醫　稻田務　京都
京、工　上田一郎　岐阜
東、農　江野彌太郎　大阪
大島義明　山口
京、醫博　奥田惣三郎　大阪
東、醫　赤木滿洲雄　大阪
東、理　荒木健兒　岡山
京、工　五十嵐正男　群馬
東、工×入　交敏夫　高知
京、工博　上田太郎　奈良
東、農　牧夫（舊大内）　岡山
上田武彦（舊大西）　兵庫
東、理　奥村善雄　大阪
京、理　秋好弘　東京
東、農×荒木孝興　愛媛
京、農　石河英太郎　岡山
東、農　宇田川長三　北海道
東、工×上田輝雄　滋賀
九、工　大島光義　兵庫
京、工　太田道　廣島
東、工　鬼塚彌太郎　福岡

東、農　加藤多計夫　靜岡
東、農　片山素臣　廣島
東、理　河田學夫　岡山
京、工　木村惠一　東京
東、理　金良　平安朝鮮
東、文　近藤一郎　長崎
東北、理　佐々木彌三郎　宮城
東、工　齋藤治巳　兵庫
京、工　柴啓之（舊三郎吉）　大阪
九、工　下村博　岡山
京、理　庄山清一　三重
京、工　曾野重雄　和歌山
東、農　戴本中　支那
京、文×高島元太郎　岡山
東、醫　竹井清　香川
東、工　富山順二　岡山
九、工　加藤龍造（舊川井）　島根
東、農　宮原涉　岡山
東、理　喜多重俊　奈良
東、農　木村卓　岡山
東、農　黒村升　山口
東、文　近藤誠行　岡山
東、理　齋藤隆二　兵庫
京、工　坂本三雄　東京
京、工　柴田晃　兵庫
九、工　下村正俊　高知
京、工　杉野原文顯　廣島
京、工　藪忠顯　兵庫
東、農　中支那
京、文×高島元太郎　岡山
東、醫　竹井清　香川
東、工　富山順二　岡山
東、工　垣内富士雄　和歌山
東、北工　河相進　廣島
京、工　木下芳平　和歌山
東、農　菊澤正達　三重
京、工　桑畑二四夫　兵庫
京、理　近藤正義　大阪
東、理　齋藤隆二　兵庫
京、工　塩津均　香川
京、醫　島村脩一　大阪
九、工　謝傑　支那
東、文　杉原重治　大阪
京、理　田伏喜三郎　京都
九、工　高橋精雄　德島
京、文　瀧迫辰巳　廣島
東、工　谷村健助　高知
東、文　中野道　大阪
京、工　高見太一　兵庫
京、工　立神弘洋　岡山
京、工　中川久次奈　良

京、工　中村義之　岐阜　東、農　丹羽良彦　東京　東、農　新元八通雄　鹿兒島
九、工　坂本辰馬　岡山　京、工　波多野保夫　岡山　京、工　八條健三　大阪
岡、醫　濱田英次郎　岡山　京、工　濱田安松　兵庫　東、工　原田倫道　岡山
岡、醫×原田要一　岡山　千、醫　平杉善壽群馬　東、理　平野不二夫　新潟
京、理　廣本文四郎　廣島　京、工　福田文矢　廣島　京、文　藤井榮一　京都
京、工　藤井公雄　岡山　東、工　藤田駿　福岡　東、工　藤原竹雄　岡山
岡、醫　藤原東一郎　岡山　東、理　藤山論吉　岡山　京、工　細井義一　香川
九、工　前園千代次　福岡　京、理　前田豐　兵庫　京、工　交川有　大阪
東、工　增井敏夫　京都　東、農　松浦忠夫　兵庫　京、工　香川象達（舊三浦）　島根
東、文　村岡朝日　廣島　九、工　妻鹿爲之　兵庫　東、工　山田誠　廣島
京、經×山路敏夫　福岡　東、農　山本隆道　岡山　京、工　余緯斯　支那
東、理　吉崎（舊賴）昊　廣島　岡、醫　吉田和男　岡山　東、農　吉村趙敏　山口
京、工　榎操六　廣島　東、工　和田重威　奈良　京、理　脇田裕　廣島

理科乙類（三十七名）

京、醫　香西（舊鷹原）源吉　香川　京、醫　伊藤三郎　岡山　京、醫博　石原象一　岡山

九、醫博　一宮勝三郎　兵庫　岡、醫×榎（舊岩井）木知義　兵庫　東、醫　岩本薰　廣島
東、理博×上住昇　岡山　千、醫　太田垣豐穗　鳥取　京、醫博　大矢全節　大阪
東、醫博　岡正　岡山　京、醫　神原廉三郎　廣島　京、醫×岸丹平　德島
東、醫　藤井（舊桑田）實　廣島　京、醫博　小林源藏　廣島　千、醫　三枝敏　千葉
岡、醫　神藤達男　愛知　新、醫　瀨尾貫二　兵庫　東、醫×竹中勇夫　和歌山
東、醫博　登倉裕德　千葉　岡、醫　菫道善　支那　東北、醫博　長尾資貞　北海道
東、醫博　成廣辰一郎　岡山　京、醫　西垣雄太郎　京都　東、農　筒井（舊原田）六一郎　兵庫
岡、醫博　檜垣律夫　廣島　京、醫　平岡都一　岡山　九、醫　橋本（舊平野、牧園）文吾　福岡
京、文　廣岡孝　大阪　岡、醫　古田壽次　岡山　九、醫博　前田正隆　兵庫
東、醫　三上富太　岡山　岡、醫博　三谷登　岡山　岡、醫博　村上立男　岡山
岡、醫　森田一雄　岡山　東、醫　守屋博　岡山　九、醫　安原哲男　岡山
京、理　李鵬迅　支那

○第二十三回卒業生（大正十四年三月十三日卒業）　計二百四十六名

文科甲類　（七十六名）（五十音順）

東、經　阿河壽一　香川
京、經　青景讀惠　廣島
東、經　一法師章藏　大分
東、文　小野晃嗣（舊均）　岡山
東、法　大野勝三　岡山
京、法　香川龍雄　廣島
京、文×木村文雄　岡山
東、經　久保佐一　兵庫
京、法　小西武夫　兵庫
京、法　島村正二（舊鈴木）　岡山
京、法　山田校一　岡山
東、法　高戸楚一郎　岡山
東、法　立林文二　岡山
東、法　中隈勝福　岡
京、法　中平光治　高知
京、法　長島孝兵　庫

京、法　井關照夫　和歌山
京、經　池勝一　高知
京、法　瓜谷篤治　兵庫
京、法　王惠中（舊奥野）　支那
東、法　湯地謹爾郎　和歌山
東、法　唐島基智三　廣島
東、法　清岡雅雄　高知
東、法　補見義男　兵庫
京、經　佐竹靜榮　岐阜
東、文　所司舜一　岡山
京、法　田坂政養　廣島
京、經　瀧川勝二　兵庫
東、法　鄭光鉉朝鮮
京、法×中堂純司　兵庫
京、法　長尾敦　廣島
京、法×永松昌大　阪

東、經　青景讀惠　廣島
京、經　飯田信一　長崎
東、經　植田秀夫　香川
京、法　小野田常太郎　岡山
東、法　奥田心作　岡山
京、法　梶浦竹三郎　兵庫
京、文　木山實　岡山
東、經　葛野友太郎　兵庫
京、經　北村常夫（舊小林）　岡山
京、經　周正毅（舊敬諭）　支那
京、法　田上辰雄　山口
京、經　高橋進　京都
東、法　輕愛媛
京、文×丹中田雄一　兵庫
京、法×中村健　岡山
京、法　長尾敦　廣島
京、法×永松昌大　阪

東、法　檜原勉（舊國三郎）　兵庫
京、文　能仁事教　岡山
京、法　春名正美　岡山
東、法　福宮寛三　香川
東、法　船引守一　兵庫
京、法　松本完三　大阪
東、法　宮本吉夫（舊村上）　和歌山
東、法　小野績　岡山
東、經　山本勝利（舊進）　香川
京、法　渡邊寛三郎　廣島

文科乙類（三十六名）

京、法　赤瀬多四郎　奈良
東、法　石田辰巳　岡山
京、文　大山定一　香川
東、法　筧康之　香川
東、法　神尾徹　廣島

京、法　根岸菊男　岡山
京、法　早川勝　兵庫
京、法　春名正美　岡山
東、經　山本勝利（舊進）　香川
京、法　渡邊寛三郎　廣島

東、經×野々山猛　岡山
京、法　原田起一　兵庫
京、經　福永龍二　兵庫
京、經　藤原勉之　廣島
東、法　前川透　兵庫
東、法×宮本繁　廣島
東、文　村尾薫　香川
東、法　矢坂正信（舊林）　大分
京、經　城田平祥　臺灣

東、法　井田賴三　廣島
東、法　味岡靜　兵庫
東、法　江口克夫　岡山
京、法　香川幸　廣島
東、經×齋藤光雄　兵庫

京、法　阪中誠一郎　和歌山
東、法　周藤忠俊　岡山
東、法　田中克己　香川
京、法　谷口秀雄　廣島
東、經　坪田洋吉郎　岡山
東、文　中島勝兵庫
東、法　雜波恭一　岡山
東、法　長谷深　岡山
東、法　萩原芳　岡山
京、經　花房壽一　岡山
京、經　永宗明　岡山
京、經　平尾幸豐　德島
京、經　大橋（舊藤田）勉二　岡山
京、文　松井守　靜岡
京、經　間部昇　岡山
京、文　守谷英次　岡山
京、法　八木謙太郎　兵庫
京、法　野呂（舊世古）正達三重
京、法　谷口秀雄　廣島
東、法　永宗明　岡山
東、經　長谷川藏　廣島
京、經　日比憲一　岐阜
京、法　增田敏愛　媛
東、經　森安孝　兵庫
京、經　林鏡秋　支那

理科甲類（九十六名）

京、工　青木精太郎　岡山
東、農　赤木隼男　岡山
九、工　芦田英太郎　京都
東、農　安集雲　支那
千、醫　猪足半六　廣島
東、理　井上克二　香川
九、工　井上哲夫　廣島
東、工　伊藤新一　岡山
東、工　生野勝郎　佐賀
京、理　石部（舊大粟）修　廣島
長、醫　岩本忠國　島根
東、工　內田弘四　岡山
東醫　富野德德　島
京、工　大久保一郎　德島
岡、醫　大島松一　岡山
京、工　岡上富三男　高知
京、醫　香川勘右衛門　香川
京、工　岡野一　岡山

東、工　香川輝敏　香川
東、工　梶村教之　滋賀
京、農　木戸實　京都
東、理　清利良德　岡山
京、工　國友善五郎　廣島
京、醫　小龜正雄　香川
岡、醫　齋藤義次　岡山
東、工　下垣內繁美　廣島
東、工　庄司元三　山梨
京、工　田中延一　廣島
京、工　田村雄一　岡山
京、理博　竹上藤七郎　京都
九、工　津田不二三　滋賀
九、農　戶田修一郎　岐阜
臺北、文　中川彌一　兵庫
東北、理　仁科存　岡山
東、理　片山徹　岡山
千、醫博　川名正義　千葉
東、理　木山英一　岡山
東、理×　久原壽德　島
京、工×　桑邸平雄　岡山
京、工　近藤貞雄　岡山
千、醫　櫻井蕭愛　知
東北、工　謝富德　支那
東、醫　杉山常三郎　青森
京、工　田中明雄　岡山
京、農　高橋武雄　廣島
東、醫　竹內貫一郎　岡山
東、醫　寺岡辰廣　島
東、理博　道野鶴松　大阪
岡、醫　山本（舊永瀨）靖造　岡山
東、工　西村源六郎　高知
東、工×　梶喜一　大阪
九、工　神崎三郎　福岡
岡、醫　岸毅郎　島根
東、工　久留間貞吉　岡山
京、工　栗山巳紀雄　東京
岡、醫　佐藤喬　岡山
京、醫　四宮雅實　德島
京、工　庄源兵衛　廣島
東、農　田島義正　大阪
京、工　田村正一　香川
京、工　瀧清弘　岐阜
東、農　武田武次　岡山
東、理　都相祿朝　鮮
京、工×　德田次郎　香川
九、醫　難波茂男　岡山
東、工×　西村俊夫　香川

東、醫　野上　隆　岡山　京、醫　野間　寶　廣島
岡、醫博　蜂谷道彦　岡山　京、工　濱崎章二郎　兵庫
金、醫　平井純磨　大阪　京、文　平木　健　島根
岡、醫　福本清治　兵庫　九、工　伏見治三郎　香川
京、工　船岡　茂　廣島　京、農　古川紀夫　熊本
岡、醫博　三木行治　岡山　東、文　村上寛逸　愛媛
京、工　本中角市　廣島　京、工　森　西次郎　大阪
東、理博　森島太郎　和歌山　九、醫　守屋雅太　岡山
京、理×　山下　滋　石川　東、理　山下四郎　大阪
東、工　湯淺英雄　岡山　京、醫　吉野五郎　大阪
京、經×　長谷川爲雄　大阪

理科乙類　（三十八名）

新、醫　佐藤（舊麻生）誠　茨城　九、醫博　淺越嘉威　岡山　東、醫　井上文夫　奈良
東、醫×　伊藤　壽　兵庫　京、醫　飯塚　敏　京都　京、醫　池田榮夫　和歌山
東、醫博　上住　定　岡山　東北、醫　江川峯千賀　德島　岡、醫　小野田良一　岡山
東北、工　王　吉　格　支那　金、醫博　大槻嘉男　京都　金、醫　大林次彦　廣島

東、醫博　岡西順二郎　岡山　岡、醫　加藤五郎　靜岡　京、農　河內山一郎　山口
京、醫　北岡行男　奈良　岡、醫×　葛原弘惠　岡山　岡、醫博　桑原良一　岡山
京、醫　小山三郎　香川　岡、醫博　佐藤秋夫　岡山　九、醫博　篠山信成　岡山
東、農　澤　良三　兵庫　岡、醫　鈴木　章　岡山　岡、醫　高島正夫　岡山
岡、醫　玉尾延忠　香川　岡、醫博　玉木康允　香川　京、文　花田正夫　岡山
東、醫藥博　林平三郎　岡山　長、醫博　藤澤秀圓　香川　金、醫　眞屋一郎　香川
金、醫　前田道忠　香川　東、農　前田　稔　兵庫　金、醫　村越　弘　廣島
九、醫　孟　憲　蓋支那　東、醫　安井英一　岡山　新、醫　山岸　進　愛知
京、醫　山本三郎　香川　金、醫博　渡邊義雄　京都

○第二十四回卒業生（大正十五年三月十三日卒業）　計二百五十四名

文科甲類　（七十六名）　（五十音順）

東、經　天野祐一　兵庫　東、法　井上　修　和歌山　東、經　井村景一　三重
東、法　揖場　保　兵庫　京、法　飯田　博　滋賀　東、文　石原英夫　岡山
京、經　犬飼虔夫　岡山　東、法　石丸弘衛　兵庫　東、文　植田虎雄　岡山

東、經　内田清太郎　香川
東、法　榎本秀一　廣島
東、法　服部克巳（舊大澤）　愛媛
京、法　大田久彌　兵庫
京、經　大野榮一郎　岡山
東、法　大森浩　岡山
京、法　奥村幹男　滋賀
京、文　景山直治　岡山
京、法　笠谷莞二　廣島
東、法　勝村金造　廣島
東、經　川鰭俊文　愛媛
東、經　岸本直行　廣島
東、法　久保田克己　京都
京、法　熊谷勝　京都
京、法　熊谷達之助　京都
京、經　小谷嘉三　大阪
東、文　小寺三郎（舊小松原）　岡山
東、法　小西忠嗣　廣島
東、文　小畠元雄　兵庫
東、法　平田丈松　岡山
東、法　苔口章　岡山
京、經　高翔　鴿支那
東、法　坂田修一　廣島
東、法　重成二郎　岡山
東、法　柴原滿　岡山
東、法　徐曰從　支那
東、農　莊奕馨　支那
東、法　田口愼勇　和歌山
京、經　高橋道章　廣島
京、法　竹中義郎　和歌山
京、文　龍田千秋　和歌山
東、法　谷本利夫　兵庫
京、法　寺川光男　愛媛
京、法　東鄉一郎（舊信原）　兵庫
東、經　中西捷兒　岐阜
東、法　中村芳次郎　大阪
京、法　富谷統　岡山
京、經　馬場好太郎　岡山
東、經　島稔　岡山
東、經　山本眞次郎　兵庫
濱田常男　高知
東、法　平賀潤二　岡山
東、法　平田武之　岡山
東、法　廣崎潔　大分
東、法　志賀孝三（舊藤田）　兵庫
京、經　逸見賢二　岡山
東、法　三竿紋四郎　岡山
東、法　眞鍋茂一　香川

東、法　水川依夫　岡山
九、法文　三宅忠三（舊森）　廣島
東、法　三宅日吉　廣島
東、法　守屋典郎　岡山
東、經　湯淺健次　岡山
京、法　雷榮珂（舊渡邊）　支那
東、經　三好孝　岡山
京、法　光岡徹　岡山
京、法　村崎滿德　島
東、法　三宅（舊森）光岡博　岡山
京、經　猪飼昌一　滋賀
東、法　小野田快雄　岡山
東、經　梶川義郎　廣島
東、法　川村尚賢　三重
東、法　小島貞　岡山
東北、法文　佐野川豫雄　山梨
京、法　井口先友　兵庫
京、經　石橋長七　和歌山
東、法　池內義郎　廣島
東、經　岡川勝平　香川
東、法　金子正則　香川
東、法　木田川勝雄　福井
東、經　佐藤勝馬　岡山
東、法　作田正已　廣島
東、法　三村善壽郎　岡山
京、法　門田實　廣島
東、法　守屋秀雄（舊山中）　岡山
東、經　篠原茂　山口
東、經　吉村博志　岡山
渡邊雄　廣島
京、法　青木順一　大阪
東、法　組橋和夫（舊正夫）　香川
東、法　佐藤嘉男（舊澤田）　岡山
東、文　平尾三郎　兵庫
東、文　伊藤博　愛知

文科乙類（三十七名）

東、文　皿井（舊杉山）眞　岡山　東、法　柴原八一　廣島　東、法　盧田末平　香川
東、法　安田四郎　岡山　東、法　高木八郎　岡山　東、法　高橋實　廣島
東、法　高原道治　岡山　東、法　垤稔　岡山　東、法　日笠百勝　岡山
京、法　平松百治　岡山　京、法　松原實　兵庫　東、文　丸山國雄　兵庫
東、法　三藤正愛　愛媛　東北、法文　安田新　東京　京、法　吉田日出男　奈良
京、文　脇本勝巳　岡山

理科甲類（百八名）

京、工　安倍義彦　廣島　京、法　青砥正吉　島根
京、醫　野坂（舊赤木）次郎　岡山　東、醫　伊佐喜久雄　和歌山　京、工　伊澤安次　岡山
長、醫　飯田浩造　岡山　九、醫　石井（舊岩淺）巖　廣島　岡、醫　石川正次　兵庫
岡、醫博　石原忠之　岡山　東、工　佐伯昻　北海道　東北、理　植田勇二　香川
京、工　江口馨　岡山　東、醫博　小川直秀　香川
東、工　小野蒨　岡山　東、工　尾野田惠　岡山　九、法文　岡比呂志　岡山
東、農　岡崎滉香　川　東北、工　岡村錄一　岡山　東、工　岡村保雄　大阪
東、工　大北忠男　德島　京、農　大島卓司　兵庫　京、醫　大野清助　福井
京、工　大野貞一　福島　京、工　加茂忠恒　靜岡
東、農　川田正夫　香川　京、工　木村皎　香川
京、理　岸本（舊國富）涉　廣島　京、醫　北村秀弘　京都
東北、理　德永正勝　岡山　京、工　藏本俊雄　廣島
京、經　黃介鰲　臺灣　鴻上光明　愛媛
東、理　佐藤正孝　岡山　京、工　佐々木秀雄　岡山
京、工　×盧見正志　岡山　京、工　朱季偉支那
東、農　×曾根忠三郎　兵庫　京、工　田中武雄　香川
東、醫　田中利三郎　廣島　京、工　×田中弘　京都
京、經　太原輝彥　兵庫　京、工　×高田穰一　岡山
京、經　達富猛　兵庫　京、工　谷口正夫　和歌山
東、工　俵信次　島根　東、工　土田政名　東京
東、理　豐島武彥　山口　岡、醫　飛谷忠弘　香川
東、農　×內藤慶一　兵庫　東、農　中島汀　東京
京、工　長尾不二夫　岡山　京、醫博　長岡浩　京都
京、工　×中野勝吉　廣島　東、農　中野代二　兵庫
京、工　河合堯晴　岡山
東、醫　木下清吉　大阪
東、工　國越藤市　香川
京、工　小林眞一　岡山
京、工　佐藤輝五　廣島
東、工　更井一夫　岡山
×須藤陽三　高知
田中武夫　大阪
京、工　田村十一　山口
東、農　立石春雄　岡山
京、工　谷本治三郎　和歌山
東、農　土屋大助　岡山
東、工　鳥居博通　岡山
岡、醫　中田富士男　岡山
京、工　中西幸男　兵庫
岡、醫　×中村孟　廣島

京、工　仁科太郎　岡山　東、農　新田　勤　香川　東、農　新名賢太郎　宮崎
京、農　能美武美　島根　京、工　平松雪郎　岡山　京、工　深川朔郎　廣島
東、工　藤井松太郎　北海道　岡、醫博　星島忠夫　岡山
東、工　細川兵一　兵庫　京、醫　本城明朗（舊松浦）　岡山　東北、理　米谷彦三郎　香川
京、工　前田卯之吉　大阪　東、農　佐々木堅一　香川　九、醫　松尾二郎　香川
京、工　松田晟三　香川　京、工　松山紀陽作　和歌山　京、工　萬斯選支那
東、工　三宅孝夫　岡山　京、醫　三輪篤信　鳥取　京、理　坂手邦夫（舊水内）　岡山
京、工　宮川晶　大阪　東、工　宮下格之助　群馬　宗像雅登　廣島
長、醫　村上德太郎　愛媛　京、農　森谷幹雄　岡山　京、工　守安虎治　岡山
東、農　山添精三（舊山本）　大阪　東北、理　山本哲次郎　兵庫
岡、醫　岡本好之助　岡山　東、醫　安田庄三郎　兵庫　岡、醫　横山久衞　岡山
東北、工　李寶華　支那　九、工　陸榮圻　支那　京、醫　渡邊紋一　三重

理科乙類（三十三名）

京、工　松本（舊井上）彰治　兵庫　京、醫　今井瑞男　兵庫　岡、醫　小川壽　岡山
京、醫博　小津茂　岡山　東、醫　荻野了　島根　岡、醫　太田克　岡山

京、醫　加納恒　久岐阜　九、工　川井清水　香川　東、醫　神尾正夫　石川
京、法　神戸英雄　岡山　岡、醫　桑原利勝　大分　京、醫　古閑忠夫　福岡
岡、醫×京、農　林隆碩　岡山　京、農　黃本立　支那　東、農　齋所清　岡山
京、醫博　齋藤昌二　岡山　岡、醫博　澁谷成利　京都　岡、醫×菅田士郎　岡山
岡、醫　田隅克己　兵庫　京、醫　田中玄太郎　三重　岡、醫　高見孝志　岡山
東、醫　内藤比天夫　岡山　岡、醫博　中西正男（舊久光）　岡山　岡、醫　根岸五郎　岡山
九、醫　野間潔　京都　京、醫　河野守　岡山　京、醫　藤田章夫　岡山
東、農　前田秀三　兵庫　岡、醫　松本茂人　廣島　東、醫　室賀不二男　靜岡
京、醫博　矢崎茂三　千葉　東、工博　山名正夫　兵庫　九、工　隆準　支那

（第二十五回卒業生（昭和二年三月十二日卒業　内一名四月十二日追試卒業））　計二百六十名

文科甲類（七十七名）（五十音順）

東北、法文　阿河準一　香川　九、法文　芦田勳　京都　京、經×荒木壽考　廣島
京、經　有岡春彌　岡山　京、文　池田修造　廣島　京、經　石黑和夫　岡山
東、文　板野長八　岡山　東、法　稻垣一雄　兵庫　東、法　入江稔　岡山

東、文　上野　明　岡山
京、法　尾原英夫　岡山
東、法　岡田修一　兵庫
東、法　加藤巖雄　岡山
九、法文　勝山安貞　岡山
東、經　河南　嵩　岡山
東、經　栗阪多賀夫　岡山
東、法　後藤勝利　岡山
京、法　高橋貞治（舊佐々木）　岡山
東、法　陶浪捷太　岡山
東、法　杉若義三　和歌山
東、法　多屋　弘　和歌山
東、經　立花昌夫　兵庫
東、經　寺本博見　岡山
東、經　中山三郎（舊一男）　岡山
京、法　畑山昇　高知
東、法　岩尾種教（舊梅田）　廣島
京、法　大熊立治　岡山
東、法　岡田修一　兵庫
九、法文　勝山安貞　岡山
東、經　河南　嵩　岡山
東、經　栗阪多賀夫　岡山
東、法　後藤勝利　岡山
京、法　高橋貞治（舊佐々木）　岡山
東、法　陶浪捷太　岡山
東、法　杉若義三　和歌山
東、法　多屋　弘　和歌山
東、經　立花昌夫　兵庫
東、經　寺本博見　岡山
東、經　中山三郎（舊一男）　岡山
京、法　畑山昇　高知
東、法　江村重藏　德島
京、文　大熊立治　岡山
東、經　岡本武三郎　岡山
東、法　勝部俊男　大阪
東、法　河合　篤　岡山
東、法　北村禎吉　香川
東、文　高津春繁　兵庫
東、經　佐藤四郎　岡山
京、經　白神　勤　岡山
東、法　杉本一郎　石川
京、法　田中　宏　和歌山
京、經　高田誠一　岡山
東北、法文　綱島康熙　岡山
東、法　永野輝雄　廣島
東、文　橋本克彥　和歌山
東、法　平尾直次郎　大阪
東、法　江村重藏　德島
京、文　大熊立治　岡山
東、經　岡本武三郎　岡山
東、法　勝部俊男　大阪
東、法　河合　篤　岡山
東、法　北村禎吉　香川
東、文　高津春繁　兵庫
東、經　佐藤四郎　岡山
京、經　白神　勤　岡山
東、法　杉本一郎　石川
京、法　田中　宏　和歌山
京、經　高田誠一　岡山
東北、法文　綱島康熙　岡山
東、法　永野輝雄　廣島
東、文　橋本克彥　和歌山
東、法　平尾直次郎　大阪
東谷義人　廣島

東、法　平田英一　岡山
九、法文　藤川隆康　香川
東、經　富士谷眞之助　德島
東、法　三宅芳郎　岡山
京、法　森下龜男　岡山
東、法　山本彌七郎　和歌山
京、經　劉競武　支那
東、法　福重　隆　山口
東、法　藤田信　岡山
東、法　松尾武夫　岡山
東、法　南出清一郎（舊屋葺）　和歌山
東、經　錢高輝之　岡山
東、法　山本彌七郎　和歌山
京、經　劉競武　支那
京、法　×渡邊洗三郎　大阪

文科乙類

（三十八名）

京、法　青木直行　香川
京、法　小林（舊上神）銳二　岡山
京、法　勝部重右衛門（舊十逸）　兵庫
東、法　金澤覺太郎　岡山
東、法　楠　廉平　岡山
東、法　×小林恭平　岡山
東、法　境谷義英　兵庫
東、經　天澤不二郎　岡山
東、法　小田幸三　兵庫
京、法　小野久彥　廣島
東、法　北村勝三郎　奈良
京、法　國歲胤臣　香川
東、法　×佐賀孝三　兵庫
東、文　高瀨久太郎　愛媛
東、法　藤井　弘　岡山
東、法　藤原英雄　岡山
九、法文　三浦千澄　廣島
東、法　村上彙次兵庫（舊山口）　兵庫
東、文　池上保太　岡山
京、法　吉田一次神奈川
東、法　內山　誠　山口
（舊川崎）　生沼曹喜石川
東、經　松本克郎　京都
東、法　工藤恒四郎　京都
京、文　國友　正　香川
東、法　酒井義貫　大阪
東、法　中島武雄　和歌山
京、法　×渡邊洗三郎　大阪
京、法　青木直行　香川
京、法　小林（舊上神）銳二　岡山
京、法　勝部重右衛門（舊十逸）　兵庫
東、法　金澤覺太郎　岡山
東、法　楠　廉平　岡山
東、法　×小林恭平　岡山
東、法　境谷義英　兵庫
東、經　天澤不二郎　岡山
東、法　小田幸三　兵庫
京、法　小野久彥　廣島
東、法　北村勝三郎　奈良
京、法　國歲胤臣　香川
東、法　×佐賀孝三　兵庫
東、文　高瀨久太郎　愛媛
東、法　藤井　弘　岡山
東、法　藤原英雄　岡山
九、法文　三浦千澄　廣島
東、法　村上彙次兵庫（舊山口）　兵庫
東、文　池上保太　岡山
京、法　吉田一次神奈川
東、法　內山　誠　山口
（舊川崎）　生沼曹喜石川
東、經　松本克郎　京都
東、法　工藤恒四郎　京都
京、文　國友　正　香川
東、法　酒井義貫　大阪
東、法　中島武雄　和歌山

東、文　長谷川研三　香川
東、法×福田利夫　鳥取
京、文　藤井駿　岡山
東、法　坊秀男　和歌山
東、法　堰内正巳（舊美川）　和歌山
眞屋秀之進　香川
東、法　松田繁　岡山
東、經　毛利佐郎　廣島
京、文　二村亮一　岡山
東、法　三輪勝郎　岡山
京、法　山岡操　岡山
九、法文　山田逸郎（舊渡邊）　德島
東、經　吉原峰夫　香川
東、經×若林雄次　岡山
東、法×森山　茂　岡山
東、文　渡邊竹夫　岡山

理科甲類（百九名）

京、工　青木信一郎　和歌山
東、農　赤木發郎　兵庫
京、農　飯田清　兵庫
東、工　石田武忠　東京
京、工　石臨勝次　兵庫
東、工　犬伏義雄　德島
京、農　猪股光一　宮城
東、農　上田敏夫　兵庫
東、工　越智明愛　媛
京、工　大上信雄　兵庫
京、工　大岸九思夫　岡山
京、農　大江周三　大阪
岡、醫　大森誠　岡山
近江榮吉　大阪
岡、醫　岡崎哲　岡山
九、工　岡野勝之　岡山
東、理　奥野久輝　和歌山
京、醫博　岡垣壽男（舊影山）　鳥取
東、工　小松原健雄（舊片岡）　岡山

東、農　勝守　清　東京
岡、醫　勝山　蕭　岡山
岡、醫　金光近夫　岡山
京、醫　亀山　致靜　岡
京、工　川島涙夫　高知
京、工　木村庶幾　岡山
東、工　北山恒香　川
東、醫　久保隆三　香川
京、農　櫛田德一　廣島
岡、醫博　黒田章夫　岡山
東、農　小山軍之助　和歌山
京、工　近藤勇　岡山
×佐藤政一　岡山
東、農　佐野義男　岡山
京、工　榊憲吉　福岡
東、理　壇見賢吾　岡山
京、醫　杉山茂大分
東、農×瀬崎文吉　岡山
東北、工　蘇子鶚　臺灣
東、藥　田久保敬男　廣島
岡、醫　田淵義三郎　岡山
東、工　高橋洋次郎　新潟
岡、醫　高畠護　岡山
東、工　竹井素行　岡山
京、工　巽巖　大阪
東、工　玉井廉人　兵庫
岡、醫　鶴見孝雄　香川
東、工　中井新一郎　和歌山
京、醫　中村敏之　廣島
京、工　中村靖之　福岡
東、理　仁科尙文　岡山
東、工　西島尙義　岡山
岡、醫博　金岡英雄　岡山
東、農　亀山武一　岡山
京、工　岸本義男　兵庫
岡、醫博　久山正策　岡山
岡、醫博　小坂壽　岡山
（舊佐藤）
東北、工　小野田武夫　岡山
東、工　酒井一郎　岡山
東北、法文　島田宇七　兵庫
京、醫　世戸原利雄　廣島
長、醫　田中幸一　島根
京、農　高戸龍一　岡山
京、醫　竹內順二　兵庫
京、經　陳蘊之　支那
京、工　中田一夫　岡山
京、農　難波武夫　岡山
京、農　野澤德郎　岡山

九、醫　野間元繁　人　廣島
岡、醫　原田　忠　岡山
東、工　深谷（舊藤枝）克海　岡山
東、理　津田　一夫　岡山
京、工　藤本　實奈良
東、理　間野　浩　岡山
京、理　增井（舊三村）義雄　廣島
九、醫博　平野　忠兵庫
京、工　村松吉夫　靜岡
東、工　森山義一　香川
岡、醫　山崎喜三郎　岡山
京、工　和田恒廣　神奈川
東、理　渡部信夫　廣島

京、文　馬貴臣　支那
九、工　平野重哉　和歌山
京、工　福井佐市　岡山
×藤間賢太郎　香川
岡、醫×藤山嘉夫　岡山
東、工　前田寬德　島
岡、醫　三井義亮　香川
岡、醫博　宮島忠　香川
九、工　森田次郎　奈良
京、工　山岡武夫　奈良
京、農　山根登一郎　兵庫
脇榮廣　島

東、工　濱田秀雄　德島
岡、醫　廣本達吉　廣島
東、農　藤哲夫　岡山
東、工　藤岡康夫　岡山
東、醫　古澤嘉夫　福岡
京、醫　松原（舊三枝）義雄　福井
京、理　澤村鐵之助　兵庫
東、工　宮島二郎　岡山
東、工　守屋（舊山口）學治　岡山
京、工　松村勝香　川
東、農　余炳炆　支那
京、理　脇屋義郎　兵庫

理科乙類　（三十六名）

金、醫　秋田敏夫　岡山
安藤登代明　香川
岡、醫　伊崎宣行　廣島

岡、醫　生田靜也　岡山
岡、醫博　大杉眞造　岡山
東、醫×岡西綱三郎　岡山
岡、醫　川本桂一郎　奈良
岡、醫　佐藤靜馬　岡山
岡、醫　田房（舊富山）松太郎　愛媛
岡、醫　三宅愼治　岡山
京、醫　野崎達志　靜岡
東、工　日野（舊雜波）西義輝　北海道
岡、醫　松元健二　岡山
東、醫　虫明卯三郎　岡山

岡、醫　生熊（舊小野）良文　和歌山
東、醫　所賀奈良宮崎
岡、醫　岡村隆良　鳥取
九、醫　久保博群馬
京、理　佐伯幸夫　兵庫
京、農　陳錫鑫　支那
岡、醫　中內義衛　德島
京、醫×秦一則　兵庫
岡、醫博　橋本浩　岡山
京、醫博　姬井淑　岡山
岡、醫　宮木輝夫　岡山
岡、醫　守屋睦夫　岡山

岡、醫　石川昴　香川
東、醫博　奧博　和歌山
岡、醫　川口敦夫　廣島
京、農　久保己年　和歌山
京、醫　壚見源吾　京都
九、醫　高橋喜久夫　兵庫
岡、醫　中尾與一郎　山口
長、醫　彭（舊光永）乃琦　支那
岡、醫　森（舊山田）弘文　岡山
岡、醫　岡貞邦　岡山

第二十六回卒業生（昭和三年三月十三日卒業）計二百五十五名

文科甲類　（七十二名）（五十音順）

神、商　粟井肇　岡山
東、法　荒木茂久二　廣島
東、經　荒金千次　廣島

京、法　池田清秋　宮崎
東、法　磯野正俊　兵庫
東、文　宇野善三　岡山
東、經　江口最　岡山
京、法　小川眞一　大分
京、法　大塚泰二　大阪
京、文　大成功三　富山
京、法　角田豊三朗　兵庫
京、文×北村秀則　香川
東、法　窪田貞三郎　岡山
東、經　佐藤甲子郎　岡山
京、法　島内義次　高知
京、法　田島義寛　和歌山
東、法　高橋俊士　岡山
東、法　西川長敬　兵庫
京、法　野口美雄　大阪

九、法文　池田富雄　大阪
東、法　一瀬忠　岡山
東、法　上田正平　兵庫
京、法　江村英雄　大阪
東、經　尾關四郎　岡山
東、法　大塚篤夫　岡山
東、經　荻野正二（舊夏治）　岡山
東、法　片山隆之　岡山
東、法　工藤祿郎　岡山
九、法文　小澤彌太郎　山口
東、法　齋藤淳　長野
京、經　菅義夫　兵庫
東、法　高田英治　岡山
京、法　中田瀧登　岡山
東、法　西崎孝　岡山
京、法　野間清　愛媛

東、法　石井謹吾　千葉
東、法　出射義夫　岡山
東、文　上田義文　岡山
東、法　遠藤直一　岡山
東、法　大井重勝　廣島
東、法　大月勳　岡山
東、法　加納制一　兵庫
東、法　高橋正臣（舊河崎）　德島
東、法　桑田庸夫　廣島
京、法　小林多喜夫　岡山
京、經　鹽見眞澄　岡山
東、經　田上郷平　山口
東、法　高取馨　岡山
京、經　中田貞治　兵庫
京、法　西本共介　香川
京、法　菱木清　千葉

京、法　溥　素　支那
東、法　藤澤見邑　香川
東、經　帆足計　大分
京、經　松森英雄（舊水田）　岡山
京、經　梶山長義　長崎
東、法　藥師寺大器治　岡山
東、經　和田元　京都

京、經　深井清之助　香川
東、法　藤田靖二　兵庫
東、經　松岡正治　兵庫
東、法　三戸岡道保　岡山
東、文　宮田武志　岡山
東、經　安田樫雄　東京
東、文　渡邊保　千葉

京、法　藤崎元男　佐賀
九、法文　藤田富士太郎　岡山
京、法　松原寛　香川
東、文　三好鹿雄　香川
東、文　向井敬太　岡山
東、文　米田恭（舊僚）　岡山
東、法　渡邊美安　新潟

文科乙類（三十九名）

京、經　井手上明　廣島
東、法　岡田秀男　岡山
東、法　小橋確治　岡山
京、經　漆相衡　支那
九、法文　高木孝詮　香川
京、法　武内一雄　岡山
東北、法文　沈方白　支那

京、法　井上巖　岡山
東、文×加茂下良勇　福島
東、法　小林（舊杉本）勇群　馬
京、法　石岡敏夫　岡山
東、經　高倉隆　兵庫
京、法　武本正義（舊勝治）　岡山
東、法　筒井四滿治　兵庫

京、經　大月桂太郎　岡山
東、經　岸勇夫　群馬
京、法　澤田勇　兵庫
九、法文　多田健二郎　高知
京、法　高田順勝石川（舊陳水土）
東、法　陳逸　松臺灣
東、法　十時健彦　廣島

東、法　長澤親一　廣島
東、法　西田貞一　鹿兒島
東、經　×長谷川耕一　兵庫
　（舊松岡）
東、法　三上豐　岡山
　（舊柳井）
神、商　日高浩　岡山
　（舊吉田）
東、經　倉田照雄　福岡
京、法　行田襄　岡山
東、經　野宮一男　岡山
京、文　前田一良　愛媛
九、法文　矢部清德　島
東、文　橫田利平　奈良
東、法　米田政彥　廣島
東、文　米原穡　鳥取

理科甲類（百十名）

青木直敏　大阪
京、工　荒木久治　岡山
京、工　飯田一男　京都
東、工　稻田龍三郎　兵庫
京、農　井上忠美　岡山
東北、醫　宇津志俊介　廣島
京、工博　×賀他博　京都
岡、醫　大道峰雄　大阪
岡、醫　淺沼清志　岡山
東、工　綾龜一　香川
東、工　伊集院武雄　鹿兒島
岡、醫　板野坂惠　岡山
東、工　井上太郎　岡山
京、理　岩崎伸和　歌山
九、工　上野敬三　和歌山
岡、醫　大野勤次郎　廣島
東、工　岡崎邦彥　岡山

東北、工　岡田篤雄　岡山
東、工　香川三六　岡山
東、農　笠原武夫　岡山
九、醫　河島實　和歌山
東、理　×日下春雄　岡山
東、農　小林治人　廣島
東、工　河野要　島根
京、醫　近藤洽　神奈良
東、醫　志田原群三　廣島
九、工　島本義九郎　和歌山
岡、醫　×杉本徹　岡山
東、工　田中武雄　山口
京、工　玉井申二郎　愛媛
東、醫　寺岡正廣　島
長、醫　朝永次夫　長崎
京、醫　內藤行雄　京都
京、工　×岡本平八郎　岡山
　（舊貝原）
京、工　三宅靜太郎　岡山
東、理　勝原享三　廣島
京、醫　岸本秀雄　兵庫
東、農　栗本榮一　大阪
京、工　高津俊久　大阪
東、工　合田史郎　香川
東、醫　×笹原敏男　秋田
東北、法文　漆宗興　支那
東、工　菅陸二　香川
岡、醫　田中剛　岡山
東、工　高木博二　岐阜
東、工　寺岡節也　岡山
東、農　外山二郎　岡山
岡、醫　內藤達雄　岡山
東北、法文　中村正毅　岡山
　（舊眞谷）
東、工　岡田實三　廣島
京、工　三宅靜太郎　岡山
　（舊貝原）
京、工　角田高八　香川
東、理　蒲池眞人　東京
東、工　久城修一郎　岡山
東、農　黑瀨太一　岡山
京、工　高津俊久　大阪
東、工　合田秀雄　香川
東、醫　×笹原敏男　秋田
東北、法文　漆宗興　支那
東、工　菅陸二　香川
岡、醫　田中剛　岡山
東、工　高木博二　岐阜
東、工　寺岡節也　岡山
東、農　外山二郎　岡山
岡、醫　內藤達雄　岡山
東北、法文　中村正毅　岡山
東、工　岡田實三　廣島
京、工　三宅靜太郎　岡山
東、農　笠原武夫　岡山
九、醫　河島實　和歌山
東、理　×日下春雄　岡山
東、農　小林治人　廣島
東、工　河野要　島根
京、醫　近藤洽　神奈良
東、醫　志田原群三　廣島
九、工　島本義九郎　和歌山
岡、醫　×杉本徹　岡山
東、工　田中武雄　山口
京、工　玉井申二郎　愛媛
東、醫　寺岡正廣　島
長、醫　朝永次夫　長崎
京、醫　內藤行雄　京都
京、工　×岡本平八郎　岡山
　（舊貝原）
京、工　三宅靜太郎　岡山
東、理　勝原享三　廣島
京、醫　岸本秀雄　兵庫
東、農　栗本榮一　大阪
京、工　高津俊久　大阪
東、工　合田秀雄　香川
東、醫　×笹原敏男　秋田
東北、法文　漆宗興　支那
東、工　菅陸二　香川
岡、醫　田中剛　岡山
東、工　高木博二　岐阜
東、工　寺岡節也　岡山
東、農　外山二郎　岡山
岡、醫　內藤達雄　岡山
東北、法文　中村正毅　岡山
　（舊眞谷）
東、工　岡田實三　廣島
京、工　三宅靜太郎　岡山
　（舊貝原）
京、工　角田高八　香川
東、理　蒲池眞人　東京
東、工　久城修一郎　岡山
東、農　黑瀨太一　岡山
京、工　高津俊久　大阪
東、工　合田秀雄　香川
東、醫　×笹原敏男　秋田
東北、法文　漆宗興　支那
東、工　菅陸二　香川
岡、醫　田中剛　岡山
東、工　高木博二　岐阜
東、工　寺岡節也　岡山
東、農　外山二郎　岡山
岡、醫　內藤達雄　岡山
東北、法文　中村正毅　岡山
東、工　岡田實三　廣島
京、工　三宅靜太郎　岡山
　（舊貝原）
京、工　角田高八　香川
東、理　蒲池眞人　東京
東、工　久城修一郎　岡山
東、農　黑瀨太一　岡山
京、工　高津俊久　大阪
東、工　合田秀雄　香川
東、醫　×笹原敏男　秋田
東北、法文　漆宗興　支那
東、工　菅陸二　香川
岡、醫　田中剛　岡山
東、工　高木博二　岐阜
東、工　寺岡節也　岡山
東、農　外山二郎　岡山
岡、醫　內藤達雄　岡山
東北、法文　中村正毅　岡山

東、工　川村（舊中村）勉　香川　東、農　永井勇　新潟
京、工　長安寶　兵庫　京、農　安池興男　靜岡
京、工　根本一郎　茨城　東、農　西村甲一　兵庫（舊野崎）
東、工　博田五六　廣島　岡、醫　小坂澄治　岡山
東、工　早川仁　山梨　東、理　橘本典平　岡山
東、工　平松賴夫　岡山　東北、工　馬希璘　支那
東、工×牧野仁郎　岡山　京、醫　平澤正欣　香川
岡、醫　松島春海　和歌山　京、醫　菊村義夫　京都
東、工　宮地榮三　廣島　東、工　堀憲義　三重
京、農　山口英太郎　兵庫　新、醫　增戸武夫　山形
東、工　山本清　大阪　東、工　松浦陽惠　香川
京、工　吉田久雄　大阪　京、工　三島芳德　岡山
東、農　森田尙文　大阪　京、醫　宮崎道治　東京
京、工　山縣廣　山口　東、工　山口敏博　香川
京、工　山本和夫　岡山　東、農　吉川次郎　大阪
九、醫博　吉田稔雄　德島　九、工　波部義雄　愛媛
九、工　吉村五郎兵衛　大阪　吉增一馬　和歌山

理科乙類（三十四名）

岡、醫×英賀利忠　岡山　京、醫　粟根岩男　廣島
京、理×井出喜代逸　愛媛

岡、醫　石川博　廣島　岡、醫　岡宏　香川　京、醫　加賀美寬　岡山
京、醫　加藤新　香川　東、醫　梶谷鑛　岡山　東、醫　木田文夫　岡山
愛、醫　木村英夫　大分　京、醫　木谷忠儀　山口　東、工　葛野恒次郎　兵庫
岡、醫　小坂昭男　岡山　東、醫　小西公三　兵庫　東、理　佐々木加壽志　岡山
岡、醫　佐藤直泰　岡山　金、醫　澤井郁次郎　奈良　岡、醫　志茂正規　岡山
進　剛　廣島　京、醫　杉野修二　岐阜　愛、醫　田中博太郎　三重
東、醫　西下止夫　岡山　東、醫　野口利代三　大阪　岡、醫　野崎（舊升二郎）在文　岡山
京、醫　橋本政雄　德島　京、醫×花岡晟三　重　京、醫　神前（舊平田）穰　香川
京、醫　廣田絛愛　知　東、醫　藤原正　岡山　京、農　森田政夫　京都
長、醫　三浦不二夫　山口　九、農　古川洋　熊本　岡、醫　柳田秀一　京都
東、醫　渡邊希壽　香川

○第二十七回卒業生（昭和四年三月十三日卒業）計二百五十一名

文科甲類（七十五名）（五十音順）

京、經　青山秀夫　岡山　東、文　芥唯雄　香川　京、法　麻野敏清　兵庫

東、法　荒川省三　長崎　井田　寶鳥取　京、法　井藤勳雄　廣島
東、法　伊藤綱助　石川　東、文　伊東祐之助　長崎　京、經　生田長次郎　大阪
京、法　木村（舊石河）潔　岡山　京、文　石田英二　京都　東、文　岩佐　正　岡山
京、法　內海　繁　兵庫　京、法　浦松芳雄　福井　京、法　小河原尭爾　岡山
東、法　小鄉壽一　岡山　東、法　小野敏行　岡山　東、經　小野芳郎　岡山
東、法　岡田良三　廣島　京、法　奧山美郎　岡山　京、法　大倉二郎　岡山
東、法　大藤亨壯　廣島　東、法　大水　精　岡山　東、法　香川豪三　廣島
京、經　市田（舊勝山）正倫　岡山　京、法　金光竹四郎　岡山　東、法　要　鐵眞　鹿兒島
東、法　北谷　將　和歌山　東、法　公森俊郎　岡山　東、法　古泉　潔　岡山
京、法　小橋靜太　岡山　京、文　近藤博之　香川　東、法　坂井豐一　香川
東、法　司波　實　岡山　東、法　青（舊揖河）金磨　岡山　東、文　田坂（舊谷垣）正廣　島
京、法　高橋　勉　德島　京、法　高見司郎　兵庫　京、法　藤岡明男　兵庫
東、經　谷本　博　岡山　京、法　鄭　長群　支那　京、法　寺町康平　岐阜
東、經　寺脇慶一　和歌山　京、法　土井原拓郎　岡山　神、商　土岐輝雄　岡山
京、文　德永爲雄　鹿兒島　京、經　中岡德次郎　和歌山　東、法　中野晴海　岡山
京、經　中牧忠一　兵庫　東、經　長井鐵夫　東京　東、法　長尾章香　川

京、經　成本　武　岡山　京、經　西芝孝一　和歌山
東、法　野田　遙　岡山　京、經　原　藤四郎　和歌山
京、文　藤澤吟治　岡山　京、法　星合克夫　德島
京、經　松岡　孝　岡山　京、法　松本信一　香川
京、文　宮田（舊門內）爽美　大阪　神、商　宮田豐寬　兵庫
京、法　根本　毅　岡山　東、文×矢守德男　三重
東、文　山田忠一　神奈川　東、經　山本　和　岡山
京、法　山本蜂雄　兵庫　京、文　吉塚勤治　岡山

文科乙類

（三十名）

神、商　井上重三　兵庫　京、法　野上智賀雄　岡山
東、法　浦上　進　岡山　東、經　大原總一郎　岡山
京、文　川合三良　岡山　東、法　草野博志　岡山
東、法　近藤忠雄　德島　東、法　佐々木嘉則　廣島
東、文　田中（舊武田）弘道　廣島　京、法　梅本繼之助　和歌山
京、法　吉田輝彥　岡山　東、文　片山　亘　岡山
京、經　武村　光　兵庫　東、法　若林勇雄　岡山
京、法　深田（舊內田）滋三　重　京、法　最相公平　岡山
東、文　高橋（舊露無）觀龍　岡山
京、法　竺原　巖　岡山

東、法　島本庄吉兵庫　東、法　橋本好美兵庫　東、文　原田歷二岡山
東、文　北條四男三重　京、經　堀桂一郎岡山　京、法　兒馬庸治岡山
東、法　松田堅志岡山　京、法　宮本直香川　東、法　毛利潔宮崎
東、法　安井（舊森田）久岡山　京、文　安本久米雄岡山　東、法　濁淺猪平廣島

理科甲類（百十一名）

岡、醫　青木潤次岡山　東、工　秋山保光岡山
東、工　明智義雄東京　神、商　蘆田義勇山口　岡、醫　石戸（舊有松龍一）浩岡山
東、藥　伊藤次裕德島　東、工業　井上（舊石川）武岡山　東、理　井上修次千葉
九、工　井上雅男兵庫　東、工　墟田補夫香川　東、北工　石川良夫東京
京、工　今井怡知郎岡山　東、工　上田建洋奈良　京、工　近藤市三郎和歌山
京、工　江村勤三大阪　東、工　岡　薰岡山　東北、理　奥田毅岡山
東、工　奥田　等岐阜　京、醫　大夔律治岡山　岡、醫　大林義彥廣島
京、經　大村修一岡山　東、工　香川毓美香川　東、農　加島繁太郎兵庫
賀　萬　秀支那　九、醫　柿原　饒愛媛　東、工　景守（舊鎌野）祐岡山
東、工　梶岡源吉奈良　九、法文　梶村　康岡山　京、農　遠藤　隆一香川

東、工　神谷修作東京　京、理　河田　學熊本　東、工業　菅　哲夫岡山
岡、醫　木口浩三岡山　京、理　岸　彰忠岡山　東、工　北村芳美奈良
東、工　桐島義德島　東、工　黒田隆之德島　京、工　古賀學一福岡
京、法　伍賀　隆岡山　臺北、農　小橋清茂岡山　東、藥　苔口眞澄岡山
東、理　兒玉豐彥大分　東、工　近藤晴男岡山　東、工　佐々彌藏大阪
東、工　佐々木一平香川　九、工　佐藤祥夫岡山　岡、醫　佐藤達雄岡山
東、農　佐藤六次東京　東、理×齋藤和夫大阪　岡、醫　齋藤　了岡山
東、理　清水（舊杉）嘉三郎岡山　京、工　重定　昇岡山　島田忠顯奈良
岡、醫　鶴見義夫岡山　東、工　關　初彥佐賀　京、法　久保（舊關谷）敏夫山口
東、工　田岡英夫東京　京、工×田中常三郎大阪　京、醫博　高安正夫大阪
東、工　高島（舊高島）四郎兵庫　九、醫　高槻宥一岡山　京、工　高橋　渡香川
岡、醫　北山三郎岡山　東、理　瀧本忠男岡山　東、醫　竹中長治郎和歌山
京、工　谷中（舊手束）正夫大阪　東、工　津村秀男廣島　坪田　廉岡山
京、醫　辻田正典德島　京、工　寺師忠夫鹿兒島　京農　戶田福三郎岐阜
京、工　土井　潔廣島　京、工　土井信義岡山　東、理　友田鐵雄岡山
京、農　中川關彥三重　京、理　中原敏郎岡山　神、商　中山行雄兵庫

京、工×長尾大氣志岡山　京、工　長久程一郎廣島
岡、醫　二岡甫島根　京、醫　野竿壽一兵庫
京、農　橋本信義岡山　大、理　橋本卓三（舊正治）和歌山
京、工　土屋謙二岡山　京、工　平田俊郎兵庫
東、工　淵上克己廣島　藤井武夫三重
東、工　藤原巧岡山　東、醫　松原貞次大阪
大阪、工　三浦義明大阪　京、工　三木巧大阪
岡、醫　水田隆之岡山　東、工　宮崎義久香川
岡、醫　森加博廣島　東、工　保田虔岡山
京、工　安原彰一岡山　京、醫　山本達治和歌山
京、醫　横山正夫岡山　東、工業　吉田章惠岡山

理科乙類（三十五名）

東、藥　有留輝治鳥取　岡、醫　伊賀忠博廣島
東、醫×内海良貞香川　東北、法文　浦上五六岡山
岡、醫×尾崎嚴衛岡山　大、醫　河村倫治郎廣島
京、醫（舊永倉）亘理久三郎福島　東、醫　飯岡虎雄岩手
岡、醫　野間安則愛媛　遠藤益男岡山
東、藥　服部順五兵庫　岡、醫×久山謹一岡山
京、工　平松靜治岡山
東、農　藤尾廉三兵庫
京、工　三浦利之廣島
大、工業　三宅克治岡山
京、理　森重夫香川
東、醫×安田稔岡山
岡、醫　山谷幹雄岡山（舊渡邊）
岡、醫　福島翠廣島

東、醫　山本都夫岡山（舊國富）　東、農　小出博兵庫
岡、醫　坂中只一京都　九、醫　住吉動德島　京、工　高原正也岡山
岡、醫　高原章夫岡山　京、醫　高橋幹夫京都　東、醫　竹内長次和歌山
岡、醫　那須操岡山　東、農　長谷隆四郎兵庫　岡、醫　後藤脩吉岡山
京、工　西村完三兵庫　京、醫　新川久良神奈川　東、農　羽山昇和歌山
京、醫　林正憲香川　九、醫　久村文生三重　岡、醫　菱木高司千葉
東、農　一柳五郎大阪　京、醫　福田守太（舊吉岡）岡山　岡、醫　三宅義夫岡山
岡、醫　守屋誠岡山　岡、醫　山名堅二岡山　東、醫　吉田實岡山
岡、醫　芳野俊五東京　京、醫　渡邊正志岡山

○第二十八回卒業生（昭和五年三月十三日卒業内一名四月十四日追試驗ニヨリ卒業）計二百三十七名

文科甲類（六十三名）（五十音順）

京、法　阿波純一郎兵庫　神、商　秋山博岡山　京、法　池田幸雄和歌山
京、經　石橋英二和歌山　京、法　石原孝岡山　京、文　宇井俊一茨城
小田進岡山　京、法　大塚稔岡山　東、法　岡崎彰太東京

東北、法　文加藤哲彌　岡山
京、法　笠原彌太郎　岡山
京、法　堅山周三　大阪
京、法　唐津志都麿　香川
東、經　菅　熊夫　岡山
京、法　清原正明　廣島
東、法×清峰研藏　廣島
京、文　久保田治　岡山
京、法　黑住康男　岡山
京、法×黑田　淳　岡山
京、法　小泉徹男　兵庫
京、文　鴻池忠一　德島
東、經　佐々木義夫　岡山
京、經　酒井　清　福島
京、法　壺田　弘　岡山
京、法　島村　律　岡山
東、法　杉野　榮　廣島
京、經　鈴木　宏　靜岡
白賀繁雄　廣島
東、法×田中　稔　東京
京、法　田北文男（舊伊達）　大分
京、法　田中隆造　香川
東、文　俞　岡　山
京、經　武田酉雄　岡山
京、法　谷口　深　滋賀
京、經　玉木立也　兵庫
京、經　張　澤　溥　支那
東、法　津田　昇　東京
東、經　土岐定一　岡山
東、法　豐田英一　兵庫
京、法　中野拓二　山口
東、經　中村清四郎　東京
京、法　西村　功　山形
東、經　新田鐵二　岡山
東、經　原　博　岡山
京、法　日高靜次　兵庫
東、法　佐藤代三郎（舊平方）　岡山
京、法　平木靖造　岡山
京、經×廣田良作　岡山
京、文　堀口忠一　大阪
京、法　眞下福來　京都
京、法　眞鍋信義　香川
京、法　前田　實　香川
京、法　卷幡　錦　廣島
京、法　丸山英一　岡山
東、經　虫明　博　岡山
京、法　村井武雄　兵庫
東、法　森　譽夫　香川

東、經　安永茂弘　愛媛
京、文　山本隆義　香川
京、法　吉村駒雄　東京
京、法　渡邊志郎　岡山
東、法　橫田信夫　岡山
京、法　渡邊正利　岡山

文科乙類（三十三名）

東、法　井上義海　廣島
東、文　石塚太喜治　千葉
東、法　小原　持　鳥取
東、法×大谷・宏　高知
九、農　岡本　精　德島
東、法　飼手眞吾　兵庫
東、法　國枝　健　東京
東、法　後藤　博　岡山
東、文　佐藤一　德島
東、法　梁木忠常　島根
東、法　笹尾源吉郎　兵庫
京、法　柴田進二　靜岡
京、法　壇谷　誠　山口
東、經　角田武郎　千葉
京、文　趙　萬　鐵　支那
京、法　德田　勳　岡山
東、法　仁木　晃　岡山
東、法　平野久男（舊町田）　香川
京、法×藤井　壽　廣島
神、商　仲村　晴一　大阪
東、法　眼晉作（舊西村）　和歌山
東、經　三谷光三郎　東京
東、經　松澤豐藏　群馬
東、經　松本三千弐　愛媛
京、經　吉岡孝司　長崎
東、法　山本　直　福岡
東、法　守田　祝　福井
東、法　吉住達一郎　神奈川
九、法　文林　鳳　鱗臺灣

理科甲類（百十四名）

九、農　×赤澤貞輔　岡山
岡、醫　井坂英雄　岡山
京、工　家本　磐　岡山
東、工　石川由己　東京
東、醫　植山一郎　福井
東、工　小川新市　岡山
東、工　鬼　香折福　岡
東、工　梶田邦夫　廣島
九、農　金谷純男　和歌山
大、醫　河村壽郎　滋賀
九、工　國田治男　山口
京、文　近藤洋逸　岡山
京、工　坂野威夫　岡山
岡、醫　志水　清　大阪
九、工　白石長傘　愛媛
京、經　杉長武夫　兵庫

東、農　佐々木（舊井上）綾　香川
東、工　井上幸彦　岡山
千葉、醫　井關源衛　愛媛
東、工　伊集院文雄　鹿兒島
石井富士男　東京
東北、法文　池上秀男　岡山
京、工　岩井　達奈良
岡、醫　浦上敏明　岡山
京、工　岡野一良　岡山
京、農　形山龍三　岡山
岡、醫　勝山　榮　岡山
京、工　×勝守　健　東京
九、農　河相一哉　廣島
東、農　黒田四郎　德島
京、醫　近藤　久　岡山
京、工　阪口隆三郎　大阪
岡、醫　笹田金一　岡山
千葉、醫　島田宗之福井
東、農　杉　五男　愛媛
東、工　世古正巳　三重

東、工　清田　清　東京
京、工　田上　稔　岡山
北海道、理　高木秀夫　滋賀
九、工　武知剛太郎　岡山
東、工　土居秀次　岡山
東、工　內藤　孟　岡山
京、工　仲・西勝次奈良
岡、醫　額田須賀夫　岡山
東、工　宰田（舊橋本）爲男　岡山
東、工　濱本博登　廣島
京、工　武藤千秋　岡山
岡、醫　福原尙文　兵庫
東、工業　堀　裕　岡山
京、工　牧　直香川
東北、法文　三田滿郎　靜岡
岡、醫　三好幸三　岡山

東、農　蘇　乘龍　臺灣
東、工　清東　京
東、工　田中　浩　東京
東、工業　高橋良節　埼玉
岡、醫　谷（舊常光）安次郎　愛知
九、法文　片山　勇　岡山
京、工　富川　茂　奈良
中島　忠　山梨
岡、醫　西井弘之　岡山
平岡源次郎　岡山
京、農　野間口寮良　東京
京、醫　塙本宇一郎　和歌山
神、商　廣井英一　岡山
福西正男　奈良
九、醫　古川　直　熊本
九、醫　前川達人　廣島
京、工　萬代彥治郎　大阪
東北、工　小泉（舊三宅）三郎　岡山
東、工　宮永喜一郎　廣島
東、醫　多胡楢祐　岡山
京、工　高尾（舊瀧崎）磐夫　福岡
東、工業　谷野（舊常光）安次郎　愛知
九、法文　片山　勇　岡山
京、工　富川　茂　奈良
中島　忠　山梨
岡、醫　平岡源次郎　岡山
京、農　野間口寮良　東京
京、醫　塙本宇一郎　和歌山
神、商　廣井英一　岡山
福西正男　奈良
九、醫　古川　直　熊本
九、醫　前川達人　廣島
京、工　萬代彥治郎　大阪
東北、工　小泉（舊三宅）三郎　岡山
東、工　宮永喜一郎　廣島

京、醫　守屋　正　岡山　東北、工　八木節男　愛媛
京、農　×矢田貝清茂　鳥取
東、農　×山上　博　岡山　岡、醫　森（舊山口）茂樹　岡山
東、工　山崎虎雄　廣島
京、工　山田信雄　廣島　東、農　山根元雄　東京
東、工業山本一郎　岡山
東北、理　安井　豊　岡山　京、工　湯淺篤一　島根
東、工業湯本　秀　新潟
東、工　横山幸太　岡山　京、工　吉武春男　福岡
×吉村新吾　岡山
東、工業和氣　博　岡山　京、工　渡邊鴻一　福島
九、農　朝吹武彦　大分

理科乙類（二十七名）

東、農　井上辰一郎　岡山　岡、醫　石原貫一　岡山
九、醫　岩本　榮德　島　岡、醫　木村敏三　岡山
岡、醫　佐藤信也　岡山　岡、醫　佐藤　玄　岡山
京、經　柴田　清　東京　岡、醫　新宅哲夫　廣島
京、醫　近光　寛　岡山　京、醫　鳥井諒二郎　大阪
岡、醫　中川勵三　廣島　岡、醫　中村眞太郎　岡山
岡、醫　野村　晋　東京　東醫　橋浦友義　鳥取
東、醫　林　清五郎　岡山　岡、醫　藤井敏夫　山口
岡、醫　佐藤（舊石原）次文　岡山
東醫　國定　清　岡山
九、工　齋藤克己　岡山
東北、法文　武知仁德　島
九、法文　中尾康秀　鳥取
岡、醫　難波政士　岡山
東、農　花岡資三　重
東、工　三木忠直　香川

森　正之　岡山　東、醫　柳井時正　岡山
京、醫　高橋（舊山崎）聿治　岡山

○第二十九回卒業生（昭和六年三月十三日卒業）　計二百四十八名

文科甲類（七十四名）（五十音順）

九、法文　阿部昌久　岡山　京、法　青井　進　岡山
東、文　井川英一　愛媛
京、法　伊都　博　和歌山　東、經　伊藤光雄　靜岡
京、法×市村幹太　岡山
京、文　岩城隆利　富山　京、法　江田　巖　岡山
京、文　大塚繁樹　廣島
東、法　岡　重信　岡山　東、經　岡崎文士　廣島
京、文　奥田耕作　兵庫
東、文×奥村博道　岡山　東、法　加藤喜久二　廣島
東、法　加藤　仁　和歌山
東、法　掛川　忠　香川　九、法文　金山　司　山口
京、經　川合四良　岡山
京、法　河原善衛　岡山　東、文　久保田　收　滋賀
東、法　久保田巧　廣島
東、法　國擔千代範　岡山　東、法　古宮房次郎　兵庫
京、文　佐伯　富　香川
京、法　島田　香苗　岡山　東、法　鈴木貞治　愛知
東、文　田中眞雄　三重
東、文　田中八東　岡山　京、法　田中安夫　京都
東、經　高木政雄　長崎
東、法　高崎一三　廣島　東、經　高田謹一　兵庫
京、文　橋　茂　大阪

京、文　谷山　茂岡山　東、法　倭　幸廣島　東、經　津野　任大分
東、法　寺中作雄兵庫　東、經　土井正通三重　京、法　友野義勝兵庫
東、經　内藤祥三岡山　京、法　中西正武岡山　京、法　中野重美廣島
京、文　中村一男京都　京、法　根岸　順東京　東、經　彌屋不二夫岡山
東、經　野澤宗之助長崎　東、法　花房　硬岡山　京、法　服部一郎兵庫
京、法　播本（舊廣兼）愼二兵庫　京、法　日納恭次大阪　京、經　山崎鹿市大分
東、法　芦田　巖岡山　京、經　福水富夫兵庫　京、法　福安量平兵庫
京、法　万波忠三郎岡山　東、經　三井勝義香川　東、經　牧瀬恒二佐賀
東、經　溝手一雄岡山　京、法　宮田博志岡山　京、經　御手洗俊雄山口
京、文　森　一雄大阪　京、法　森（舊楊）憲二兵庫　京、法　村山敏行岡山
京、法　安田美則鹿兒島　京、文　永井長雄鹿兒島　京、文　八木法忍兵庫
京、法　×横田　榮廣島　京、法　吉益　剛和歌山　京、法　山口伯一兵庫
東、法　×渡邊　隆岐阜　京、文　渡部・武岡山　京、法　淀川正大岡山

文科乙類（三十五名）

東、法　井尻（舊岩谷）裕岡山　東、法　井原敏之岡山
東、法　鞍田靜雄岡山　京、法　岡　正廣岡山　東、法　石井大一郎廣島
京、法　桂　逸人廣島　東、文　木村清四郎（舊佐藤）赤木光次郎岡山　東、法　片山壬子男岡山
京、經　桑田賢二山口　京、法　澁谷春夫大阪　東、法　久保淑雄群馬
東、法　白髭勝彦岡山　東、法　杉田幸二三重　東、經　田中星太郎大阪
東北、法文　高草　賢岡山　九、法文　津村榮三郎宮崎　京、法　中原二郎岡山
東、法　長谷好平兵庫　京、法　難波正嗣岡山　東、法　花田義敦島根
東、法　濱本憲治廣島　東、法　林　歡一岡山　九、法文　檜垣俊一愛媛
東、文×福井三喜男香川　東、法　藤田次郎京都　京、文　藤本喜八廣島
東、法　三宅　勉香川　東、經　森　謙太郎鳥取　京、文　森下春一岡山
京、文　森田喜男香川　東北、法文　安井　謙岡山　東、法　四方田要四郎島根
東、法　和田邦彦北海道　東、法　渡邊一郎鳥取

理科甲類（百一名）

岡、醫博　赤木五郎岡山　東、理　秋田康一（舊荒木）熊本　東、工　淺沼　弘岡山
京、工　愛宕銳一和歌山　東、理　中平光興京都　東、醫　伊丹慶人岡山

長、醫　伊藤　佐　福井	京、工　伊藤俊男　静岡	東、醫　一丁田健一　廣島
京、工　市村宗明　香川	京、醫　岩鶴恒三　和歌山	京、農　宇佐美正文　愛媛
東北、理　上田芳郎　岡山	京、理　江村孝之　大阪	東、理　小野義也（舊大山）　岡山
東、工　織田一郎　岡山	東、農　×大眉匡一　香川	東、工　石原義夫　岡山
東北、醫　大脇彌六（舊岡）　東京	京、醫　×貢他正雄　京都	東、工　岡　叡太郎　岡山
東、理　岡本　勲　岡山	京、醫　岡崎　進　岡山	京、工　岡田誠一　兵庫
東、工　岡田時夫　兵庫	東、農　加用信文　高知	京、農　梶村　工　岡山
東、工　金谷　明　岡山	岡、醫　川崎敏男　岡山	東、工業　川瀬正一　岐阜
岡、醫　×河田正雄　岡山	京、醫　河村鐵三　岐阜	東、工　菅田角夫（舊岸上）　岡山
東、理　木村　修（舊草刈）　岡山	東、工　木村德三郎　廣島	京、醫　永森愼二郎　香川
東、工　河村三千男　山口	東、工業　熊澤畝夫　岡山	東、工　黒岩　寛　和歌山
京、工　黒田治夫　岡山	京、農　那伯　昌　支那	東、農　小林　純　岡山
東、理　小山誠太郎　岡山	東、工　佐藤重夫　岡山	東、農　佐藤幸雄　德島
京、醫　佐藤　達　岡山	大、工業　佐藤　昇　滋賀	長、醫　佐野三郎　長崎
京、工　澤田　悟　京都	東、農　澤田收二郎　兵庫	京、醫　攝津德致　兵庫
東、理　末利志郎　岡山	京、理　杉藤臣一　愛知	大、工業　杉山正一　和歌山

東、工業　園倉　榮　福井	東北、工　多賀谷正雄　山口	東、工　田坂榮美　愛媛
東、醫　田邊倚文　茨城	岡、醫　高尾秀一　香川	京、農　高橋小三郎　滋賀
東、理　高畠　彰　香川	東、農　巽　茂樹　京都	東、醫　土屋利夫　岡山
東、醫　筒井　清　愛媛	臺北、理農　鄭　耀西　臺灣	京、工　×寺見二三男　岡山
東、農　富松健太　岡山	京、文　中桐大有　岡山	中島堅吉　岡山
東、農　兒子桂二　岡山	東、工　西澤　弘　群馬	岡、醫　西原一二　岡山
東、工　野田　浩　岡山	神、商　野村慶司　山口	東、醫　長谷川　博　兵庫
東、工　原納又夫　奈良	東、工　樋上賀一　大阪	岡、醫　東　貞雄　三重
京、工　東　善郎　福岡	東、農　平野　蕃　岐阜	東、工　×藤岡　茂　廣島
京、文　藤原英夫　島根	岡、醫　藤原拓士　岡山	京、農　堀野　清　岡山
東北、醫　松谷太郎　長野	京、理　松本　保　兵庫	東、工　松山　泰　岡山
京、農　三村倚武　岡山	東、農　三宅龍雄　岡山	九、農　三宅貞祥　香川
京、工　村尾恭一　香川	京、農　森　英男　東京	九、工　森　光也　東京
長、醫　安岡活一　高知	北海、理　山崎四郎　和歌山	東、工　山根　宏　山口
東、工　山本一彦　岡山	東、工　依田友安　山梨	岡、醫　龍治好道　岡山
東、工　和田盛之助　福岡	京、理　渡邊賢太郎　三重	

理科乙類　（三十八名）

東、醫　赤木　博大阪
京、醫　朝倉　進和歌山
長、醫　荒木與四郎長崎
岡、醫　井上　佐岡山
京、醫　石野重吉兵庫
熊、醫　石野　忽介山口
大、醫　曦川（舊片岡）　恕
北海、理掛谷大三廣島
京、醫　柏村長治京都
長、醫　片山　宏岡山
東、醫　川西和夫香川
岡、醫　金田（舊北浦）孝一鳥取
岡、醫　小山綾夫岡山
京、醫　近藤克己香川
岡、醫　佐藤寛二岡山
東、醫　榊原　仟福井
岡、醫　繁定光治岡山
京、文　須崎一雄香川
京、理　水渡英二兵庫
岡、醫　杉原正毅岡山
岡、醫　高田二郎岡山
京、文　谷　友幸香川
大、醫　土居文右衛門奈良
岡、醫　中島（舊福井）節夫岡山
京、醫　布村晴雄富山
京、農　早川（舊松田）勉廣島
京、醫×杉本清二三重
岡、醫　上田知二岡山
東、醫　南　和嘉男三重
岡、醫　向畑（舊藪谷）十四郎和歌山
京、醫　植田安雄和歌山
京、農　山縣敏昭奈良
岡、醫　山本晋德島
岡、醫　山谷章一岡山
九、農、吉田　穣岡山
京、醫　芳田峰男德島

○第三十回卒業生（昭和七年三月十二日卒業）　計二百二十九名

文科甲類　（七十名）（五十音順）

京、法　赤木德太郎岡山
東、經　赤木元二岡山
東、經　秋山　隆岡山
東、文　淺山成雄兵庫
東、文　天野愛一大阪
京、法　荒木利喜夫大阪
東、法　池田恭助岡山
東、經　石井逸雄兵庫
京、法　石田　尙岡山
東、經　乾　繁夫兵庫
京、法　岡田　壽大阪
×岡野敏雄大阪
京、法　岡野富士松岡山
京、法　岡本順之助岡山
京、法　香川眞壽夫岡山
東、法　河原太郎岡山
東、經　川上明四郎大阪
東、法　川西　睦廣島
東北、法文　金井貫三郎兵庫
東、經　金光　巍岡山
東、法　亀山善三郎岡山
金　辛吉朝鮮
京、法　桶　二郎廣島
東、法　桶本周三和歌山
京、法　國廣　健兵庫
京、經　栗林四郎大分
神、商　現田　功兵庫
東、文×佐久　允茨城
京、文　佐藤輝太岡山
東、文　齋藤秀雄岡山
東、法　酒井　剛岡山
東、法　櫻井淺雄大阪
東、法　澤根太郎岡山
東、法　島田清忠香川
東、文　白石義夫神奈川
東、法　田尾　正香川

東、法　×田澗正章　岡山
神、商　高野四郎兵庫
東、法　園藤重光　岡山
東、法　軸原壽雄　鳥取
京、經　那波操六　岩手
京、經　中井榮之助　大阪
京、法　中村俊晴　福岡
東、經　仁野精二　愛媛
東、經　萩野良平　兵庫
京、文　蜂谷周　岡山
京、經　林俊三　兵庫
原新治　兵庫
京、法　藤井章　岡山
東、法　藤江守正　岡山
東、法　藤原重正（舊信一）　岡山
京、法　本多教道　兵庫
東、文　松本光庸　大阪
東、文　前川良雄　兵庫
東、法　村上晋一　岡山
京、經　武藤好正　岡山
京、法　森義宣　岡山
東、經　矢吹修　岡山
東、法　山本忍　和歌山
東、經　山本正雄　岡山
東、法　若林義夫　熊本

文科乙類（二十六名）

東、法　秋山昌平　香川
九、法文　伊原仙太郎　岡山
東、法　大島（舊市村）功　香川
東、法　植田健次　大阪
東、法　板野元次　岡山
東、法　勝守保　東京

東、法　川上始　岡山
東、文　本間瀏精三　千葉
東、法　小林英三　兵庫
東、法　合田次郎　大阪
京、法　齋藤薫　香川
京、經　酒井芳郎　大阪
東、法　辻彌兵庫
東、文　友成左近　大分
東、經　中里榮長崎
東、文　八田英次　大阪
東、經　松原光信　岡山
東、法　三島享　岡山
東、法　宮道大五　廣島
東、法　藏内芳彦　和歌山
東、法　栗村五雄　鳥取
京、法　佐藤博　岡山
東、文　高橋一郎　岡山
京、法　中川幸雄　岡山
東、法　細田猛夫　鳥取
東、經　三島甫　岡山

理科甲類（九十五名）

大、醫　赤松松鶴愛媛
東北、法文　井上壽德　靜岡
神戸、商　池田一夫　大阪
京、工　石井義夫　廣島
京、工　上原哲雄　兵庫
東、農　大井安麿　靜岡
東、工　岡本孝行　千葉
岡、醫　淺野靜男　岡山
大、工　伊丹良雄　奈良
京、農　池田四郎　愛媛
大、工業磯野孝　兵庫
岡、醫　遠藤義夫　岡山
九、醫　大久保直躬　香川
岡、醫　奥田覺士　岡山
東、農　井上弘　岡山
大、工　池田滋　廣島
東北、理　石井尙道　山口
京、農　泉秀一　大阪
東、醫　尾關得　岡山
京、農　大西文男　香川
東、工　音田和夫　鳥取

岡、醫　甲斐太郎岡山　大、工　×香山英太郎岡山　東、農　筧　楠治郎鳥取
九、農　片桐秀政福岡　東、工業　金子豊彦高知　東、理　鎌田　孝香川
　　龜山　昂大阪　×河合重德北海道　京、工　川合秀雄兵庫
岡、醫　河本悅二廣島　東、理　×木下潤一福井　東、工　木村義太岡山
京、工　栗島　靜岡　京、工　黒井俊治大阪　京、工　小泉　進兵庫
東、工　小泉嘉四郎廣島　東、工　小島久哉高知　京、工　小西一郎大阪
京、醫　小林（舊小林）收兵庫　京、理　小林　淳山口　東、農　小林仁岡山
東、工　矢部明正岡山　東、工　小原三郎大阪　東、工　小松　鍊岡山
岡、醫　近藤佐武郎廣島　東、工　佐藤成美三重　大、工　柴原藤兵庫
東、工　檪葉　明靜岡　東、工　數枝木　寬德島　京、醫　杉並　亮奈良
　　鈴本三太郎岡山　東、工　鈴木敏夫北海道　京、醫　鈴木幸夫岡山
京、文　造賀清雄廣島　大、工　田中淑造香川　京、醫　桑原（舊多和）正岡山
長、醫　大黒芳太郎德島　京、工　高井壽吉愛媛　京、理　高倉正明德島
東、農　高田一太岡山　東、工　高林利秋德島　　谷　克孝德島
東、農　谷口政德鳥取　大、醫　千頭英男高知　東北、理　趙　廣河朝鮮
大、工　戸倉仁一郎兵庫　岡、醫　戸部一郎兵庫　東、工　當津正雄兵庫

大、工　中村正雄大阪　　西川潤一大阪　京、工　西山常樹香川
大、工　荻尾　薰岡山　京、農　橋本浩藏廣島　岡、醫　三谷（舊橋本）眞平岡山
京、文　平尾　靖兵庫　京、工　福井榮治郎兵庫　東、工　福山雅美鳥取
岡、醫　保崎伊三郎岡山　東、農　前澤芳一大阪　東、工　三井正夫山梨
九、工　三竿壽一岡山　岡、醫　三船歡一德島　東、工業　村尾朔都兵庫
岡、醫　村本　昇德島　東北、醫　村山　弘佐賀　九、醫　森　文雄熊本
東、醫　本村嗣章岡山　岡、醫　山下　滿岡山　東、工　山田　博奈良
京、工　山野井正一愛媛　京、農　山本八郎德島　東、工　山本道雄島根
岡、醫　吉田繁男岡山　大、工　吉田　晉岡山

理科乙類（三十八名）

東、醫　井上　太岡山　　池田一郎兵庫　九、工　石川俊作大阪
岡、醫　福武（舊石原）豊次岡山　弘愛媛　京、工　岩崎彙幸岡山
京、農　藤井（舊上野）勝美岡山　岡、醫　×内田眞二岡山　京、醫　大西逸平香川
　　河本正之兵庫　木村勘二岡山　×黒澤乙彌京都
×櫻　秀岡山　京、理　鶴鵜安治岡山　熊、醫　塘谷信男廣島

岡、醫　田尻　保　岡山　大、醫　多田羅正直　香川　岡、醫　高見信三　岡山
京、農　竹馬誠三郎　岡山　京、醫　津田顯達（舊二宮）　大阪　九、工　土井芳夫　大阪
内藤中人　岡山　大、醫　下村光隆　宮崎　九、醫　西野廣吉　兵庫
京、醫　長谷川正海　岡山　京、醫　畑中愼一　兵庫　岡、醫　原　廣三　岡山
東、醫　林　正義　香川　岡、醫　平松義忠　岡山　九、醫　前田　長滋　賀
岡、醫　松井健三　廣島　岡、醫　松香孝章　岡山　東、醫　森藤靖夫　岡山
東、醫×山田茂穗　岡山　京、醫　吉澤永一　岡山　岡、醫　吉田道孝　鳥取
熊、醫　和田　格　廣島　大、醫　脇野　清　廣島

○第三十一回卒業生（昭和八年三月十三日卒業）計二百五十五名

文科甲類（七十名）（五十音順）

東、法　阿部一男　岡山　京、法　青山　清　徳島　京、經　足羽　徳　岡山
京、法　井上乾一　岡山　東、法　井上敬次（舊石川）　岡山　東、經　井上　進　岡山
東、法　井上武雄　奈良　東、法　日向精藏　山口　東、經　石橋實和　歌山
京、法　市村幹人　新潟　京、法　上西正雄　大阪　東、法　浮田眞次　岡山

京、經　馬屋原六郎　山口　京、法　江口光男　岡山　京、法　小野保男　岡山
京、經　岡田　實　兵庫　東、文　岡本　祝　岡山　東、文　長船省吾　岡山
京、法　片山正勝　奈良　東、法　北中壽雄（舊小西）　廣島　東、經　日下　昇　香川
東、法　後藤泰樹　廣島　東、法　市川　正　岡山　東、法　佐藤泰一郎　岡山
東、經　笹川浩三　大阪　東、經　清水愼三　岡山　京、文　島　信正　滋賀
京、經　新川義一　奈良　京、法　白川　修　兵庫　東、文　須川正二　神奈川
東、文×杉浦宣彦　大阪　東、法×角野通夫　岡山　京、法　關　正雄　岡山
東、法　高戸潤二郎　岡山　京、經　高橋　剛　岡山　東北、法文　竹内康治　香川
東、法　武居知也　山口　東、法×武居正躬　山口　京、法　津田弘方　岡山
東、法　永井俊夫　岡山　東、法　中川磐夫　德島　東、法　中島安兵衞　奈良
京、法　難波榮藏　岡山　東、法　西村尙治　鳥取　東、法　野崎二夫　岡山
東、文　馬場常彦　岡山　東、法　林　泰平　福井　東、經　林　六郎　岡山
東、經　藤井謙一　岡山　東、文　藤井穗太郎　廣島　東、法　藤井信雄　鳥取
　藤森盛男　廣島　東、文　松本純郎　岡山　東、經　松本英之　廣島
東、文　松村誠一　岡山　東、法　三上睦男　岡山　東、法　三宅三夫　岡山
東、經　水川金衞　岡山　京、法　水口茂忠　香川　京、法　宗本　滲　岡山

森　睦雄　香川　東、法
森本三郎　岡山　京、法
安井　隆　岡山
京、經　山上民也　大分　東、經
山崎正隆　岡山　東、法
山下房夫　香川（舊米里）
京、經　山本正治　岡山　京、法
吉田　要　岡山　東、法
川村　寶德　島

文科乙類（三十三名）

東、經　足立達雄　大阪　東、經
伊東五郎　岡山
×糸曾武夫　廣島
江藤悦三　大阪　東、經
小川攻實　東京　東、文
大林重信　岡山
九、法文　×大本　功　岡山　京、法
菅田　英　岡山　東、經
河本豬平治　岡山
京、法　佐藤精吾　岡山　東、法
仙田正夫　岡山　京、法
曾我三郎　京都
高橋茂人　廣島　京、法
高椋　實　長崎　東、法
竹内信道　島取
京、法　津田俊雄　兵庫　九、法文
名和　泰　岡山　東、法
中嶋　弘　東京
東、法　新谷正夫　岡山　九、法文
花崎信男　靜岡　東、法
檜垣好文　愛媛
廣瀬俊男　滋賀　東、經
藤田健藏　兵庫　東、經
船田昌之　愛媛
東、法　松尾忠雄　山口　京、法
三村　保　岡山
東、法　溝手武夫　岡山　東、文
森　大輔　岡山

東、經　山口　登　岡山　東、法
橫山茂樹　岡山　京、法
芦田恭夫　山口

理科甲類（百十四名）

東、工　安達　醇　大分　京、醫
古川喜四郎（舊安部）　岡山　京、醫
安西茂則　香川
東北、法文　伊澤英男　岡山　東、工
伊丹立夫　岡山　九、工
池内誠之　愛媛
岡、醫　池田利右衞門（舊石原）　岡山　京、醫
石井孝信　和歌山　京、工
石河　峻　岡山　京、工
岩崎誠二　岡山　京、工
稻井好廣　兵庫　東、工
今井延雄　兵庫
京、工　宇敷孝吉　兵庫　東、農
枝松幸太郎　岡山　九、工
榎本精造　和歌山　大、工
東、工　圓城寺一鳥　取　東、農
遠藤和夫　岡山　大、工
遠藤常忠　岡山
岡、醫　大重彌吉　岡山　岡、醫
富久太　岡山　岡、醫
岡本照男　岡山
岡、醫　加藤正信　福井　東、北工
加納尙志　岐阜　東、北工
片山　大石川
京、工　川島正一郎　岡山　千、醫
河野貞三　香川　千、醫
河野正實　廣島
東、農　河邊不二雄　岡山　東、工業
菅　壽雄　岡山　東、農
神田　清　兵庫
京、工　龜山喜三郎　岡山　東、工
木村伊和夫　香川　九、法文
北中季雄　廣島
金、醫　北村雅敬　奈良　金、醫
桐元武一　大阪　京、工
久保正治　香川
東、工　後藤　孝　岡山　京、理
兒島　徹　岡山　岡、醫
小堀　董　岡山

京、醫　近藤俊平　愛媛
大、工業　佐藤友清　岡山
京、理　志賀　正　兵庫
岡、醫　菅　清一　岡山
京、工　鈴木立夫　岡山
東、理　多田格三　岡山
京、工　高橋正氣　廣島
京、文　津田　至　茨城
岡、醫　寺島四郎　岡山
京、工　那須悧一（舊長花登）　岡山
東、農　岸　義人　岡山
九、醫　楷林和之　京都
東、工　西山長朝　靜岡
東、工　日比野實　岐阜
東北、工　廣見甲一　岡山
京、工　藤澤明夫　香川

京、工　佐々木定道　鳥取
京、農　坂本壽夫　香川
東、工　盧見金佐久　岡山
大、工　杉本　博　岡山
東、理　鈴木　勝　岡山
岡、醫　田中炳吉　岡山
東、工　瀧本石郎　岡山
東、醫　津田仲男　東京
東、理　藤平和雄　群馬
岡、醫　長尾　茂　兵庫
岡、醫　中川美雄　廣島
熊、醫　中村家政　北海道
西岡　保香川
東、工　林　源作　岡山
九、醫　廣澤正久（舊藤川）　岡山
東北、理　矢野賴彥　香川
東北、醫　藤原留造　岡山

佐々木幸夫　岡山
櫻井正生　茨城
須々木智也　岡山
鈴木純一郎　岡山
鈴木稔　廣島
田中濟　鳥取
武市重雄　岡山
津保直眞　福井
中川美雄　廣島
中村家政　北海道
西岡保香川
林源作　岡山
廣澤正久（舊藤川）　岡山
矢野賴彥　香川
藤原留造　岡山

岡、醫　藤原聞一　岡山
京、工　堀　龍雄　東京
東、工　前田祐雄　兵庫
東、工　丸島正男　千葉
岡、醫　持永英雄　宮崎
九、工　大和正典　高知
熊、醫　横田一雄　兵庫
京、工　吉田文策　岡山
京、工　米井正敏　愛媛

東、工　兵頭　正　愛媛
岡、醫　間野忠衛　岡山
東、工　増田幸次郎　大阪
京、農　宮崎義成　香川
岡、醫　森　清　岡山
東、工　山中　泉　鹿兒島
京、工　吉田隆房　長崎
京、工　吉村完吾（舊渡邊）　岡山
岡、醫　×上村敏雄　岡山

岡、醫　別府　寧　岡山（舊間部）
岡、醫　湯淺　裕　岡山
京、工　松浦喬一　岡山
京、理　郵田五八夫　滋賀
岡、醫　森山章司　岡山
京、工　山本三男　岡山

理科乙類（三十八名）

京、醫　秋山省三　岡山
東北、醫　石上孝行　靜岡
京、農　大西正三　大阪
京、醫　押阪方義　岡山
千、醫　近藤光雄　兵庫

熊、醫　有賀庸信　山梨
大、醫　鵜山義雄　奈良
岡、醫　萩原郡次　大阪
京、醫　桐島正義　兵庫
京、醫　更井恒夫　岡山

岡、醫　井上一郎　岡山
岡、醫　占部宗近　廣島
大、醫　萩原郡次　大阪
京、醫　加藤正文　愛媛
東、醫　島村喜久治　岡山

大、醫　田中信郎三重　東、工　大東收義岡山　岡、醫　高原劍二郎兵庫
岡、醫　高山義武岡山　岡、醫　瀧口一雄廣島　岡、醫　近光　正岡山
岡、醫　辻田源伍岡山　岡、醫　富山典信岡山　京、農　永田俊一岡山
岡、醫　中村馨兵庫　岡、醫　兒子廉夫岡山　岡、醫　林　富士郎岡山
京、醫　藤村　勝香川　岡、醫　藤山省吾岡山　大、醫　松本邦男廣島
松本忠彦岡山　京、工　丸山孝雄石川（舊安田）
岡、醫　矢部忠孝岡山　岡、醫　村上正次鳥取
京、醫　山內正通岐阜　京、醫　渡邊三喜男岐阜　京、工　近藤勇造岡山　京、工　柳井深造岡山

○第三十二回卒業生（昭和九年三月十三日卒業）　計二百四十二名

文科甲類（六十九名）（五十音順）

京、法　東　快雄岡山　京、法　青木　勳佐賀　×天野得男京都
京、經　有田正三廣島　京、法　伊庭順三滋賀　東、法　和泉太郎岡山
東、法　石井清兵衞岡山　神、商　石尾弘文岡山　京、法　石田彌彥愛媛
東、文　糸曾義夫廣島　東、法　今井達郎岡山　東、文　上田又次兵庫

東、法　植松正明香川　東、法　浮田茂男香川
東、經　岡　正信香川　京、法　小野忠夫岡山　東、經　江見祐吉岡山
九、法文　太田理英山口　東、法　大田吉彌島根　京、文　大谷榮之助鳥取
東、法　大塚　修岡山　東、法　川井武夫岡山　東北、法文　川上　明香川
京、法　角田直一岡山　東、法　桶　朝男岡山　東、文　兒島虎一郎岡山
京、法　兒玉元男廣島　東、經　小林勳平岡山　東、經　小松繁之助（舊下村）太阪
東、經　近藤武英岡山　東、文　佐久　毅茨城　京、法　淺野善造岡山
東、法　神寶　恒岡山　東、法　鈴木義太岡山　東、經　鈴木和正岡山
京、經　田邊正二岡山　神、商　高橋春治兵庫　東、法　玉井琢郎香川
東、經　近石經雄香川　京、法　津田三郎廣島　東、經　中川昌市香川
東、法　中田光夫岡山　東、經　中村榮太郎岡山　東、法　中村　滋岡山
京、法　仁科浩一岡山　東、經　西谷彌兵衞兵庫　東、經　西山秋二岡山
東、法　能勢　正山梨　東、法　橋田貫一岡山　東、法　橋本　寬兵庫
東北、法文　橋本梶雄岡山　東、法　原田　鼎岡山　東、文　板東俊雄德島
東、經　日輜武一岡山　神、商　平田吉太岡山　東、經　藤原四郎兵庫
京、法　寶田千代藏兵庫　京、法　眞砂彦一和歌山　東、文　松田愼之助大阪

京、法　湊　直治　京都　東、法　三木弘也　大阪　東、文　光岡　新　岡山
京、文　水野恭一郎　岡山　東、法　宮本一雄　岡山　京、法　村野三郎　岡山
京、法　八頭司清文　佐賀　東、文　山口毅陸　香川　東、法　行廣清美　廣島

文科乙類（三十二名）

東、法　猪野宏靖　高知　東、法　宇高　亨　岡山　京、法　占部春太郎　兵庫
京、法　小野　斌　岡山　東、法　大村正基　廣島　京、法　岡本壽郎　廣島
神、商　荻原　匠　山口　東、法　加藤偉一　岡山　東、経　刈谷武彦　高知
京、法　岸本英太郎　岡山　東、文　桐野信雄　岡山　×佐藤元一郎　岡山
東、法　鈴木唯四　岡山　東、法　高橋茂夫　廣島　京、経　高谷茂木　岡山
武田　清　山形　京、経　辻　欣二　大阪　東、経　中島正二　兵庫
京、経　×中藤清次　岡山　東、文　仁保寛眞　山口　京、経　西田　勳　岡山
京、経　野田千之　岐阜　東、法　長谷川新太郎　岡山　東、経　藤原　修　岡山
東北、法文　堀　吉夫　岡山　京、経　星川運八郎　岐阜　神、商　堀上秀男　富山
東、経　牧野耕二　兵庫　東、法　松崎　芳　福井　東、法　山田　勝　香川
京、農　吉澤亨廣　島　東、法　吉野一夫　廣島

理科甲類（百八名）

京工、東（舊淺田）長年　奈良　東、理　赤尾邦治　香川　東、農　龜田　登　廣島
大、工　戸村達也　山口　東、工　廣田四郎　愛媛　京、工　祝　太郎　大阪
東、理　井上嘉龜　高知　岡、醫　井上周而　廣島　岡、醫　井上　悌　岡山
東、工　伊藤三郎　山口　京、工　今村宜二　京都　岡、醫　岩佐基正　山口
岡、醫　上杉重邦　廣島　京、工　上村正二　鳥取　京、理　浦久保喜兵衛　和歌山
岡、醫　廣植二朗　岡山　東北、工　小合康長　岡山　京、農　小河原公司　岡山
東、工　尾園鐵次郎　福岡　東、工　香川（舊大井）敏行　廣島　京、醫　大賀辰次郎　岡山
京、醫　大西　弘　德島　京、文　大橋恒雄　熊本　岡、醫　大野　定　岡山
東、理　岡崎寬厚　岡山　東、工　岡田次郎　岡山　京、理　香川辰夫　香川
大、醫　陰山以文　大阪　東、理　片山　勝　岡山　岡、醫　金光克已　岡山
東、工　神坂正文　岡山　大、工　龜山善男　岡山　東、工　川口愛友　秋田
大、工　川崎元一　岡山　東、農　木下泰平　岡山　京、文　木村俊夫　岡山
東、工　久保田　保　新潟　岡、醫　國富正雄　岡山　東、工　倉藤尙雄　香川
九、醫　後藤田淳實　德島　東、農　小林達吉　岡山　熊、醫　古林英之　岡山

大、工　小松　博　岡山　東、醫　小山鷹二　岡山　東、理　佐次國三　廣島
東、農　佐藤篤美　岡山　京、工　齋所正夫　岡山　名、醫　齋田良一（舊坂田）　靜岡
京、工　齋藤次郎　京都　岡、醫　酒井　晃　岡山　京、工　渡邊脩三　岡山
日大、工　坂本吉弘　東京　京、理　品川睦明　廣島　東、工　柴田誠二　大阪
大、醫　菅野冬雄　東京　東、農　田上義也　大阪　東北、法　田口茂一　神奈川
京、工　×田中哲夫　山口　東、農　田邊哲彌　岡山　岡、醫　多田瑞彦　岡山
京、工　高木　毅　岡山　京、工　瀧田孝道　鳥取　京、工　谷川德麿　大阪
東、工　角村正男　兵庫　岡、醫　土井健男　岡山　岡、醫　中江忠右衞門　兵庫
大、醫　中川　博　廣島　京、理　中島泰群　馬　名、醫　中西　博　愛媛
東、工　中西敏博　兵庫　岡、醫　中野　晉　廣島　岡、醫　中村　奬　東京
東北、工　長城文明　愛媛　大、工　永津勝夫　大阪　京、農　成瀨憲　愛媛
東、農　難波　晶　岡山　京、工　西島（舊橋本）克己奈良　京、工　野口一郎　岡山
京、工　荻原俊雄　大阪　岡、醫　岡本　繁　岡山　大、工　長谷川靜夫　兵庫
岡、醫　原田義雄　岡山　岡、醫　姫井　淳　岡山　岡、醫　平井正夫　岡山
東、工　平尾廣治　香川　東、工　平松一九　岡山　岡、醫　松本（舊布施）增夫　岡山
東、醫　藤井正雄　東京　岡、醫　藤原之　岡山　東、工　堀部道輔　岐阜

京、理　間島正寅　香川　岡、醫　松浦　潔　香川
京、醫　松原孝善　香川　東、農　水島弘之　和歌山
京、醫　森末新一　香川　東、工　守安　了　岡山
名、醫　山縣顯三　和歌　東、工　山末　健　山口
岡、醫　山本英吉　岡山　京、醫　橫田政信　香川
京、工　吉田勵二　京都　京、工　脇本　勵　岡山

理科乙類

（三十三名）

岡、醫　青木和夫　岡山　東、理　池上卓一　岡山　岡、醫　池田　稔　岡山
九、醫　石丸克己　山口　岡、醫　岡　志豆雄　岡山　京、醫　柏　誠治　香川
岡、醫　大賀壽男　岡山　京、醫　大熊　毅　岡山　岡、醫　木下　淳　香川
大、理　掛谷金二　廣島　東、理　橘高　茂　廣島　岡、醫　土屋睦夫　岡山
東、醫　苫口一正　岡山　東、醫　佐藤（舊高橋）達吉　岡山　岡、醫　齋藤盛三　岡山
東、醫　清水武男　岡山　京、醫　林　次郎　岡山　大、醫　長谷川美通　兵庫
大、醫　中野　潔　山口　京、醫　鍋島光雄　廣島　千、醫　（舊馬場）福島房好　岡山
岡、醫　橋本正治　岡山　馬場正義　岡山

岡、醫　藤原公平　岡山　　東、農　松島賢　岡山　　京、工　南正三　兵庫
東、農　三輪邦太郎　岡山　　京、醫　水川求禮雄　岡山　　京、醫　宮脇清香　川
京、醫　柳本卓二　岡山　　東、農　山田浩一　新潟　　東、理　和田一德　島

○第三十三回卒業生（昭和十年三月十三日卒業）計二百三十七名

文科甲類（六十四名）（五十音順）

東、文　阿部篤美　岡山　　京、法　秋葉康　岡山　　東、法　足立進　大阪
東、法　天野平吉　廣島　　東、法　伊藤吉照　香川　　京、經　石原義孝　岡山
東、法　泉重郎　山口　　東、法　今西勳　大阪　　東、經　植田研三　大分
神、商　小川謙治　岡山　　神、商　岡部正人　岡山　　東、法　岡本久男　千葉
東、法　荻野二郎　岡山　　京、法　奥篤孝　和歌山　　京、法　奥山平岡　山
東、經　太田怜三　廣島　　東、法　大西博　香川　　東、法　大野忠男　岡山
京、法　大森榮　岡山　　東、法　大和近義　廣島　　東、法　香川新　香川
東、經　鹿島眞次郎　和歌山　　東、經　河合滉二　岡山　　神、商　川西民芳　岡山
東、文　川西正巳　香川　　東北、法文　鴨井三郎　岡山　　東、經　草野信男　岡山

東、法　小林敏郎　廣島　　東、經　下川勇吉　福岡　　千　鬼久一郎　愛媛
神、商　高橋重雄　愛媛　　東北、法文　武川美作穗　岡山　　京、法　玉置隆彦　和歌山
東、法　治部万兵衛　岡山　　津村清祐　鳥取　　東、法　築澤克已　岡山
東、法　德永正憲　岡山　　東、法　內藤峯吉　岡山　　京、法　直木三雄　兵庫
京、文　中野三令　大阪　　東、法　中村丑夫　岡山　　東、法　永井正就　廣島
京、經　永安明　大阪　　京、法　難波早苗　岡山　　東、法　西本正明　愛媛
東、法　西山德　和歌山　　京、經　野澤克已　長野　　東、經　林保之　廣島
東、法　堀川洋　岡山　　東、經　福田正　熊本　　東、法　松澤卓二　東京
東、法　松島廉　岡山　　東、法　前田滋　大阪　　東、法　增井正次郎　兵庫
東、法　水島慧樹　岡山　　東、經　水田弘　岡山　　東、法　水野裕二郎（舊茂）　岡山
京、法　南作男　大阪　　京、經　村川幸一　大阪　　東、文　森田結吾　兵庫
東北、法文　森本榮二　岡山　　神、商　安原爵雄　岡山　　京、法　安原良憲　兵庫
神、商　橫田光四　東京

文科乙類（三十六名）

東、法　阿部三郎　岩手　　京、文　池田正一　岡山　　東、經　泉谷芳忠　香川

京、法　板野　雄一　岡山
東、法　牛尾　貴　岡山
東、法　岡本　操　鹿岡山
京、法　大月　榮一　岡山
×梶田　知邦　岡山
東、法　近藤　藏之輔　愛媛
京、經　島羽　正夫　兵庫
京、法　原井（舊藤原）　恭三　兵庫
京、經　早速　克吾　廣島
九、法文　前田　澄夫　岡山
京、經　山崎　義人　岡山

理科甲類（九十七名）

東、醫　朝比奈　晴世　德島
京、醫　安藤　榮吉　岐阜
東、工　井村　敏夫　岡山
京、農　芦澤　龍一　岡山
京、醫　猪木　悌三　岡山
京、醫　池口　品久奈　良
京、文　出井　高晏　兵庫
東、法　禮立　希陸　岡山
東、經　太田　顯　岡山
東、文　梶　正一　岡山
東、法　川口　守一　岡山
京、法　坂本　弘　岡山
京、法　成田　日出雄　秋田
京、法　平田　幸太郎　香川
東、法　本田　正勝　香川
東、法　宮田　龍介　岡山
東北、法文　横山　博　廣島
東、農　綾　光　香川
東、農　猪木　三吉　岡山
京、理　石井　正巳　廣島
京、法　稻田　進五　愛知
東、法　小野　政男　岡山
東、法　大野　榮彦　岡山
九、法文　梶川　靜雄　鳥取
東、法　栗林　正郎　大分
東、法　鈴木　侃二　岡山
東、法　額田　雄治郎　岡山
東、經　福島　達彦　東京
京、文　松原　定信　岡山
京、法　山口　二郎　兵庫
東、法　渡邊　觀吾　山口

大、工　石原　明　岡山
東、農　岩城　將德　島
京、工　枝松　敏郎　岡山
岡、醫　岡崎　泰裕　岡山
京、工　大東　俊一　岡山
京、工　門屋　寛　愛媛
岡、醫　河野　讓也　岡山
京、工　絹笠　隆三　兵庫
東、農　桑原　可武　岡山
岡、醫　見藤　正男　岡山
東、農　小林　資春　兵庫
京、工　末澤　不二雄　香川
京、工　多田　英親　京都
京、工　塚本　正靜　岡
東、工　富坂　英夫　大阪
東、工　三郎　大阪
仲
名、醫　磯田　彌彦　京都
東、農　岩城　將德　島
東、工業上　岡　豐　岡山
京、工　枝松　敏郎　岡山
岡、醫　小倉　道郎　岡山
京、工　岡田　哲三　鳥取
大、理　各務　賴文　岐阜
京、工　金光　敏雄　岡山
大、醫　神原　崇臣　香川
大、醫　日下貫之　亮兵庫
岡、醫　熊野　武雄　廣島
大、醫　黒田　明良　愛媛
岡、醫　古城　昌敏　岡山
東、工　小島　毅男　埼玉
岡、醫　下村　弘　岡山
大、工　杉原　浩　岡山
東、理　高田　正　岡山
東、工　築島　開一　廣島
東、工　富澤　宣成　石川
大、醫　友野　正明　廣島
東、工　中島　泰祐奈　良
京、理　稻田　實　廣島
京、理　内田　信男　岡山
大、工　小野　健二郎　岡山
岡、醫　奥　浩和歌山
大、工　片岡　誠　岡山
東、工　河野　忠義　德島
九、醫　木曾　宗光　廣島
京、工　國富　佳壽郎　岡山
大、醫　黒田　明良　愛媛
岡、醫　古城　昌敏　岡山
東、工　須田　義臣　東京
岡、醫　田村　宣　香川
東、工　竹野　正男　山口
東、農　富岡　正三　岡山
大、醫　友野　正明　廣島
岡、醫　中村　弘之　岡山

京、醫　中山千秋　愛知
大、工　西尾剛　岡山
京、工　濱口實德　島
名、醫　平田勳　山口
京、理　廣部次夫　兵庫
大、工　別所孝　岡山
京、醫　松村正之　岡山
岡、醫　三舟健平　德島
東北、工　水野昻一　岡山
京、醫　八木田正夫　岡山
東、工業　安原孝二　岡山
東、工　横山佐藏　兵庫
京、工　吉村秀夫　岡山
京、工　渡邊文雄　愛媛

永瀨正己　岡山
東、工業　永森茂鄕　岡山
服部功三重　東、農　花田時太　岡山
原田恒　岡山　京、工　平木寬　岐阜
平田並樹　岡山　京、工　菱川正武　岡山
廣部次夫　兵庫　東、工　藤原正男　岡山
福井康興　香川　松尾正三　廣島
松成良英　香川　丸川六郎　兵庫
三田周　大阪　京、醫　道久正良　香川
濱淵清　香川　東、農　森安弘之　岡山
宮崎勝茂　福岡　東、工　安信啓　岡山
八部祐一　岡山　京、文　山松賢文三重
山田彦右衞門　奈良　京、農　吉原正年　岡山
吉田孝　兵庫　京、理　渡邊孝章　岡山
劉克濟　滿洲國

理科乙類（四十名）

岡、醫　赤木正　岡山
北海、工　石谷節三　島取
岡、醫　上田徹也　岡山
京、醫　尾崎誠一　香川
京、農　角谷良一三重
岡、醫　小橋幾太郎　岡山
大、理×坂部徹　岡山
岡、醫　戶田信義　岡山
岡、醫　中島博之　岡山
廣部智夫　滋賀
大、醫　增住正明　兵庫
岡、醫　三村勝　岡山
東、農　山田茂喜　岡山
岡、醫　渡邊武志　岡山

大、醫　安東尙雄　岡山
九、醫　稻垣文朗　廣島
岡、醫　植田安昌　岡山
東、農　小澤康郎　富山
岡、醫　川村正夫　大阪
京、醫　後藤邦暢　香川
京、醫　谷正文　德島
岡、醫　那須毅　岡山
京、醫　內藤一男　兵庫
京、醫　早瀨正二　岡山
大、工　藤井義生　岡山
京、農　松田順次郎　和歌山
村山孝史　德島
岡、醫　結緣晃祥　岡山

京、醫　井上英夫　山形
東、工　入江正彥　岡山
京、醫　榎本幹雄　和歌山
京、醫　岡宣三　香川
岡、醫　岸本勇　岡山
城、醫　佐柳大三郎　香川
京、醫　丹羽德治　島取
京、醫　內藤一男　兵庫
京、醫　早瀨正二　岡山
大、工　藤井義生　岡山
京、農　松田順次郎　和歌山
村山孝史　德島
岡、醫　結緣晃祥　岡山

○第三十四回卒業生（昭和十一年三月十三日卒業内二名三月三十一日卒業）計二百四十二名

文科甲類（六十四名）（五十音順）

東、法　青木正夫　香川
東北、法文　麻生次衞　廣島
東、法　石川操　岡山
東、經　小笹百四郎　京都
東、法　岡崎賢一　岡山
奥山憲治　岡山
東、法　大島久俊　香川
東北、法文　景山修　岡山
東、法　北山（舊國越）恭治　京都
京、文　×三井利行　香川
東、法　上坂泰　大阪
東、文　坂井澄之　兵庫
東、法　下村可龜　高知
京、法　杉村政治　奈良
京、法　竹內義夫　福井
東、經　中島尙久　香川
東、法　中山公平　兵庫
東、經　永富敏　兵庫
東、法　伯井平三郎　大阪
東、法　久光大介　岡山
京、法　眞野富士夫　岡山
東、經　三島洋一　島根
東、經　山川眞平　埼玉
京、文　角南正志　岡山
京、經　鈴木義基　香川
京、法　玉置嘉房　岡山
東、經　中島泰郎　岡山
東北、法文　長尾忠生　香川
京、法　難波芳朗　岡山
東、法　原田修　岡山
東、法　藤井淳吉　岡山
東、經　牧燃京都
東、經　光田伍一　岡山
京、法　山崎利明　長崎
東、經　菅野孝始　兵庫
京、法　田中擧雄　宮崎
東、法　檜本重治　兵庫
東、法　中村治朗　香川
京、文　長尾正和　香川
京、法　野山郁造　岡山
東、法　原野坦　岡山
東、法　本多武雄　大阪
東、經　松田銑　岡山
京、經　虫明茂夫　岡山
東、法　淺田利夫　岡山
九、法文　池田一夫　岡山
京、法　浦田正四郎　岡山
東、法　岡田哲夫　香川
東、法　岡田勝二　岡山
京、法　大浦敏弘　大阪
京、法　加藤義昌　廣島
京、法　川本勳　鳥取
京、法　金永執　朝鮮
東、法　小橋貫　岡山
東、經　金万滋　岡山
東、經　盧田卓爾　岡山

文科乙類（三十五名）

東、法　赤澤典雄　岡山
神、商　池上三郎　岡山
京、法　今村信吉　大分
東、法　赤枝正一　岡山
東、文　天野歡三　香川
京、經　臼井正信　鳥取
東、法　小野（舊一嘉）孝　兵庫
東、法　岡島民佳　石川
東、文　奥村貞正　愛媛
京、法　太田知典　岡山
京、法　龜井正夫　和歌山
京、法　金永執　朝鮮
東、法　小橋貫　岡山
東、經　近藤曠　大阪
東、經　金万滋　岡山
東、經　盧田卓爾　岡山
東、法　秋山長造　岡山
神、商　井上義正　岡山
東、法　石井美之松　岡山
東、法　今中達雄　岡山
京、經　內海省三　香川
東、經　岡義雄　岡山

京、法　岡田加也愛媛　東、法　大西章香川
京、法　北村憲一岡山　東、法　金嶋久雄岡山
京、法　小林義忠岡山　東、法　久山滿夫岡山　東、法　國友豊香川
東、法　杉山浩岡山　京、經　佐藤巧岡山　東、法　春藤康二岡山
東、經　濱本威夫岡山　京、法　妹尾二郎廣島　東、法　田中卓郎岡山
東、經　中村徹郎岡山　京、法　谷田豊京都　京、法　土井泰右廣島
東、法　松岡一章兵庫　東、法　松永勇岡山　東、法　藤井重岡山
京、法　宮崎珍夫大分　京、法　森純造香川　京、法　的場憲吾岡山
東、文　山本壽夫岡山　京、法　和田實鹿兒島　東、法　森本照夫岡山

理科甲類（百十二名）

新、醫　青木還吉和歌山　東、工　淺沼強岡山　東、工　安藤昌三香川
京、工　安藤泰一郎岡山　岡、醫　石井正義岡山　岡、醫　石井忠信岡山
大、農　石川浩岡山　岡、醫　石田圭基男岡山　岡、醫　稻岡温岡山
京、醫　乾俊郎香川　東、醫　今本廣明和歌山　大、醫　岩井衞大阪
岡、醫　上田毅岡山　岡、醫　內田周秋東京　京、工　小田原孝東京

東、工　小野孝順岡山　大、醫　大草次郎德島　東、工　大森茂東京
大、醫　大森玄洞岡山　東、工　大屋宏東京　京、文　太田久夫岡山
岡崎一正岡山　大、工　香川凡夫香川　京、理　加藤汎洋德島
早大、理工　片岡道晏京都　岡、醫　片木正雄京都　東、理　金子徹一愛知
京、理　金田兼全兵庫　京、工　鎌野辰男香川　京、理　河野廣五郎廣島
京、農　木村誠一京都　東、工業　菊池榮一群馬　岡、醫　北村征男和歌山
東、工　藏田正典兵庫　東北、醫　小出峻兵庫　岡、醫　小西信夫岡山
東、工　小林信夫岡山　東、工　小林禎典岡山　東、工　小林貞夫岡山
小林敬彦三重　東、理　近藤研二岡山　東、工業　近藤進勇福岡
東北、工　佐藤常守廣島　東、工業　佐脇正男三重　大、理　佐藤典雄岡山
京、醫　齋藤重道山口　京、理　坂野知紀兵庫　東、理　壚見幸三京都
東、醫　白石信尙愛媛　東、理　重田二郎岡山　東、工　白神正信岡山
京、農　末澤一男香川　菅謙次郎廣島　大、工　鈴木正也靜岡
東、工　相馬重胤千葉　岡、醫　蘭田尙次京都　大、工　田中久三大阪
京、工　多羅間公雄山口　京、工　高島晴一兵庫　大、工　高城清兵庫
岡、醫　瀧澤敏正岡山　大、工　竹田俊次德島　岡、醫　竹林和美岡山

東、工　津田忠克　岡山
岡、醫　辻村定夫　兵庫
京、醫　名越弘　岡山
東、工業　中井周二　東京
京、理　中山龍夫　愛知
京、工　西成基　東京
東、工　野崎芳雄　岡山
東、理　原田毅　岡山
京、醫　東原準一　香川
岡、醫　福岡弘　兵庫
京、工　藤井和雄　岡山
東、工　前田昌和　香川
東、工　三木正隆　香川
東、醫　村川浩正　岡山
岡、醫　矢部金次　岡山
岡、醫　吉田正義　岡山

京、工　辻登　岡山
大、工　田明正　大阪
大、工　中井直太郎　兵庫
東、農　中島基吉　兵庫
東、工　長野忠彦　山口
岡、醫　西田勇　廣島
東、醫　悦次　岡山
京、工　板東春雄　德島
大、工　平田玄齋　大阪
大、醫　福本英策　兵庫
九、醫　藤野虎男　福岡
東、工業　松本清　廣島
大、醫　村井利孚　石川
大、工　八木正武　高知
岡、醫　大和人士　岡山
東、工　和田精良　兵庫

東、工業　安達敏彦　新潟
京、工　小野榮一郎　岡山
京、醫　唐川正典　廣島
京、醫　栗野周平　靜岡
京、工　後藤小一郎　香川
岡、醫　神賣定吾　岡山
東、理　福家德次郎　德島
岡、醫　益谷達志　岡山
京、工　保田雅夫　岡山

京、醫　相浦正人　佐賀
岡、醫　岡本正　岡山
東、醫　祇園若二　岡山
京、醫　小坂淳夫　岡山
京、理　近藤幸雄　兵庫
岡、醫　中井正　兵庫
京、醫　藤井清士　廣島
岡、醫　宮本祥郎　岡山
京、醫　山本安明　香川

九、工　板倉光三　神奈川
京、農　梶村理一郎　大阪
東、醫　國定信忠　岡山
京、醫　後藤龍郎　兵庫
京、醫　城崎保三　重
大、醫　中川治夫　大阪
岡、醫　古谷淳　岡山
京、醫　森益太　岡山
京、醫　渡邊直記　山口

東、工　和仁達美　岡山

理科乙類

（二十七名）

○第三十五回卒業生（昭和十二年三月十三日卒業）計二百四名

文科甲類

（五十四名）（五十音順）

東、法　青木二郎　岡山
東、法　池本俊雄　兵庫
東、文　植杉潤三　兵庫
京、經　大澤政雄　德島
京、文　糟谷等藏　岡山
京、經　河盛憲二郎　大阪
京、法　橘高純雄　廣島
東、法　國富　正　岡山
京、法　小林正弘　兵庫
東、法　高原俊雄　香川
京、法　建内保興　岡山
東、經　堤　靖　兵庫
京、法　中島典雄　兵庫
東、法　野上定平　岡山
東、經　福島敎雄　兵庫
東、法　穗井田佑一　岡山

京、法　猪原匡直　廣島
東、法　笛吹亨三　大阪
京、法　岡田榮太郎　京都
東北、法文　太田健一　岡山
東、法　河合義夫　東京
　　岸　榮一　愛知
京、經　久保田哲夫　兵庫
京、經　黑正太郎　岡山
東、文　新間進一　兵庫
東、文　竹内義郎　岡山
京、法　玉置整三　和歌山
東、經　中川敬一　大阪
東、經　二宮安藏　大分
東、經　平松千年　三重
東、法　藤本孝夫　岡山
東、法　前原丸一　岡山

東、經　池永　壽三　重
京、經　岩崎眞一　滋賀
京、法　岡田榮太郎　京都
東北、法文　太田健一　岡山
東、法　河端正巳　愛媛
　　岸　榮一　愛知
京、經　久保田哲夫　兵庫
京、經　黑正太郎　岡山
東、文　新間進一　兵庫
東、文　竹内義郎　岡山
京、法　玉置整三　和歌山
東、經　中川敬一　大阪
東、經　二宮安藏　大分
東、經　平松千年　三重
東、法　藤本孝夫　岡山
東、法　前原丸一　岡山

京、經　正田　泰　岡山　神、商　三宅祐太郎　岡山
東、經　矢作文男　東京　京、法　山本正憲　岡山　東、經　三宅眞助　岡山
　　東、經　吉田正伍　香川

文科乙類（三十名）

京、法　生島國雄　京都　東、法　浦上一郎　岡山
東、法　大磯幸男　廣島　東、法　影山衛司　廣島
京、法　君野駿平　鳥取　東、經　小橋一郎　岡山
東、法　篠崎英二　佐賀　京、法　城　晃　大阪
京、法　綱井輝夫　香川　×坪井　隆　岡山
東、法　中田　基　香川　東、法　西山善一郎　岡山
京、法　早借達一郎　香川　京、法　東　正隆　愛媛
京、經　藤田二朗　京都　東、法　寶來寬吾　岡山
東、法　向井正文　岡山　京、法　守口長英　大阪
京、經　吉田定夫　岡山　京、經　吉村達次　京都

東、法　大井邦熙　香川
京、法　川瀨芳太郎　滋賀
東、法　小林榮衛　岡山
東、法　津田大三　兵庫
東、經　戸崎　徹群　馬
東、法　橋本勝之助　岡山
東、文　福武　直　岡山
東北、法文　宮原正吾　岡山
京、經　山本　稔　和歌山
東、經　渡邊邦一　岡山

理科甲類（八十六名）

岡、醫　阿部孝男　岡山　東、工　安藤保之　岡山　岡、醫　井上　威　兵庫
岡、醫　池田正三　鳥取　岡、醫　池田久男　岡山　岡、醫　生長　勇　山口
岡、醫　岩原定可　岡山　東、北工　江口嘉之助　岡山　岡、醫　江口武夫　岡山
九、工　內田富彥　福岡　東、農　梅田三樹男　奈良　岡、醫　小倉忠郎　岡山
　　小高通高　岡山　京、工　小野長一　岡山　京、農　岡野惠四郎　大阪
京、工　香川揚一　香川　京、工　加藤四郎　長崎　東、工　加藤都夫　香川
東、農　加藤敬吉　三重　京、工　加門健三　岡山　東北、工　樫田治郎　兵庫
東、工　金澤義一　香川　東、工　金谷勝太郎　香川　東、理　川ノ上迪之　廣島
大、理　河本於兎彥　兵庫　東、農　蒲地五四郎　佐賀　東、工　神野正一　廣島
東、工　木村壽雄　香川　大、醫　木村博好　德島　京、醫　清住正博　德島
大、醫　玉仁錫朝鮮　京、工　久保田一晟　長崎　京、醫　久山照息　岡山
岡、醫　串殖和歌山　東、農　熊野繁藏　廣島　岡、醫　黑住靜之　岡山
大、工　小林卓朗　岡山　東、工業齋藤力太　岡山　京、農　坂本通宣　廣島
大、醫　眞田篤郎　廣島　東、農　澤井道夫　東京　長、醫　白髭勝世　長崎
京、工　田中重雄　岡山　大、醫　田中二郎　大阪　九、醫　高木篤　廣島
名、醫　高須康之　和歌山　東、農　高塚清　岡山　京、工　高原良一　岡山

京、醫　武內四郎　岡山　東、工　武田明男　東京　大、醫　谷光圭司　香川
京、工　玉井寧　岐阜　大、醫　千葉隆造　兵庫　東、農　築島立吉　廣島
東、醫　外山正彥　岡山　富田耕三　三重　名、醫　鳥居健太郎　靜岡
名、醫　中出泰安　三重　大、醫　中谷內雅人　石川　岡、醫　永瀨眞吾　岡山
東、工　中村泰三　兵庫　東、理　南部慶一　東京　京、醫　南相鎬　朝鮮
岡、醫　西崎道生　岡山　京、農　沼本時雄　岡山　東、工　馬場利男　岡山
大、工　彥坂芳郎　東京　岡、醫　平井一　仮岡山　岡、醫　藤川良夫（舊古屋）　廣島
東、工　藤澤喜行　香川　岡、醫　藤原純夫　岡山　岡、醫　春名成一　德島
京、理　牧浦隆太郎　神奈川　九、醫　松崎文雄　德島　京、工　三好治巳　愛媛
岡、醫　水河忠敬　岡山　東、農　向井秀臣　岡山　長、醫　虫明忠雄　岡山
東、工　森武俊　大阪　東、工　森本醇吉　山口　京、理　×安富正慈　山口
東、理　安田洋一　福島　東、理　山崎十郎　兵庫　大、工　山本武夫　京都
京、工　吉岡康夫　京、都　大、工　和田直德　島

理科乙類（三十四名）

京、醫　有馬三郎　兵庫　東、農　井上龍夫　岡山　東、工　石井俊三　廣島

岡、醫　今田純正　岡山
京、醫　右馬文治　奈良
岡、醫　浮田實三　岡山
東、工　岡村史良　岡山
岡、醫　岡本勇　岡山
大、醫　奥壽夫　和歌山
東、農　太田滋　鳥取
大、醫　影山次郎　岡山
大、醫　木戸口忠三　重
岡、醫　小寺丈夫　岡山
岡、醫　佐野俊平　岡山
京、農　里村浩　大阪
九、醫　曾我安吉　岐阜
東、工　高橋正吾　廣島
京、理　瀧本恒太　岡山
大、工　谷山敏夫　岡山
岡、醫　土井源治郎　岡山
京、醫　千頭輝雄　高知
名、醫　永井進三　重
東、農　早川侖　岡山
岡、醫　羽田政男　岡山
京、醫　松尾修　兵庫
岡、醫　水原舜爾　岡山
東、工　松田幹雄　香川
岡、醫　宮尾正幹　長野
京、醫　村田英太郎　岡山
岡、醫　山田寛一　兵庫
京、醫　水取二郎　和歌山
岡、醫　山本道雄　廣島
大、工　吉田三郎　兵庫
九、農　渡邊謙　長野

○第三十六回卒業生（昭和十三年三月十二日卒業）　計百九十五名

文科甲類　（五十六名）　（五十音順）

東、法　赤木勝利　岡山
東、經　有元稔　岡山
東、法　石田博之　廣島
東、經　礒部保昌　山口
東、法　稻森精一　三重
東北、法文　今澤章平　香川
神、商　今脇弘志　岡山
京、經　江口善夫　岡山
京、經　岡龍一郎　岡山
東、文　大原利貞　岡山
東、文　川村大膳　大阪
東、經　河野正士　島根
東、法　神谷芳男　靜岡
京、經　亀山仁郎　岐阜
京、法　韓桓鎭　朝鮮
東、法　木下武香　川
東、文　木村優德　島
東、法　久保田一郎　岡山
東、經　佐野新一　岡山
東、經　山東茂雄　和歌山
神、商　壇谷豊　鳥取
東、經　澁谷睦夫　廣島
東北、法文　田口武　群馬
東、法　田中次郎　山口
東、經　高木清　兵庫
東、法　高田一郎　岡山
東、法　高橋靖　愛媛
東、經　高原信裕　岡山
京、法　高宮亭二　京都
京、經　谷口弘明　香川
東、法　辻川利正　岡山
東北、法文　直木和　兵庫
東、經　長田光郎　兵庫
東、法　中島毅三　岡山
東、法　中村敏雄　岡山
京、文　中村谷茂夫　香川
東、經　林富三郎　岡山
東、法　林和民　德島
京、經　長谷川潤次　東京
京、經　橋本淳雄　岡山
京、經　服部泰敏　岡山
京、法　廣瀨利夫　香川
東、文　福田襄之介　岡山
京、文　福島榮三　大阪
東、經　堀務　東京
神、商　益子慶基　栃木
京、法　朴鍾甫　朝鮮
東、法　松岡英澄　岡山
東、經　三浦道三郎　岡山
東北、法文　森武次　三重

東、經　森　隆太郎　滋賀　　京、文　森田　隆　佳香川　　東、文　八代　祥吉　岡山
京、經　安田　金吾　大阪　　京、法　若林　一次　岡山

文科乙類（二十九名）

京、法　安藤　德　岡山　　東、法　池田　一郎　岡山
京、法　岩井　希夫　岡山　　神、商　今井　重義　愛媛
東、法　江藤　善七郎　大阪　　東、經　太田　健三　岡山
東、經　大村　久　岡山　　東、法　蒲　章　京都
京、法　佐野　博　兵庫　　東、經　坂本　肇　高知
東、法　竹中　知之　岡山　　東、法　富田　正敏　大阪
西田　茂　岡山　　京、法　野崎　隆壽　三重
東、經　藤岡（舊增田）脩一　岡山　　東、法　藤原　吉備彦　岡山
東、法　大村　筆雄　廣島　　東、法　三宅　峻　兵庫
東、法　守安　清　岡山　　東、法　山桝　英夫　鳥取
磯野　哲三郎　岡山
京、法　內ケ崎　直郎　宮城
東、法　大谷　猛雄　岡山
京、法　黑瀨　昇　岡山
京、法　田中　貫　大阪
東、法　中川　律男　岡山
東、法　野田　正武　大分
京、文　藤本　靜香　岡山
京、經　宮田　敬三　大阪

理科甲類（八十三名）

東、工　安陪　俊一　鳥取　　東、農　麻生　和衞　廣島
岡、醫　井崎　太郎　鳥取
岡、醫　板野　誠　岡山　　京、醫　稻本　洋　香川
京、醫　稻本　喜治　香川
東、工　宇垣　成夫　岡山　　內田　正人　岡山
京、醫　遠藤　二夫　德島
大、工　小畑　幸彦　大阪　　京、工　小幡　敏男　岡山
岡、醫　岡崎　三郎　岡山
京、工　大塚　恭二　島根　　東、農　大塚　英世　茨城
大、醫　大林　孝夫　大阪
岡、醫　大藤　眞　岡山　　東、工　大森　豐　東京
京、工　相宅　省吾　大阪
京、農　梶　明香　川　　京、理　金田　彰夫　大分
岡、醫　河田　治行　岡山
岡、醫　木田　惠三　岡山　　東、醫　木下　悅男　岡山
東北、工　木村　惠太郎　岡山
東、理　北山　毅　岡山　　東、醫　國越　宇市　香川
東、工　黑川　秀雄　岡山
東、工　小濱　整司　群馬　　東、理　小林　茂廣　香川
東、工　小林　陽太郎　岡山
岡、醫　近藤　善次　廣島　　京、工　佐藤　貫　大分
京、工　酒井　敏夫　廣島
京、醫　酒井　正宏　兵庫　　東、醫　清水　盈行　東京
京、理　篠原　泰　愛媛　　大、理　三賓　義照　廣島
京、工　進藤　登　大阪　　東、工　陶浪　陸郎　岡山
京、理　島　史朗　大阪　　東、醫　鈴木　伊佐雄　岡山
東、工　鈴木　隆　韶德　島　　京、工　杉田　安衞　德島
東北、工　仙川　敏雄　神奈川　　京、工　田中　輝次　岡山
京、理　田井　眞澄　京都

東、工　田中誠一郎　東京　　東、農　田村　親福島　　京、工　高田元次　岡山
大、醫　武市半一　高知　　東、工　近重八郎　山口　　東、工　政　武男　鹿兒島
東、工　鵜田龍夫　長崎　　岡、醫　鳥取秋彦　岡山　　名、醫　内藤秀次　愛知
　　中井　清　兵庫　　中井達人　大阪　　京、工　中井資郎　山形
東、工　中村三郎　和歌山　　京、工　成瀬一郎　兵庫　　東、工　丹生　宏　和歌山
東、工　西山　實　岡山　　京、工　野口徹郎　香川　　岡、醫　野村典康　東京
東、工　廣瀬可康　兵庫　　京、工　福家　傳　香川　　大、工　福川貞臣　長崎
京、醫　藤原　弘　岡山　　京、工　藤原良治　廣島　　東、工　藤原一夫　岡山
東、工　船山夏雄　東京　　東、醫　古川　昇　三重　　東、農　古谷綱雄　愛媛
京、工　松尾武二　岡山　　京、理　松下壽米男　愛知　　東、工　三井哲夫　岡山
東、工　水川三郎　岡山　　東、工　宮本嘉一　德島　　京、醫　本村悠基雄　佐賀
東、醫　大和武士　岡山　　京、理　好本　寛　岡山

理科乙類（二十七名）

京、工　安東侃一郎　岡山　　岡、醫　石田收作　岡山　　岡、醫　小川達海　岡山
岡、醫　小川彌彦　廣島　　岡、醫　長田不二彦　岡山　　大、醫　大川内勝治　佐賀

長、醫　太田弘之　岡山　　京、工　神崎淳一　岡山　　岡、醫　衣川弘道　京都
岡、醫　桐野明夫　岡山　　京、醫　桑原忠雄　和歌山　　岡、醫　小山　豪　岡山
東、醫　田中惇一　香川　　京、醫　高貴元長　香川　　京、醫　高田瑞穗　鳥取
東、醫　辻　一郎　岡山　　東、農　坪井八十二　岡山　　岡、醫　德田幹夫　岡山
　　富永　倪　廣島　　　　西風武夫　和歌山　　大、醫　日高威彦　大阪
熊、醫　細川　明　長野　　三宅一太　兵庫　　岡、醫　水内健次　岡山
名、醫　毛利　豊岐卓　　岡、醫　矢野邦助　香川　　岡、醫　山本邦義　秋田

○第三十七回卒業生（昭和十四年三月十三日卒業）（計二百一名）

文科甲類（五十八名）（五十音順）

京、經　安部義一　東京　　京、經　相澤　茂　神奈川　　京、法　朝田　孝　兵庫
東、法　荒玉義人　廣島　　東、法　井上芳文　岡山　　東、經　井村精爾　岡山
東、法　池木博俊　廣島　　東、經　飯島盛邦　秋田　　　今西富一　廣島
九、法文　内尾政典　福岡　　京、經　緒方健一　福岡　　東、經　小田後之　廣島
　　小野道夫　岡山　　京、文　織田昭麿　福井
　　奥　良二　和歌山

東、文　大野貞次郎　東京　　東、經　大林秀彌　岡山
東、法　太田省一　富山　　東、法　折笠與四郎　福島
東、文　影山剛　岡山　　東、法　龍井昌義　岡山
京、經　河村四郎　佐賀　　櫛田善輔　兵庫
京、法　小松原淳之亮　岡山　　東、法　近藤鴻三　岡山
京、法　坂野定和　岡山　　東、經　白濱正則　鹿兒島
田邊良貞　岡山　　東、法　高木一夫　福岡
高橋壽　廣島　　東、經　高見豐治　廣島
且進　岡山　　京、文　戸川俊正　岡山
東、文　西嶋定生　岡山　　京、經　野島太郎　香川
東、法　橋本太助　岡山　　東、經　林泰一郎　岡山
京、經　堀三郎　和歌山　　東、法　眞鍋弘　香川
東、經　目瀬稔　岡山　　森本明德　島
京、經　山上克己　廣島　　東、文　山上正太郎　岡山
東、法　米田伸吉郎　兵庫

文科乙類（二十六名）

東、經　太田憲三　愛知
東北、法文　貝原淳太　岡山
岡、醫　梶谷太郎　岡山
京、法　小西壽夫　兵庫
京、法　近藤憲量　香川
東、法　須田光次　群馬
東、法　高橋善五郎　鳥取
東、法　澁川幹雄　東京
京、經　中瀨善雄　岡山
東、經　野中關造　佐賀
京、法　別役道久　高知
東、文　宮本治男　廣島
東、經　森山和郎　岡山
東、經　吉川惠三　兵庫

台北、醫　粟根秀雄　廣島　　京、經　井上功　岡山
京、法　入澤務　岡山　　東、法　岡田覺夫　岡山
京、法　大月正　岡山　　岡、醫　小武守靖　岡山
京、經　坂田眞太郎　岡山　　京、法　清水通夫　兵庫
東、法　杉原茂　岡山　　東、法　鈴木幸彥　廣島
東、法　中岡正幸　和歌山　　京、法　中村文雄　岡山
京、法　永瀨哲夫　岡山　　東、法　長野士郎　岡山
京、法　檜垣修　愛媛　　京、經　星野正實　福岡
東、文　松本佐一郎　神奈川　　京、經　渡部徹　大阪

理科甲類（八十六名）

東、文　荒地清超　山口　　京、工　井上武　岡山
大、理　井關善八　和歌山　　北海、理　井森輝尙　廣島
東北、工　石井幸次郎　岡山　　京、醫　石川博　廣島
泉修平　兵庫　　東京、工業　稻見浩　東京
京、工　上田明　奈良　　浦田純一　神奈川

東、法　石田和夫　岡山
東、法　岡本大一　岡山
東、法　兒山大策　岡山
東、法　神余正義　香川
東、法　鵜海良一郎　岡山
京、法　中村善一　兵庫
仁尾三郎　福岡
松浦秀之　廣島
岡、醫　井口良治　廣島
池田隆　岡山
石原有一　岡山
今西久彌　奈良
遠藤禮次郎　岐阜

東、理　岡本　康青森　大、理　大塚齊之助滋賀
東、農　大森常良岡山　東、理　大矢博毅東京
京工　片木劍三郎大阪　名、醫　片山賛典岡山
東、農　假谷　桂岡山　京、農　貴志　修岡山
岡、醫　木山　亨岡山　東、工　岸本泰延岡山
京、工　工藤　正廣島　東、理　久保哲治郎德島
岡、醫×近藤英太郎岡山　東、醫　佐藤　弘岡山
京、理　清水敏武岡山　京、工　篠原　幹廣島
京、工　白井信雄新潟　須々木毅岡山
京、工　角田　章岡山　東、工　竹内　正岡山
京、工　谷　重幸廣島　京、工　辻野正秋大分
大、工　土井大陸兵庫　東、工　中澤忠藏長野
大、理　長瀬壽郎岡山　京、工　長瀬英介岡山
岡、醫　西崎太計志岡山　東、農　長谷榮二岡山
大、醫　服部鎭男岡山　東、農　原納一富奈良
東山芳郎岡山　大、工　廣瀬治夫兵庫
京、工　大野恒男岡山
東、工　加藤正男愛知
東、農　唐川卓郎廣島
京、工　喜多久博大阪
大、工　北脇三男香川
東、工　小松收造岡山
京、理　雀部　正京都
岡、醫　柴田雅男岡山
京、工　須藤二郎新潟
京、理　竹原勝次郎岡山
京、工　鵜田禎二德島
東、農　中村　直島根
京、農　二木哲郎岡山
京、工　畑山達雄和歌山
京、工　檜和田亮造廣島
京、醫　廣谷尙文岡山

東、理　逸見吉之助岡山　名、醫　堀向憲治廣島
京、農　牧野省吾福井　大、工　松田吉平兵庫
京、理　丸濱徹郎岡山　東、工　三宅俊治山口
東北、理向井金二岡山　岡、醫　向井達也岡山
東、工　森　重太郎大分　岡、醫　森谷　健岡山
京、工　山下正毅靜岡　九、工　山根幸夫山口
東、工　湯口俊一京都　湯淺哲夫香川
大、工　吉田　猛岡山　大、醫　渡邊武夫東京
東京、工業　馬渡茂信長崎
松本要香川
京、工　三宅　博岡山
東、工　森　哲三岡山
大、工　守谷一郎岡山
京、工　山本斌岡山
京、工　吉崎太郎岡山

理科乙類（三十七名）

京、工　赤木忠雄岡山　岡、醫　新　泰雄岡山
名、醫　石井秀利奈良　岡、醫　岩津精一岡山
京、醫　神坂泰之助岡山　岡村信幸岡山
名、醫　貞木正生和歌山　大、醫　小谷　峻岡山
鈴木光雄岡山　岡、醫　佐藤　仁岡山
東、醫　瀧川鐸三大阪　岡、醫　篠井重耕岡山
岡、醫　妻井哲郎岡山　岡、醫　新免豐太岡山
岡、醫　谷本一岡山
大、醫　中島　弘鳥取
中桐敏宏岡山

京、醫　中西牧一德島　京、工　畑中宗一郎岡山
東、醫　東原良績岡山　平井　守岡山
東、醫　古河惠三大阪　岡、醫　古谷純一岡山
東、醫　森　甫三重　岡、醫　山川敬止岡山
東、醫　渡邊恒彦岡山　京、醫　樋口　肇岡山
東、醫　東原良績岡山　京、醫　藤井紀一兵庫
東、醫　古河惠三大阪　京、醫　三好秋馬愛媛
東、醫　森　甫三重　京、醫　吉田　博滋賀

九、卒業生徒數調

A大學豫科

年別 / 科類	一部甲	一部乙	一部丙	二部甲	二部乙	二部丙	三部	計
三十六年	一三	三		一五	一		二八	六〇
三十七年	二二	一九		三〇	四		二九	一〇三
三十八年	二二	二八		一七	一三		二八	一二六
三十九年	二七	三五		二三	一四		三二	一三二
四十年	三二	二三		二八	一三		三四	一二七
四十一年	三五	二七		三二	一八		三二	一三三
四十二年	二二			二六	二一		三三	一二二
四十三年	二四	一六		二八	二四		三〇	一五六
四十四年	二四	一四		一五	二四		二九	一三二
四十五年	二九	二一		二八	一九		三九	一五五
大正二年	二五	一九		二三	一七		二九	一三九

大正三年	二九	三二	二五	二三	二三		三八	一六九
大正四年	二六	二一	三三	三〇	二四		三八	一七二
大正五年	二九	二八	二九	二七	四	一七	三〇	一六四
大正六年	二九	二三	三六	三四	七	一六	三四	一七九
大正七年	三三	三一	二四	三四	一三	九	三四	一七八
大正八年	三一	二六	二九	四二	一七	一三	四〇	一九八
大正九年	四〇	三七	四〇	六一	一八	一一	四一	二四八
大正十年	三六	三七	三五	六九	二四	一三	三三	二四七
計	三三五	四四八	三七四	五九八	二九五	七八	六四一	二、九六九

B 高等科

年次＼科類	文科甲	文科乙	理科甲	理科乙	計
大正十一年	七〇	三五	一〇八	三六	二四九
大正十二年	七二	三六	一一五	三八	二六一
大正十三年	七六	三九	一一一	三七	二六三
大正十四年	七六	三六	九六	三八	二四六
大正十五年	七六	三七	一〇八	三三	二五四
昭和二年	七七	三八	一〇九	三六	二六〇
昭和三年	七二	三九	一一〇	三四	二五五
昭和四年	七五	三〇	一一二	三五	二五二
昭和五年	六三	三三	一一四	二七	二三七
昭和六年	七四	三五	一〇一	三八	二四八
昭和七年	七〇	二六	九五	三八	二二九
昭和八年	七〇	三三	一一四	三八	二五五
昭和九年	六九	三二	一〇八	三三	二四二
昭和十年	六四	三六	九七	四〇	二三七
昭和十一年	六八	三五	一一三	二七	二四三
昭和十二年	五四	三〇	八六	三四	二〇四
昭和十三年	五六	二九	八三	二七	一九五
昭和十四年	五八	二六	八六	三一	二〇一
計					四、三三九
通計					七、二九八

十、生徒道廳府縣別人員

道府縣別＼年級・科類	第一學年 文甲	第一學年 文乙	第一學年 理甲	第一學年 理乙	第一學年 計	第二學年 文甲	第二學年 文乙	第二學年 理甲	第二學年 理乙	第二學年 計	第三學年 文甲	第三學年 文乙	第三學年 理甲	第三學年 理乙	第三學年 計	通計
北海道																
青森																
岩手													一		一	一
宮城											一				一	一
秋田	一				一				一	一						二
山形	一				一											一
福島			一		一				一	一			一		一	三
茨城											一			一	二	二
栃木											一				一	一
群馬								一		一						一
埼玉			一		一		一			一						二
千葉	一				一			一		一						二
東京	六	二	三	一	一二	一		三		四		二	二		四	二〇
神奈川								一		一						一
新潟	一		一		二		一			一			二		二	五
富山				一	一	一		一		二	一		一		二	五
石川						二		一		三			一		一	四
福井			一		一			三		三	二				二	六
山梨				一	一											一
長野								一		一			一		一	二
岐阜	一		一		二			二		二	一				一	五
靜岡			一	一	二				一	一			二		二	五
愛知	一	一	一	一	四		一			一	二		一	一	四	九
三重			一	一	二	二		一		三	一		一		二	七
滋賀	二	一	二		五		一	三		四		一	二	一	四	一三
京都	一	一	一	一	四			一		一			二	一	三	八
大阪	二	一	九	二	一四	一	三	四	四	一二	二	二	二		六	三二

長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	德島	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	和歌山	奈良	兵庫
三		一	一	二	五	一	三	八	二七	一	四	三	一	五
一		一		一	七	二	五	二	七		二	三	一	二
一		六		四	六	四	七	六	三六		二	三	一	一三
二		二	一	三	三	三	一五	一七	一六	二	八	九	二	一二
一		一	一	三	一〇	二		三	二〇		一	二		八
				二	四		一	二	一〇			二	一	
三				三	八	四	二	五	一三	一	四	二	一	一三
		一		一	三	一	二	一	一三	一	五	八	三	一二
四		二	一	九	一五	一七	五	一二	六四	一	五	八	三	一二
				一	六	二	三	三	二二		一	一	一	六
				二	七	一	三	八	一四		二	三	二	一〇
		三	一	四	一六	三	七	一六	九	一	二	二	二	三
六		一五	六	二三	六二	二三	二七	四四	二六六	四	一六	二五	九	六四

熊本	大分	宮崎	鹿兒島	沖繩	滿洲國	朝鮮	臺灣	北米合衆國	總計
一									八〇
	一	三	一				一	一一	四〇
一	一	四	二			一	一	一	一八〇
	一		一			一			六二
		一	一			二			二九
一						二			九五
二	一	一	一			四			三四
一	一		二			四			二一〇
一			三						六〇
二									八八
三			三			四			二七
五	二	七	三			九	一	一	七〇八

十一、敷地及建物

（昭和十四年五月十五日現在）

一、本校ノ敷地ハ岡山市國富ニ在リ其面積ハ貳萬千八百七拾八坪四合壹勺ニシテ之ニ建設セル建物總坪數ハ四千五百參拾壹坪參合七才（內二階建坪壹千貳拾八坪貳合五勺三階建坪四拾壹坪）ナリ

一、傭外國人敎師官舍敷地ハ岡山市小橋町ニ在リ其面積ハ貳百九拾七坪七合之ニ建設セル建物ノ總坪數ハ九拾坪ニシテ住宅建坪八拾坪（內二階建坪參拾壹坪）附屬物置拾坪ナリ

一、生徒主事官舍敷地ハ岡山市國富ニ在リ其ノ面積ハ貳百四拾七坪之ニ建設セル總坪數ハ五拾七坪八合ニシテ住宅建坪五拾五坪八合（內二階建坪拾貳坪五合）附屬物置貳坪ナリ

一、第六高等學校艇庫ハ岡山市古京小橋町先河川敷（內務省所管）七拾參坪供用ヲ受ケ之ニ建設セラルル建物總坪數ハ六拾六坪ナリ

十二、第六高等學校校友會規則

總則

第一條　本會ハ第六高等學校校友會ト稱シ之ヲ本校內ニ設置ス

第二條　本會ハ會員ノ智育德育體育ノ向上ヲ圖リ併セテ會員相互間ニ健全ナル氣分ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第三條　本會ハ左ノ會員ヲ以テ之ヲ組織ス

一、特別會員　本校職員

一、通常會員　本校生徒

第四條　本校卒業生及本校ニ特殊ノ緣故ヲ有スル者ハ會長ノ推薦ニ因リ會友タルコトヲ得

事業

第五條　本會ニ左ノ部ヲ置ク

辯論部　會誌部　英語部

劍道部　柔道部　庭球部

陸上競技部　蹴球部　山岳部

獨語部　端艇部

野球部　弓道部

水泳部

第六條　毎年一回春季ニ水上運動會秋季ニ陸上運動會ヲ開催ス

役　員

第七條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會　長　一名　學校長ヲ推戴ス
副會長　一名　本校職員中ニツキ會長之ヲ委囑ス
部長各部　一名　同上
副部長(會誌部)　一名　同上
理　事　三名　二名ハ各科ニ屬スル委員ノ互選セシ者一名ハ代議員ノ互選セシ者ニツキ會長之ヲ命ス但理事ハ委員又ハ代議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス
委員各部　四名(會誌部ハ六名)　通常會員ノ互選セシ者ノ中ニツキ會長之ヲ命ス
代議員各組　一名　該組ニ於テ通常會員ノ互選シタル四名ノ候補者中ニツキ會長之ヲ命ス但委員ハ之ヲ兼ヌルコトヲ得ス
庶務係　一名　本校職員中ニツキ會長之ヲ委囑ス
會計係　二名　同上

第八條　本會役員ノ任務左ノ如シ

一、會長ハ本會ヲ總理ス
一、副會長ハ會長ヲ補佐シ會長故障アルトキハ之ヲ代理ス
一、部長ハ其ノ部ヲ監督シ副部長ハ部長ヲ補佐ス
一、理事ハ會長ノ指揮監督ヲ受ケ本會全般ニ亘ル事務ヲ處理ス
一、委員ハ其部ノ事務ニ從事ス
一、代議員ハ各組ニ於ケル通常會員ヲ代表シ通常委員會ニ列席ス
一、庶務係及會計係ハ各本會ノ庶務及會計ニ關スル事務ニ從事ス

第九條　委員及委員ノ互選ニヨル理事ハ毎年二月代議員及代議員ノ互選ニ因ル理事ヲ毎年五月之ヲ選擧シ其ノ任期ハ各一ケ年間トス

集　會

第十條　集會ヲ分チテ通常委員會代表委員會及特別委員會トス
一、通常委員會ハ理事委員及代議員ヲ以テ組織シ豫算ノ議決決算ノ承認其ノ他本會全般ニ亘ル事項ヲ審議ス
一、代表委員會ハ理事及各部代表委員一名ヲ以テ組織シ本會ニ關スル重要事項ヲ審議ス

一、特別委員會ハ會長及副會長部長副部長理事各部代表委員一名及代議員（各科各學年一名）ヲ以テ之ヲ組織シ本會ノ事業方針ヲ協議ス

第十一條　特別委員會ニ於テハ會長之ガ議長トナリ其ノ他ノ會ニ於テハ理事議長トナル

第十二條　凡テ會議ハ當該役員總數ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス其ノ召集及會議ノ事項ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前本校庶務課ヨリ之ヲ揭示スヘシ但定數ニ充タサルタメ更ニ會議ヲ召集シタル場合ハ第二回ニ於テハ當該役員總數ノ半數以上第三回ニ於テハ三分ノ一以上ノ出席ヲ以テ議事ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得

決　議

第十三條　凡テ會議ハ多數決ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スルトコロニ依ル但會則ノ改正其他議長ニ於テ必要ト認メタル場合ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ贊同アルコトヲ要ス

本條ノ決議ニ加ハル會誌部委員ハ四人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十四條　凡テ集會ノ決議ハ會長ノ承認ヲ經ルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

會　計

第十五條　本會ノ會計年度ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル理事ハ毎年五月中ニ於テ前年度ノ決算ヲ報告スヘキモノトス

第十六條　通常會員ノ會費ハ年額拾圓トシ授業料ト共ニ本校會計課ニ納付スヘシ

特別會員ノ會費ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條　新ニ入會シタル通常會員ハ入會金トシテ金五圓五拾錢ヲ本校會計課ニ納付スヘシ

前項ノ入會金ノ內貳圓五拾錢ハ之ヲ端艇準備金ニ充ツ

第十八條　本會豫算ハ毎年九月各部ヨリ提出シタル原案ニ基キ理事ノ査定ヲ經テ十月代表委員會ノ審議ニ付シ且通常委員會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

第十九條　其ノ年度ニ於テ生ジタル剩餘ハ之ヲ別途積立金トス但各部ニ於ケル剩餘金ハ其ノ部ノ次年度繰越金トス

第二十條　委員其ノ部ノ費用ヲ支出セントスルトキハ當該部長ノ承認ヲ經テ本校會計課ニ請求スヘシ但豫算額ヲ超過スルコトヲ得ス

附　則

第二十一條　本會規則ノ改正ハ理事又ハ會員ノ五分ノ一以上ノ申出ニ依リ通常委員會ノ決議ヲ經テ會長ノ認可ヲ受クヘキモノトス

昭和四年十一月二十八日（制定）

校友會中央部役員

會長	校長　金子幹太
副會長	教授　雜賀修二郎
辯論部長	教授　古川尙雄
會誌部長	教授　森敬三
會誌副部長	教授　鑓正太郎
英語部長	教授　矢野萬里
獨語部長	教授　山岡直道
端艇部長	教授兼生徒主事　小西謙
劍道部長	教授　高柳義一
柔道部長	教授　緒方健三郎
庭球部長	教授　上總常雄
野球部長	教授　山內友五郎

弓道部長	教授　近成多一
陸上競技部長	教授　林秀一
蹴球部長	教授　山岡望
山岳部長	教授　宮原節
水泳部長	教授　內藤雋輔
柔道教師	助教授　金光彌一兵衞
劍道教師	助教授　千頭直之
弓道教師	講師　德山勝彌太
庶務係	書記
會計主任	書記　連甫
會計係	書記　佐藤高治

十三、六高同窓會會則

第一條　本會ハ六高同窓會ト稱ス

第二條　本會ハ會員相互ノ親睦ヲ計リ併セテ母校トノ關係ヲ密接ナラシムルヲ以テ目的トス

第三條　本會ハ其ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、會員名簿及會報ノ發行（年一回）

二、其他適切ナリト認ムル事業

第四條　本會ノ會員ヲ左ノ二種トス

一、通常會員　第六高等學校ヲ卒業シタル者

二、特別會員　第六高等學校現職員及職員タリシ者並ニ同校ニ緣故アルモノニシテ會長ノ推薦ニカカル者

第五條　本會ハ其ノ本部ヲ第六高等學校内ニ置ク

會員多數在住ノ地方ニハ支部ヲ設置スルコトヲ得

支部ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一　名

理事　若干名

委員　若干名

會長ニハ第六高等學校長ヲ推戴シ理事及委員ハ會員中ニ就キ會長之ヲ囑託ス

理事及委員ノ任期ハ三ケ年トシ重任ヲ妨ゲズ

第七條　會長ハ本會ヲ總理ス

理事ハ會務ヲ掌理ス

委員ハ會務ニ參與ス

第八條　本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル毎年度ノ收支計算ハ會報ヲ以テ報告ス

第九條　本會ノ經費ハ會費及寄附金ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第十條　通常會員ハ會計年度ノ始ヨリ二ケ月以内ニ會費年額金貳圓ヲ納入スルモノトス

但シ卒業後五ケ年未滿ノ會員ノ會費ハ毎年金壹圓トス

新卒業生ハ卒業ノ際金參圓ヲ前納シテ卒業後五ケ年間ノ會費ニ充ツルモノトス

會員ニシテ一時ニ金五十圓以上ヲ寄附シタル者ハ爾後ノ會費ヲ要セズ

第十一條　本會會則ハ會員多數ノ意嚮ヲ參酌シ理事會ノ決議ヲ經會長ノ承認ニヨリテ之ヲ變更スルコトヲ得

十四、關係諸法令

一、文部省直轄諸學校官制（抄）（明治二十六年八月勅令第八十六號）

第一條　文部省直轄學校ハ左ノ如シ

（中略）

第六高等學校

第六條　文部省直轄學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　教授　生徒主事　助教授　書記　生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニヨリ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ學校長ノ命ヲ受ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配當シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ受ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ受ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、文部省直轄諸學校職員定員令（抄）（明治三十五年勅令第九十九號ヲ以テ制定セラレ爾後數次改正）

	校長	教授	生徒主事	書記	生徒主事補	助手
第六高等學校	一	三六	一	二	七	二

三、高等學校令（大正七年十二月五日勅令第三百八十九號）

第一條　高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道徳ノ充實ニ力ムベキモノトス

第二條　高等學校ハ官公立又ハ私立トス

第三條　高等學校ヲ設立スルコトヲ得ル公共團體ハ北海道及府縣トス

第四條　私立高等學校ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人ガ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　前條ノ財團法人ハ高等學校ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少クトモ高等學校ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財産ヲ有スルコトヲ要ス但シ其ノ基本財産ノ額ハ五拾萬圓ヲ下ルコトヲ得ス

基本財産中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大臣ノ定ムル有價證券トシ之ヲ供託スヘシ

第六條　公立及私立ノ高等學校ノ設立廢止ハ文部大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條　高等學校高等科ヲ分チテ文科及理科トス

第九條　高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコトヲ得其ノ修業年限ハ一年トス專攻科ヲ卒リタル者ハ得業士ト稱スルコトヲ得

專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　高等學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得但シ第七條第二項ノ高等學校ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

高等學校豫科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十一條　高等學校尋常科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十二條　高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常科ヲ修了シタル者中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十三條　高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以內尋常科三百二十人以內トシ第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ六百人以內トス

第十四條　高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編成スヘシ一學級ノ生徒定數ハ四十人

以內トス

第十五條　高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第十六條　高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校教員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

高等學校教員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十七條　高等學校ノ設備編制學科目及其ノ程度教科書竝生徒ノ入學退學及懲戒授業料入學料等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十八條　公立及私立ノ高等學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第十九條　文部大臣ハ公立及私立ノ高等學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條　本令ニ依ラサル學校ハ勅令規定ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外高等學校ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ高等學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中學校令ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依ル高等學校ハ之ヲ本令ニ依ル高等學校トス

前項ノ高等學校ニハ當分ノ內第十三條ノ規定ヲ適用セス

高等學校大學豫科ハ大正十年八月三十一日マテ之ヲ存置ス

（大正八年三月二十九日文部省令第八號）

四、高等學校規程

第一章　學科課程及教科書

第一節　尋常科

第一條　尋常科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、外國語、歷史、地理、數學、博物、物理及化學、圖畫、唱歌、體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二條　各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	二	二	二	一

國語及漢文	八								
外國語	六								
歷史	三								
地理									
數學	四								
博物	二								
物理及化學									
圖畫	一								
唱歌	一								
體操	五								
計	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二

體操ハ前表ノ教授時數ヲ適宜增加シテ之ヲ課スルコトヲ得

第三條　中學校ノ學科目ノ程度ニ關スル中學校令施行規則ノ規程ハ尋常科ニ關シ之ヲ準用ス

第二節　高等科

第四條　高等科文科ノ學課目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概說、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、鑛物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、體操トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條　修身ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ニ基キ道徳上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐窮行ヲ勸奬スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ク國家、社會、家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ努メシムヘシ

第六條　國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智德ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

理科ニアリテハ近世及近古ノ國文竝普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條　外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ諒解シ且之ニ依リテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ兼テ智德ノ增進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條　歷史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰文化ノ發達ヲ理解セシメ特ニ我國運發展ノ由來國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歷史ハ日本歷史、東洋歷史及西洋歷史ヲ授クヘシ

第九條　地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現狀ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治經濟等ニ關スル地理上ノ智識ヲ授クヘシ

第十條　哲學概說ハ思想界ニ關スル知識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概說ハ東洋及西洋ノ哲學宗教ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條　心理及論理ハ心意ニ關スル知識ヲ得シメ思考ヲ鍛鍊セシムルヲ以テ要旨トス

心理及論理ハ各種ノ精神ノ作用思想ノ原則及其ノ方法ノ概要ヲ授クヘシ

第十二條　數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數、立體幾何三角法、初等解析幾何、初等微分積分及初等力學ヲ授クヘシ

第十三條　自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理解セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ

第十四條　物理化學ハ自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理解セシメ之ガ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

物理ハ力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

化學ハ無機化學及有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條　植物及動物、鑛物及地質ハ天然物ニ關スル知識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

植物及動物ノ形態生理、分類進化ニ關スル知識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

鑛物及地質ハ鑛物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル知識ヲ授ケ又便宜主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十六條　法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ必要ナル知識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條　圖畫ハ形態ヲ正確且自由ニ書クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫ヲ授クヘシ

第十八條　體操ハ身體ヲ健全ニシ動作ヲ敏活ナラシメ剛健ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尚フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道及柔道ヲ加フルコトヲ得

第十九條　文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	六	五	五
第一外國語	九	八	八
第二外國語	(四)	(四)	(四)

歷史	三	三	四
地理	二	二	三
哲學概論			
心理及論理			
法制及經濟			
數學	三	二	二
自然科學	二	三	三
體操	三	三	三
計	二九(三三)	二九(三三)	二八(三二)

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニヨリ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	二	一〇	一〇
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	三一(三四)	三一(三三)	三〇(三三)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第二十條　理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	四	二	
第一外國語	八	六	六
第二外國語	(四)	(四)	(四)
數學	四	四	四(二)
物理	三	三	三
化學			
植物及動物	二	二(講義二實驗二)	二(講義二實驗二)
鑛物及地質	二		
心理			
法制及經濟	二		
圖畫	二	二	(二)
體操	三	三	三
計	二八(三二)	二八(三三)	二八(三二)

第三學年ノ數學(二)及圖畫(二)ト第三學年ノ植物及動物(講義二實驗二)トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ

每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一〇	九	九
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	三〇(三三)	三一(三四)	三一(三四)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第三節　專攻科

第二十一條　專攻科ノ學科目中ヨリ便宜選擇シテ之ヲ定ムヘシ

國語、漢文、支那時文、外國語、史學、哲學、倫理學、社會學、法律學、政治學、經濟學、數學、物理學、化學、植物學、動物學、鑛物學、地質學、天文學、氣象學、應用化學、機械工學、實業ニ關スル科目等

第四節　教授上ノ注意

第二十二條　高等學校ニ於テハ高等學校令第一條ノ趣旨ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第五節　教科書

第二十三條　高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ

但シ文部大臣ノ檢定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セス

第二章　學年學期休業日數及式日

第二十四條　學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但シ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マテトヲ爲スコトヲ得

第二十五條　教授日數ハ尋常科ニ在リテハ毎學年二百二十日以上高等科ニ在リテハ毎學年二百日以上專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

試驗及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　紀元節天長節明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第三章　編制

第二十八條　尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ中學校ニ關スル規程ヲ準用ス

高等科ニ於テモ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外文部大臣ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十九條　公立又ハ私立ノ高等學校ノ教員數竝專任教員及兼任教員ノ割合ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第三十條　公立又ハ私立ノ高等學校高等科ニ於テ劍道又ハ柔道ノ教授ヲ擔任スル教員ハ前條ノ定數外トス

第四章　設備

第三十一條　高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條　校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衞生上害ナキ所タルヘシ

第三十三條　校舍ニハ教室、事務室、其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、機械室、標本室等ヲ備フヘシ

校舍ハ教授上管理上衞生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十四條　校具ハ教授上必要ナル圖書、器械、器具、標本、模型等トス

第三十五條　高等學校ニ於テハ別段ノ規程アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一、學則、日課表及教科用圖書配當表

二、職員ノ名簿及履歷書竝擔任學科目及時間表

三、生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類

四、試驗ノ問題答案及成績表

五、資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書機械器具標本模型ノ目錄

生徒學籍簿ニハ生徒氏名、居所、生年月日、入學前ノ履歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第五章　設立及廢止

第三十六條　公立又ハ私立ノ高等學校ノ設立ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ文部大

臣ニ申請スヘシ

一、名稱
二、高等學校令第七條ノ事項
三、學則
四、各科ノ生徒定數
五、位置及校地
六、校舍ノ圖面及建設ノ設計
七、開校ノ期日
八、經費及維持ノ方法

前項第五號ニ關シテハ校地ノ地質及面積竝附近ノ情況ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添付スヘシ

第一項各號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十七條　公立又ハ私立ノ高等學校ノ廢止ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

第六章　入學、在學、休學、退學及懲戒

第三十八條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以內トス

第三十九條　當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ尋常科ニ入學セシムヘシ

第四十條　他ノ高等學校又ハ中學校ノ豫科ヲ修了シタル者及高等學校ニ於テ國語、算術、國史、地理、理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ行フ檢定ニ合格シタル者ハ尋常科ノ入學ニ關シ尋常小學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ

第四十一條　尋常科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試驗ニ依リテ之ヲ檢定スヘシ

第四十二條　當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ高等科ニ入學セシムヘシ

第四十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

一、他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者

二、高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
四、文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
五、文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項ノ資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十四條　當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數高等科各科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ入學前ニ於ケル學業成績ト中學校第四學年修了ノ規程ニ依リ行フ試驗ノ成績トヲ併セ考査シテ入學者ヲ選拔スヘシ但シ試驗ハ之ヲ行ハサルコトヲ得

前項ノ考査ノ外必要アリト認ムルトキハ入學志願者ニ對シテ人物考査ヲ行フコトヲ得

第四十五條　高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ身體檢査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限リ入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條　高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試驗ニ依リ之ヲ驗定スヘシ

第四十七條　高等學校生徒ニシテ學籍ヲ失ヒタル者其ノ學籍ヲ失ヒタル時ヨリ二年以內ニ再入學ヲ志願シタルトキハ銓衡ノ上當該學年又ハソノ翌學年ノ始ヨリ三十日以內ニ於テ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得

第四十八條　高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ其關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第四十九條　高等學校尋常科ト中學校トノ相當學年相互ノ間ニ於テハ前條ノ規程ニ準シ轉學ヲ許可スルコトヲ得

第五十條　高等學校尋常科各學年ノ課程又ハ全學科ノ修了ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ

高等學校高等科各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業ノミヲ考査シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試驗ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條　學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ專攻科ヲ卒リタル者ニハ得業證書ヲ尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條　學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、引續キ一年以上缺席シタル者

四、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五、出席常ナラサル者

第五十五條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章　豫科

第五十七條　高等學校ノ豫科ニ關シテハ中學校ノ豫科ニ關スル中學校令施行規則ノ規程ヲ準用ス

第八章　雜則

第五十八條　高等學校ノ學則中ニ規程スヘキ事項凡ソ左ノ如シ

一、學年、學期及休業者ニ關スル事項

二、學科課程教授時數ニ關スル事項

三、課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

四、生徒ノ入學、退學、懲戒ニ關スル事項

五、授業料、入學料等ニ關スル事項

第五十九條　私立ノ高等學校ニ關シ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等學校大學豫科ニ在學スル生徒ニシテ大正十年八月三十一日マテニ卒業セサルヘキモノハ之ヲ高等學校高等科ノ相當學年ニ編入ス

高等中學校規程明治四十一年文部省令第九號高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程ハ之ヲ廢止ス

五、文部省直轄諸學校ノ生徒他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受クルノ件

（明治三十八年文部省令第十八號）

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無效トス

六、高等學校高等科學力檢定規程

（大正十年十一月二日文部大臣發專一三六號達）

第一條　高等學校高等科學力檢定試驗ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志願者ノ學力檢定試驗施行ノ通告アリタル場合ニ限リ高等學校ニ於テ施行ス

試驗ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス

第二條　試驗ハ高等學校高等科卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校第四學年迄ノ必修各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試驗ヲ行フヘシ

第三條　試驗ヲ受ケントスル者ハ受驗料金五圓ヲ納ムヘシ

既納ノ受驗料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四條　試驗ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

證明書

何　某

何年何月日生

右ハ當校試驗ノ成績ニ依リ高等學校高等科何科ノ卒業ト同等ノ學力アルコトヲ證明ス

年　月　日

某高等學校長　位勳　氏　名　印

番　號

校印

附則

大學豫科學力檢定規程ハ之ヲ廢止ス

七、陸軍現役將校學校配屬令（抄）

（大正十四年四月勅令第一三五號）

第一條　（前略）高等學校（中略）ニ於ケル男生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲陸軍現役將校ヲ當該學校ニ

配屬ス但シ戰時事變ノ際其ノ他已ムヲ得サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル將校ノ配屬ハ陸軍大臣文部大臣ト協議シテ之ヲ行フ

配屬將校ハ教練ニ關シテハ當該學校長ノ指揮監督ヲ承ク

第四條　陸軍大臣ハ現役將校ヲシテ本令ニ依リテ將校ノ配屬シタル學校ニ於ケル教練實施ノ狀況ヲ査閲セシムルコトヲ得

八、直轄學校、公私大學高等學校及專門學校、北海道廳府縣

野球ノ統制並施行ニ關スル件（文部省訓令第四號、昭和七年三月二十八日官報第一五七〇號）

我ガ國ニ於ケル運動競技ガ近時著シク普及發達シタルハ啻ニ體育ノ爲ニ之ヲ賀スヘキノミナラス國民ノ資質向上ノ見地ヨリ大ニ之ヲ慶ハサルヘカラズ

運動競技ガ國民ノ健康ヲ增進シ體位ヲ向上セシムルノ效果ハ固ヨリ言ヲ俟タス更ニ人々ノ元氣ヲ振作シ氣宇ヲ明朗快濶ニシ其ノ態度ヲ公明眞摯ナラシムル等所謂運動精神ヲ體得セシメテ不知不識ノ間ニ人格ノ敎養ニ資スルノ大ナルハ深ク顧慮スヘキ所ニシテ體育運動ガ近世ノ敎育ニ最モ重ンセラルヽノ理由亦此ニ存ス顧フニ我カ國ニ於ケル運動競技中野球ハ比較的舊クヨリ行ハレ普及ノ範圍最モ廣ク其ノ一般民衆ニ及ホス影響亦甚大ナルヲ以テ體育運動ノ振興ヲ期セントスルニハ先野球ノ健全ナル發達ヲ圖ルノ要アリ而シテ學生ニ依リテ行ハルヽ野球カ一般野球界ノ中心ヲナセルノ實情ニ鑑ミルトキハ之カ第一著手トシテ其適正健全ナル發達ヲ圖ルヲ喫緊ノ急務トナサヽルヘカラス是レ今回特ニ學生野球ノ施行ニ關シ其ノ據ルヘキ基準ヲ示サントスル所以ナリ

凡ソ學生野球ノ要ハ敎育ノ本義ニ則リテ運動競技ノ精神ヲ發揮セシムルニ在リ即チ之ヲ行フ者常ニ克ク學生ノ本分ヲ體シ純正ナル心情ヲ持スルヲ以テ念トナサヽルヘカラス然レトモ往々ニシテ之ニ伴フ弊ナキ能ハスカノ野球ヲ行フ者ハ野球ヲ見ル者ノ熱狂ノ餘常規ヲ逸シ正道ヲ離ルヽコト是ナリ此ノ如キハ互ニ相警メ又自ラ抑制シテ正シキニ就カシムヘキハ論ヲ俟タス尙且本邦ニ於ケル野球ハ其ノ發達ノ過程複雜ニシテ之カ施行ノ體樣亦區々ニ流レ爲ニ適正ナル發達ヲ損ヒタルコト少カラス是ヲ以テ其ノ施行ニ關スル組織益々整備シ其統制愈々確立スルニ至ラハ更ニ一層之カ成果ヲ善美ナラシムコトヲ得ヘシ蓋シ本邦野球界ノ現狀ハ此ノ種ノ企劃ヲ實施スルニ當リ特殊ノ困難ノ之ニ伴フコト鮮カナラサルヘシト雖モ官民協力シテ堅忍事ニ當ラハ成功ノ日ハ必ス到來スヘシト信ス

茲ニ學生野球ノ施行ニ關シ幾多ノ規矩ヲ揭ケ其ノ實施ヲ勸奬シ以テ之カ適正健全ナル發達ヲ期センコトス局ニ當ル者克ク本令ノ趣旨ヲ體シ其ノ達成ニ努ムル所アルヘシ

一、小學校ノ野球ニ關スル事項（省略）

二、中學校ノ野球ニ關スル事項

一、中等學校ノ野球ニ關シテハ府縣ノ體育團體ニ於テ適當ニ統制スルコト但シ當該團體ノ設置ナキモ府縣學事當局者並中等學校長ト密接ナル聯絡ヲ有スル中等學校體育聯盟若ハ中等學校野球聯盟ノ設置アリテ府縣內中等學校ノ野球ヲ統制セル場合ハ右團體ヲシテ統制ニ當ラシムルモ妨ケサルコト

二、中等學校生徒ノ參加シ得ル野球試合ハ左記ニ依リ開催セラルヽモノタルコト

イ、全國的優勝大會及全國的選拔大會ハ文部省公認ノ下ニ夫々年一回ヲ限リ開催セラルヽモノタルコト但シ明治神宮體育大會ニ關スル野球ハ此ノ限リニ在ラサルコト

ロ、地方的大會（參加校ガ近接セル二府縣若ハ數府縣ニ亘ル試合ヲ謂フ）ハ關係府縣體育團體（第一項記載ノ事項參照）ノ共同主催若ハ文部省公認ノ下ニ開催セラルヽモノタルコト但シ同一府縣ノ參加回數ハ年一回全國的優勝大會ノ地方豫選ヲ別ニ行フ場合ハ此ノ回數ヲ含マス）ニ限ルコト

ハ、府縣大會ハ府縣ノ體育團體（第一項記載ノ事項參照）ノ主催若ハ其ノ公認ノ下ニ年一回（全國的優勝大會並地方的大會ノ府縣豫選ハ之ヲ含マス）開催セラルヽモノタルコト

ニ、同一府縣內ニ存シ近接セル三校以上ノ學校間ニテ行フ場合ハ府縣體育團體ノ主催若ハ關係學

校共同主催ノ下ニ府縣體育團體（第一項記載ノ事項參照）ノ公認ヲ得テ開催セラルヽモノタル事

ホ、同一府縣內ニ存スル二校間ノ試合ハ兩校共同主催ノ下ニ開催セラルヽモノタルコト

ヘ、府縣ヲ異ニスル二校間ノ試合ハ夫々當該學校主催ノ下ニ其ノ屬スル府縣體育團體（第一項記載ノ事項參照）ノ公認ヲ得テ開催セラルヽモノタルコト

三、試合ハ總テ學業ニ支障ナキ時ニ行フヘク特ニ對外試合ハ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ限リ行フコト但シ荒天等ノ爲之ニ據リ難キ場合ハ特ニ府縣體育團體（第一項記載ノ事項參照）ノ承認ヲ得ルコト運動場配置等ノ關係ニヨリ又之ニ據リ難キ特別ノ事情アル府縣ニ於テハ當該府縣體育團體ニ於テ其ノ事情ヲ具シ文部省ノ承認ヲ得ルコト

四、入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ府縣體育團體（第一項記載ノ事項參照）ニ於テ主催スルカ若ハ文部省ニ於テ公認シタルモノニ限ルコト

五、前項ニ依リ入場料ヲ徵收セントスルトキハ之ニ關シ主催者ハ豫メ文部省ノ承認ヲ得其ノ收支ハ本令中入場料ニ關スル事項ニ基キ右團體ニ於テ處理シ試合終了後收支決算ヲ遲滯ナク報告スルコト但シ其ノ使途ニ關シ入場料ニ關スル事項中二ノ（三）（四）ニ充當セントスル場合ハ其ノ事情ヲ具シ文部省ノ承認ヲ得ヘキコト

六、試合參加ニ關シ旅費滯在費等ヲ受クル場合ハ必ス當該學校ノ屬スル府縣ノ體育團體（第一項記

載ノ事項參照）ヲ經テ收受シ當該學校ハ直接之ニ與ラサルコト

七、試合ニ出場スル選手ハ當該學年ニ於テ原級ニ止リタルモノニアラサルコト

轉入學若ハ中途入學ノ者ハ入學後一ケ年以上ヲ經過セルモノニ限ルコト

八、選手ハ父兄ノ承認並學校醫ノ健康證明アルモノニ就キ學校長之ヲ選定スルコト

九、生徒ハ個人ノ資格ニ於テ入場料ヲ徵收スル試合ニ出場スルヲ得サルコト

十、選手ハ「クラブチーム」ニ加ハリ試合ニ出場スルヲ得サルコト但シ學校長ノ許可アル場合收入ヲ伴ハサル試合ニシテ府縣體育團體（第一項記載ノ事項參照）ノ承認ヲ得テ學校ヲ背景トスル「クラブチーム」加リ試合ニ出場スルハ此限ニ在ラサルコト

三、大學及高等專門學校ノ野球ニ關スル事項

一、全國的大會、地方的大會若ハ聯盟試合ヲ開催スル常置ノ團體ハ其ノ役員中ニ關係學校又ハ其ノ體育會（又ハ運動會）ノ責任者若ハ野球部長ヲ加ヘ豫メ團體ノ代表者ニ於テ左記事項ヲ具シ文部省ニ報告シ其ノ公認ヲ受クヘキコト但シ關係學校多數ノ爲メ全部ノ學校ヨリ役員ヲ加ヘ難キ場合ハ適當ノ員數ニ制限スルモ妨ケナキコト

（一）團體ノ名稱

（二）事務所ノ所在地

（三）團體代表者ノ氏名

（四）團體組織ニ關スル規程

（五）事業施行ニ關スル規程

（六）經理ニ關スル詳細ナル規程

前記各號ノ事項ニ變更ヲ生シタル場合ハ其ノ都度文部省ニ報告シ其ノ承認ヲ受クヘキコト

二、前項ノ常置團體ハ每年度ノ始メニ於テ其ノ年度ノ事業豫定並收支豫算及前年度ノ事業概要並ニ收支決算ヲ文部省ニ報告スヘキコト

三、第一項ノ常置團體以外ノ團體ニ於テ全國的大會、地方的大會、聯盟試合若ハ是等ニ準スル試合ヲ開催セントスルトキハ參加學校長承認ノ下ニ試合ノ施行並ニ經理方法ヲ具シ試合開催前豫メ文部省ノ公認ヲ受クヘキコト

四、兩校對抗試合ハ當該學校長承認ノ下ニ行ハレ得ルコト但シ入場料ヲ徵收スル場合及當該學校カ何レモ其ノ所在スル府縣ヲ離レ試合ヲ行フ場合其ノ件ニ關シ豫メ當該學校ニ於テ文部省ノ承認ヲ受クヘキコト

入場料ヲ徵收シタル場合ハ試合終了後其ノ收支ヲ遲滯ナク文部省ニ報告スヘキコト

五、入場料ヲ徴收スル試合ヲ行ヒ其ノ使途ニ於テ入場料ニ關スル事項中二ノ（四）ニ充當スル場合ハ其事情ヲ具シ文部省ノ承認ヲ受クヘキコト

六、選手ハ學校醫ノ健康證明ヲ受ケ學校長ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル事

七、學生々徒ハ文部省ノ認メタル場合ノ外入場料ヲ徴收スル試合ニ參加スルヲ得サルコト

八、選手ハ在籍又ハ出身學校ヲ背景トスル「クラブチーム」以外ノ「チーム」ニ加リ優勝大會若ハ之ニ準スヘキ試合ニ出場スルヲ得サルコト但シ文部省ノ公認セル常置團體ニ於テ之ニ就キ文部省ノ承認ヲ得テ構成スル全國的又ハ地方的ノ選抜「チーム」ニ參加スル場合ハ此ノ限ニ非ラサルコト

九、試合ハ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ限リ行フコト但シ以上ノ期日外ニ行フ場合ハ關係當局ニ於テ支障ナキモノト認メタル場合ニ限ルコト

四、入場料ニ關スル事項

一、入場料ハ入場者ノ整理ヲナシ「二」ニ掲クル經費ニ充ツル場合ニ限リ之ヲ徴收シ得ルコト

二、入場料其ノ他ノ收入ハ之ニ就キ文部省ノ承認ヲ得タル團體ニ於テ收受シ左ノ順序ニヨリ支出シ體育運動以外ノ經費ニ充當セサルコト但シ體育運動團體（大學及高等專門學校ニ關シテハ學校ヲ含ム）以外ノ主催者カ收受スル場合ハ豫メ文部省ト協議ヲ遂ケ其ノ使途ヲ定ムルコト

（一）當該試合ヲ開催スルニ必要ナル經費

イ、會　場　費

ロ、試合施行ニ要スル經費

ハ、試合ノ參加並準備ニ要スル經費

ニ、其ノ他ノ雜費

（二）主催體育運動團體ノ管理ニ必要ナル經費

（三）參加學校ニ於ケル體育運動競技ノ施行ニ資スル經費

（四）各種體育運動ノ普及發達ニ必要ナル經費

五、試合褒賞等ニ關スル特殊事項

一、學校ノ「チーム」ハ當該學校長及文部省ノ承認アル場合ノ外、國外ニ遠征シ若ハ來朝「チーム」ト試合ヲ行フヲ得サルコト

二、試合參加ニ關シ選手又ハ學校ハ優勝旗、優勝牌其ノ他之ニ準スルモノヽ外褒賞トシテ之ヲ受クルヲ得サルコト

三、選手ハ廣告商品若ハ營利、宣傳ニ利用セラルヽ虞レアル記事等ニ自己ノ名義肖像等ヲ利用セシ

メサルコト

四、學校選手ハ職業選手ト試合ヲ行フヲ得サルコト但シ學校長及文部省ノ承認アル場合ハ此限ニ在ラサルコト

五、選手ハ「コーチ」審判等ヲ行フニ當リ旅費宿泊費其ノ他當然必要ナル經費以外ノ金品ヲ受ケサルコト

六、選手ハ選手タルノ故ヲ以テ學校又ハ學校ヲ背景トスル團體等ヨリ學費其ノ他ノ生活費ヲ受クルヲ得サルコト

七、野球ニ優秀ナルノ故ヲ以テ入學ノ便ヲ與ヘ學費其ノ他ノ生活費ヲ授クルカ如キ事ヲ條件トシテ入學ヲ勸誘セサルコト

六、應援ニ關スル事項

一、應援ハ當該試合主催者及學校當局者ノ承認セル場合ニ限リ之ヲ行ヒ得ルコト

二、學生々徒ガ應援團ヲ組織スル場合ハ左ノ條項ヲ遵守スルコト

（一）應援團ハ當該學校ノ職員學生々徒ノミヲ以テ組織スルコト

（二）應援團ハ豫メ其ノ責任者ヲ定メ當該試合ノ主催者ニ屆出ルコト

（三）應援團ハ當該學校ノ當局者竝運動部ト充分ナル聯絡ヲ保ツヘキコト

三、應援ノ方法ニ關シテハ學校當局者試合ノ主催者關係學校應援團ノ間ニ充分ナル協議ヲ遂ケ特ニ左記事項ニ關シテハ之ヲ嚴守スヘキコト

（一）應援ハ學生々徒ノ本分ヲ體シ運動競技ノ精神ニ從ヒテ之ヲ行ヒ苟モ試合ノ妨害トナルカ如キコトハ一切之ヲ行ハサルコト

（二）應援者ノ服裝ハ當該學校ノ制服制帽ニ限ルコト

（三）廣告宣傳等ニ利用セラルヽ虞アル物品ヲ一切使用セサルコト

（四）應援ノ爲濫ニ多額ノ經費ヲ費サヽルコト

附　則

本令ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令中府縣ノ體育團體トアルハ府縣學事當局竝學校長ト密接ナル關係ヲ有シ他ノ運動種目ト共ニ小學校並中等學校ノ野球ヲ統制シ得ル團體タルヘク郡、市、區、町、村ノ體育團體トアルハ夫々其ノ地域ノ學校管理者及學校長ト密接ナル關係ヲ有シ府縣ノ公認ヲ得タルモノナルヘキコト但シ郡市區町村ノ體育團體ニ關シテハ學校管理者竝小學校長ト密接ナル關係ヲ有スル教育會等ヲシテ之ニ代ラ

シムルハ妨ケサルコト

府縣體育團體、府縣中等學校體育聯盟若ハ府縣中等學校野球聯盟ノ設置ナキ場合ハ府縣ニ於テ適當ナル方法ニヨリ小學校竝中等學校ノ野球ノ統制ニ關スル事務ヲ取扱フヘキコト

昭和七年三月二十八日

文部大臣

第六高等學校教科書一覽表

{自 昭和十四年四月
至 昭和十五年三月}

漢文	英語	獨逸語	數學 物理學 化學 動物 植物
說（中興館） 註源氏物語第一卷） （武藏野書院） 命 氏文（大倉廣文堂） 藏（至文堂） （白帝社） 紀（明治書院） 道館） 諸子鈔（平野書店）	壽 岳— Cultural Essays First Series （開隆堂） Selections form Walter Pater （北星堂） Shelley Bradley — Two Critical Essays （北星堂） Redman —Listening Into Modern England （三省堂） Arnold — Essays in Criticism （荘人社） Shaw — The Doctor's Dilemma （開隆堂）	Hauff— Lichtenstein （南山堂） 杉 山— Wirtschaftslehre （南山堂） 青 木— ヒットラー演說集 （白水社） Keller— Landvogt （南山堂） Rosenberg—Der Kampf um die Weltanschauung （白水社） Binding—Unsterblichkeit （三省堂） Spengler - Essays （郁文堂）	
	新 津— American Short Stories （北星堂）	Bauch— Anfangsgründe der Philosophie （大學書林） Vierkand—Familie, Volk und Staat （藝文書院） Thalheim - Grundlage der Wirtschaft （大學書林） Planck— Die Physik im Kampf um Weltanschauung （大學書林） 德 澤— Zwei Aufsätze von Spengler （郁文堂） 木 村— Volk und Dichtung （南山堂） Dilthey— Novalis （郁文堂） 松 島— Zur Rechtsphilosophie （郁文堂） Gierke— Die Grundbegriffe des Staatsrechts. （郁文堂） Ziegler .. Die drei Weltanschauungen （郁文堂） Spranger- Probleme der Kulturmorphologie （郁文堂）	
概說（中興館） 草子（普及版）（至文堂） 事記（育英書院） 氏文（大倉廣文堂） 萬葉集抄（白帝社） （明治書院）	Essays in Literary Criticism （北星堂） Contemporary English Essays （泰文堂） Strachey— Queen Victoria （開隆堂） Hardy— A Tragedy of Two Ambitions （荘人社） Palmer— Seven Talks on England （北星堂）	Hesse— Demian （南江堂）	
	Dickens—Oliver Twist （荘人社）	Stifter— Kalkstein （藝文書院） Spranger—Wertwandel mit dem Lebensalter （大學書林） Glockner—Philosophie. （大學書林） 白 旗 北 村— Zwei naturwissenschaftliche Aufsätze （南山堂） Fischer—Der Nationalsozialismus, biologisch begründet （郁文堂） Hesse— Die Heimkehr （大學書林） Strich— Renaissance und Reformation （郁文堂） Vincent— Leidenschaft und Klarheit （青木學修堂） Johst— Mutter ohne Tod （大倉廣文堂）	

第六高等學校教科書一覽表

自昭和十四年四月
至昭和十五年三月

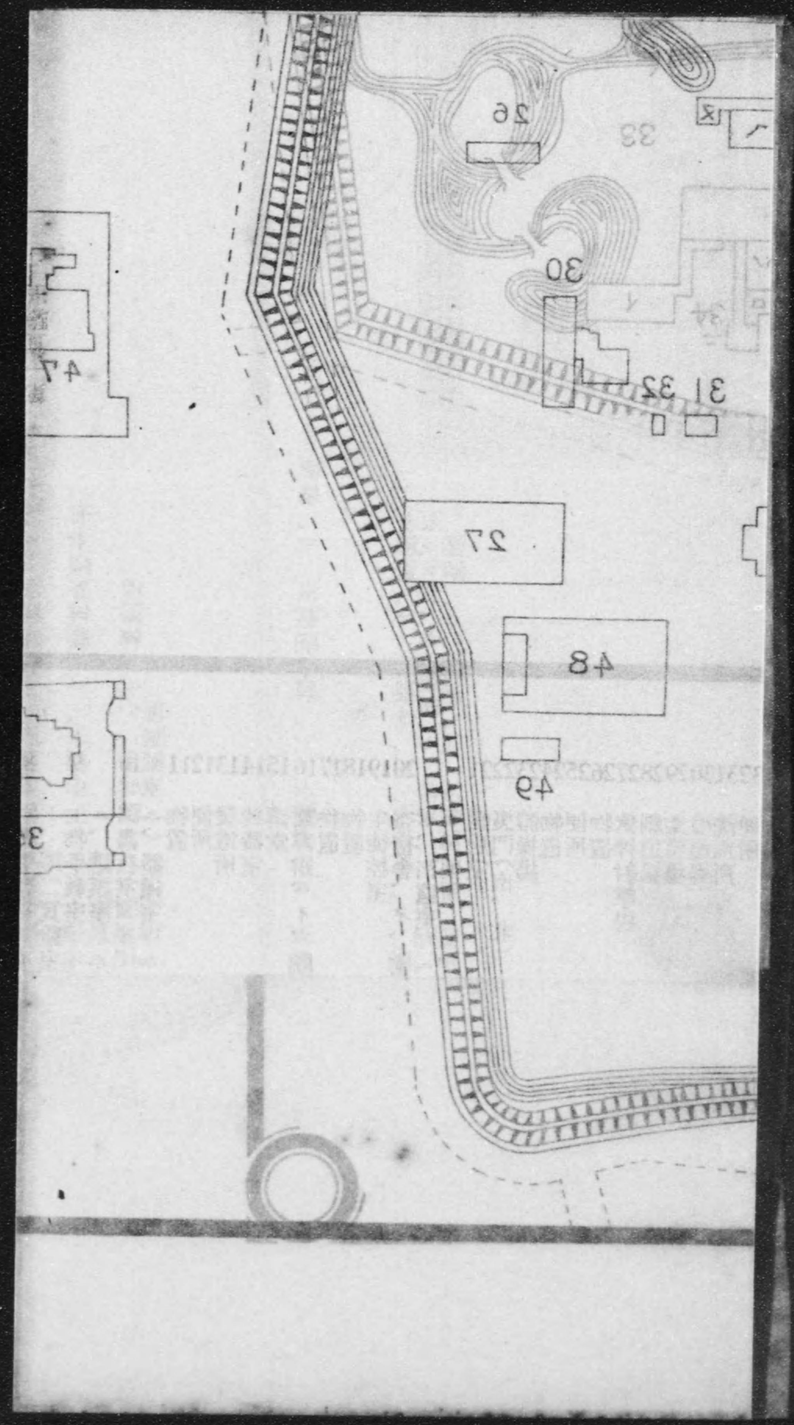
學級	科目	國語及漢文	英語	獨逸語	數化動圖物
文科 三年	甲	藤村作－日本文學史概說（中興館） 西尾光雄－桐壺（校註源氏物語第一卷）（武蔵野書院） 植松安－祝詞 壽詞 宣命 氏文（大倉廣文堂） 藤村作－抄本日本永代藏（至文堂） 沼澤龍雄－俳文學精粹（白帝社） 堀江秀雄－校註日本書紀（明治書院） 壺谷温－左傳新鈔（弘道館） 高瀨武次郎－高等漢文諸子鈔（平野書店）	壽岳－ Cultural Essays First Series（開隆堂） Selections form Walter Pater（北星堂） Shelley Bradley － Two Critical Essays（北星堂） Redman －Listening Into Modern England（三省堂） Arnold － Essays in Criticism（荘人社） Shaw － The Doctor's Dilemma（開隆堂）	Hauff－ Lichtenstein（南山堂） 杉山－ Wirtschaftslehre（南山堂） 青木－ ヒットラー演説集（白水社） Keller－ Landvogt（南山堂） Rosenberg－Der Kampf um die Weltanschauung（白水社） Binding－Unsterblichkeit（三省堂） Spengler - Essays（郁文堂）	
	乙	同上	新津－ American Short Stories（北星堂）	Bauch－ Anfangsgründe der Philosophie（大學書林） Vierkand－Familie, Volk und Staat（藝文書院） Thalheim - Grundlage der Wirtschaft（大學書林） Planck－ Die Physik im Kampf um Weltanschauung（大學書林） 德澤－ Zwei Aufsätze von Spengler（郁文堂） 木村－ Volk und Dichtung（南山堂） Dilthey－ Novalis（郁文堂） 松島－ Zur Rechtsphilosophie（郁文堂） Gierke－ Die Grundbegriffe des Staatsrechts.（郁文堂） Ziegler - Die drei Weltanschauungen（郁文堂） Spranger－Probleme der Kulturmorphologie（郁文堂）	
二年	甲	藤村作－日本文學史概說（中興館） 藤村作－清少納言枕草子（普及版）（至文堂） 佐野保太郎－講本古事記（育英書院） 植松安－祝詞壽詞宣命氏文（大倉廣文堂） 中村已喜夫－諸訓參考萬葉集抄（白帝社） 簡野道明－諸子文粹（明治書院）	Essays in Literary Criticism（北星堂） Contemporary English Essays（泰文堂） Strachey－ Queen Victoria（開隆堂） Hardy－ A Tragedy of Two Ambitions（荘人社） Palmer－ Seven Talks on England（北星堂）	Hesse－ Demian（南江堂）	
	乙	同上	Dickens－Oliver Twist（荘人社）	Stifter－ Kalkstein（藝文書院） Spranger－Wertwandel mit dem Lebensalter（大學書林） Glockner－Philosophie.（大學書林） 白旗北村－ Zwei naturwissenschaftliche Aufsätze（南山堂） Fischer－Der Nationalsozialismus, biologisch begründet（郁文堂） Hesse－ Die Heimkehr（大學書林） Strich－ Renaissance und Reformation（郁文堂） Vincent－ Leidenschaft und Klarheit（青木學修堂） Johst－ Mutter ohne Tod（大倉廣文堂）	

	Dickens—Oliver Twist （荳人社	白 族— Zwei naturwissenschaftliche Aufsätze（南山堂） 北 村— Fischer—Der Nationalsozialismus, biologisch begründet （郁文堂） Hesse— Die Heimkehr（大學書林） Strich— Renaissance und Reformation（郁文堂） Vincent— Leidenschaft und Klarheit（青木學修堂） Johst— Mutter ohne Tod（大倉廣文堂） Storm— Von Jenseit des Meeres（南山堂）	
統記（明治書院） 言第二輯（中興館） 選（歷代詩歌選） 新選（白帝社） 文法（白帝社） 言集註編（弘道館） 新鈔（弘道館）	八 鳥— College Readings（荳人社） 藤 田— Advanced English Composition（文明協會） Palmer— Seven Talks on England（北星堂） 河 合— A New English Grammar（開隆堂） 名 原— Lady into Fox（開隆堂）	粕 屋— 正則文法讀本（南山堂）	日 野 - 遺傳學概論（前野書店）
	Hilton— Goodbye, Mr.Chips（開隆堂） One-Act Plays of 1932-'33（大洞書房）	青 木— 初級獨逸讀本（南山堂） Hesse— Der Dichter.（藝文書院） Schweizer.— Aus meiner Jugend.（大倉廣文堂） 上 村— 獨逸語文法教科書（南江堂） 小 村— Handbuch der deutschen Sprache.（大學書林） 小 森— Kleine Erzählungen.（大學書林） Storne—In St. Jürgen	
	黒 澤— The Return of the Native（荳人社） 矢 川— Science and Humanity（開隆堂） 內 田— The Scope and Method of Scince（陵友社） 中 村— Stories from jacob（興文社）	尾 崎— Kriegsbrief gefallener Studenten（南山堂） Heyse— Der Verlorene Sohn（南江堂） Wildenbruch— Das edle Blut（南江堂） 德 澤— Grundrichtungen der Naturwissenschaft（南江堂） Helmholz—Erinnerungen eines alten Naturforschers（陵友社） 金 原— Der Zweikampf und andere Erzählungen（南山堂） Windelband—Sub specie aeternitatis（大學書林）	福 田—高等圖學（裳華房） 竹 內—高等積分學（裳華房） 山 岡—わが有機化學（內田老鶴圃） 脇 本 外七名—物理學（裳華房） 石 橋 外五名—動物學（裳華房） 福 井—動物解剖鏡檢手引（紅城社）
		Deutscher Geist und seine Entwicklung（日獨書院） Grosse Ärzte.（青木學修堂） Heisenberg—Das Weltbild der Naturwissenhschaft（大學書林）	

	科	年	乙	同　上	Dickens—Oliver Twist （荳人社）	白 旗— Zwei naturwissenschaftliche Aufsätze 北 村 Fischer—Der Nationalsozialismus, biologisch b Hesse— Die Heimkehr （大學書林） Strich— Renaissance und Reformation （郁文堂 Vincent— Leidenschaft und Klarheit （青木學修 Johst— Mutter ohne Tod （大倉廣文堂） Storm— Von Jenseit des Meeres （南山堂）
		一 年	甲	堀江秀雄—神皇正統記 （明治書院） 平林治德—謠曲狂言第二輯 （中興館） 森敬三—國代短歌選 （歷代詩歌選） 森敬三—平家物語新選 （白帝社） 山上・泉—綜合高等文法 （白帝社） 諸橋轍次 福原龍藏—類編論言集註編 （弘道館） 鹽谷温—文章軌範 古文眞寶新鈔 （弘道館）	八 鳥— College Readings （荳人社） 藤 田— Advanced English Composition （文明協會） Palmer- Seven Talks on England （北星堂） 河 合— A New English Grammar （開隆堂） 名 原— Lady into Fox （開隆堂）	粕 屋.— 正則文法讀本 （南山堂）
			乙	同　上	Hilton— Goodbye, Mr.Chips （開隆堂） One-Act Plays of 1932-'33 （大洞書房）	青 木— 初級獨逸讀本 （南山堂） Hesse— Der Dichter. （藝文書院） Schweizer.— Aus meiner Jugend. （大倉廣文堂） 上 村— 獨逸語文法教科書 （南江堂） 小 村— Handbuch der deutschen Sprache. （ 小 森— Kleine Erzählungen. （大學書林） Stome—In St. Jürgen
	理	三 年	甲		黑 澤— The Return of the Native （荳人社） 矢 川— Science and Humanity （開隆堂） 內 田— The Scope and Method of Scince （陵友社） 中 村— Stories from jacob （興文社）	尾 崎— Kriegsbrief gefallener Studenten （南山 Heyse— Der Verlorene Sohn （南江堂） Wildenbruch— Das edle Blut （南江堂） 德 澤— Grundrichtungen der Naturwissensch Helmholz—Erinnerungen eines alten Naturforsc 金 原— Der Zweikampf und andere Erzählun Windelband—Sub specie aeternitatis （大學書林）
						Deutscher Geist und seine Entwicklung （日獨書院 Grosse Ärzte. （青木學修堂） Heisenberg—Das Weltbild der Naturwissenhsch

			Helmholz—Erinnerungen eines alten Naturforschers（陵友社） 金 原— Der Zweikampf und andere Erzählungen（南山堂） Windelband—Sub specie aeternitatis（大學書林）	石 橋 外五名 —動物學（裳華房） 福 井 —動物解剖鏡檢手引（紅城社）
乙		新 津— American Short Stories（北星堂）	Deutscher Geist und seine Entwicklung（日獨書院） Grosse Ärzte.（青木學修堂） Heisenberg－Das Weltbild der Naturwissenhschaft（大學書林） Bavink—Naturwissenschaft und Weltanschauung（南江堂） 野 村 外二名— Natur und Naturforscher（南江堂） Carossa－Geheimnisse des reifen Lebens（大學書林） Wund— Der deutsche Idealismus（郁文堂）	同 上
甲	島津久基—古典新抄（典型篇）（中興館）	久 野— Man against Nature and Other Essays.（開隆堂） Hardy— The Mayor of Casterbridge（荏人社） Barbauk— Shorter Short Stories（北星堂）	Reissmann－Zwei wissenschaftliche Essays（大學書林） Storm— Der Schimmelreiter（南山堂） Reichenbach－Wege und Ziele der heutigen Naturphilosophie（大學書林） 井 口— Deutsch für Naturwissenscaftler（南山堂） Beyer— Das deutsche Vaterland（郁文堂） Hesse— Eine Fussreise im Herbst（郁文堂）	石 川—詳解無機化學（內田老鶴圃） 脇 本 外七名 —物理學（裳華房） 池 田—最近高等動物學（三省堂） 福 田—高等圖學（裳華房）
乙	同 上	Dickens— Oliver Twist（荏人社）	Stifter－ Kalkstein（藝文書院） Ziegler—Der deutsche Mensch（郁文堂） Planck－Der Kausalbegriff in der Physik（大學書林） Freyer－Das geschichtliche Selbstbewusstsein des 20. Jahrhunderts（郁文堂） Haas— Die Materie（大學書林） Hesse— Kinderzeit und Kinderseele	同 上
甲	諸橋轍治 福原龍藏 —類編論語集註（弘道館） 盧谷 温—文章軌範 古文眞寶 新抄（弘道館） 島津久基—古典新抄（歷代篇）（中興館） 同 簡要國文學史綱（中興館）	宮 森— Contemporary One-Act plays（北星堂） The Distracted Preacher and Other Tales（開隆堂） Keith— Darwinism and What it Implies（開隆堂） J. London—The White Silence and Aloha Oe（開隆堂） Wells— The Truth about Pyecraft（開拓社）	松 野— 基礎獨逸文典（青木學修堂） 高 橋— Neues deutsches Lesebuch（郁文堂） Britting— Fischfrevel an der Donau（郁文堂） 關— Vier Dichtermärchen（北星堂） 石 川— 獨逸語小教程（藝文書院） Andersen—Märchen（大學書林） 吉 田— Drei märchenhafte Novellen（大學書林） 高 坂— Drei Novellen（南山堂）	宮 本—改訂がうす五桁對數表 附用法 三省堂 補. 外六名 —植物學（裳華房） 福 田—高等圖學（裳華房）
乙	諸橋轍次 福原龍藏 —類編論語集註（弘道館） 島津久基—古典新抄（歷代篇）（中興館） 同 簡要國文學史綱（中興館）	Hilton—Goodbye, Mr. Chips（南山堂） James—One-Act Plays of 1932-'33（大洞書房）	青 木— 獨語初步（南山堂） 尾 崎— 理科中級讀本（南山堂） 番匠谷— アルトハイデルベルグ物語（郁文堂） 佐久間— 教科用獨逸文法（南山堂）	同 上

理科	二年	乙		新津-- American Short Stories（北星堂）	Deutscher Geist und seine Entwicklung（日獨書院） Grosse Ärzte.（青木學修堂） Heisenberg－Das Weltbild der Naturwissenhschaft（大學書林） Bavink—Naturwissenschaft und Weltanschauung（南江堂） 野村外二名— Natur und Naturforscher（南江堂） Carossa－Geheimnisse des reifen Lebens（大學書林） Wund— Der deutsche Idealismus（郁文堂）	同　上
		甲	島津久基—古典新抄(典型篇)（中興館）	久野— Man against Nature and Other Essays.（開隆堂） Hardy— The Mayor of Casterbridge（莊人社） Barbauk— Shorter Short Stories（北星堂）	Reissmann－Zwei wissenschaftliche Essays（大學書林） Storm— Der Schimmelreiter（南山堂） Reichenbach－Wege und Ziele der heutigen Naturphilosophie（大學書林） 井口— Deutsch für Naturwissenscaftler（南山堂） Beyer— Das deutsche Vaterland（郁文堂） Hesse— Eine Fussreise im Herbst（郁文堂）	石川—詳解無機化學 脇本外七名—物理學（裳華 池田—最近高等動物 福田—高等圖學（裳
		乙	同　上	Dickens— Oliver Twist（莊人社）	Stifter— Kalkstein（藝文書院） Ziegler—Der deutsche Mensch（郁文堂） Planck－Der Kausalbegriff in der Physik（大學書林） Freyer－Das geschichtliche Selbstbewusstsein des 20. Jahrhunderts（郁文堂） Haas— Die Materie（大學書林） Hesse— Kinderzeit und Kinderseele	同　上
	一年	甲	諸橋轍治 福原龍藏—類編論語集註（弘道館） 塩谷　温—文章軌範 古文眞寶新抄（弘道館） 島津久基—古典新抄(歷代篇)（中興館） 同　簡要國文學史綱（中興館）	宮森— Contemporary One-Act plays（北星堂） The Distracted Preacher and Other Tales（開隆堂） Keith— Darwinism and What it Implies（開隆堂） J. London—The White Silence and Aloha Oe（開隆堂） Wells— The Truth about Pyecraft（開拓社）	松野— 基礎獨逸文典（青木學修堂） 高橋— Neues deutsches Lesebuch（郁文堂） Britting— Fischfrevel an der Donau（郁文堂） 關— Vier Dichtermärchen（北星堂） 石川— 獨逸語小教程（藝文書院） Andersen—Märchen（大學書林） 吉田— Drei märchenhafte Novellen（大學書林） 高坂— Drei Novellen（南山堂）	宮本—改訂がうす五 楠.外六名—植物學（裳華 福田—高等圖學（裳
	年	乙	諸橋轍次 福原龍藏—類編論語集註（弘道館） 島津久基—古典新抄(歷代篇)（中興館） 同　簡要國文學史綱（中興館）	Hilton—Goodbye, Mr. Chips（南山堂） James—One-Act Plays of 1932-'33（大洞書房）	青木— 獨語初步（南山堂） 尾崎— 理科中級讀本（南山堂） 番匠谷— アルトハイデルベルグ物語（郁文堂） 佐久間— 教科用獨逸文法（南山堂）	同　上


26
33
30
34
31
32
47
27
48
49
3

第六高等學校畧圖

縮尺千二百

1 表門衛所
2 本館
イ、校長室　ロ、事務室　ハ、教官室　ニ、應接室
ホ、會議室　ヘ、地質及鑛物學教室　ト、便所
3 小使室
4 宿直室
5 生徒控所兼雨天體操場
6 化學教室
イ、講義室　ロ、準備室　ハ、假數學室　ニ、器械室
ホ、第一實驗室　ヘ、第一實驗準備室　ト、蒸溜室　チ、天秤室
リ、第二實驗室　ヌ、第二實驗準備室　ル、硫化水素室　オ、暗室
7 物理學教室
イ、講義室　ロ、準備室　ハ、器械室　ニ、暗室　ホ、第一實驗室
ト、第二實驗室　ヘ、東製圖室
8 生物學教室
イ、標本室　ロ、準備室、ハ、器械及標本室
ニ、講義室　ホ、實驗室　ヘ、器械磨場
9 生徒控室
イ、物置　ロ、事務室　ハ、教官閲覧室　ニ、書庫
10 圖書館
イ、閲覧室　ロ、物置
11 便所
12 物置
13 發電所
14 銃器室
15 講堂
16 圖書館
17 物置
18 生徒控室
イ、玄關　ロ、應接室　ハ、守衛室　ニ、事務室
ホ、寄宿舍　ヘ、宿直室　ト、浴場　チ、賄所　リ、ランプ室
ヌ、便所　ル、物置　ヲ、機關室　ワ、物置　カ、物置
19 植物園
20 生徒集會所、イ、娯樂室　ロ、物置　ハ、番人詰所　ニ、便所
21 石油庫
22 生徒寄宿舍
イ、外國人教師官舍
23 自動車庫
24 南門衛所
25 北門衛所
26 物置
27 暖房室
28 裏門（南、北）
29 體操場
30 便所
31 洗面所
32 弓道場
33 柔道場
34 劍道場
35 狹搾射撃場
36 物置
37 便所
38 物置
39 體操場
40 物置
41 物置
42 自轉車置場
43 電話交換室
44 植物溫室附屬暖房汽罐室
45 植物溫室
46 生徒主事官舍
47 プール脫衣所
48 生徒面會所
49 雨天體操場
50 艇庫
51 寄宿舍
52 寄宿舍

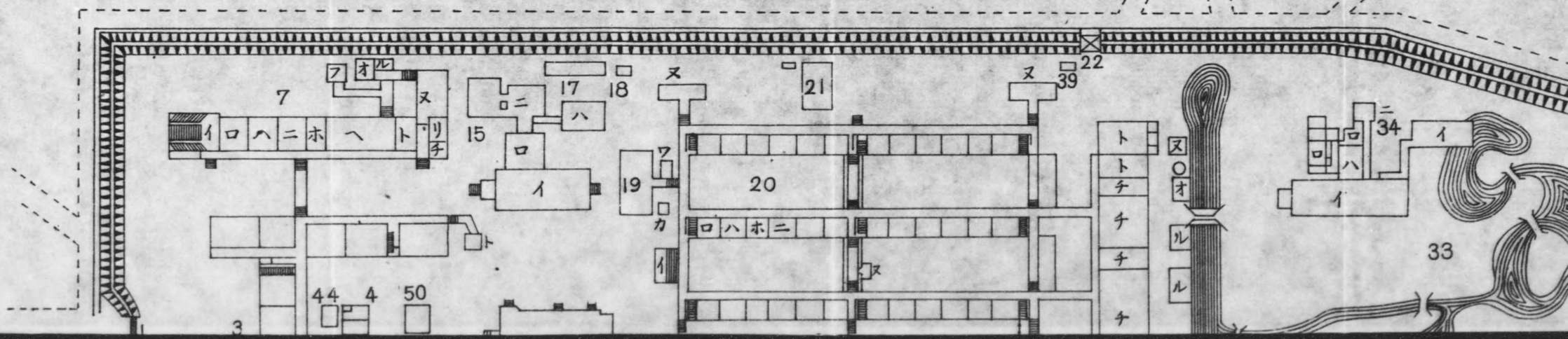
本館二階

寄宿舎二階

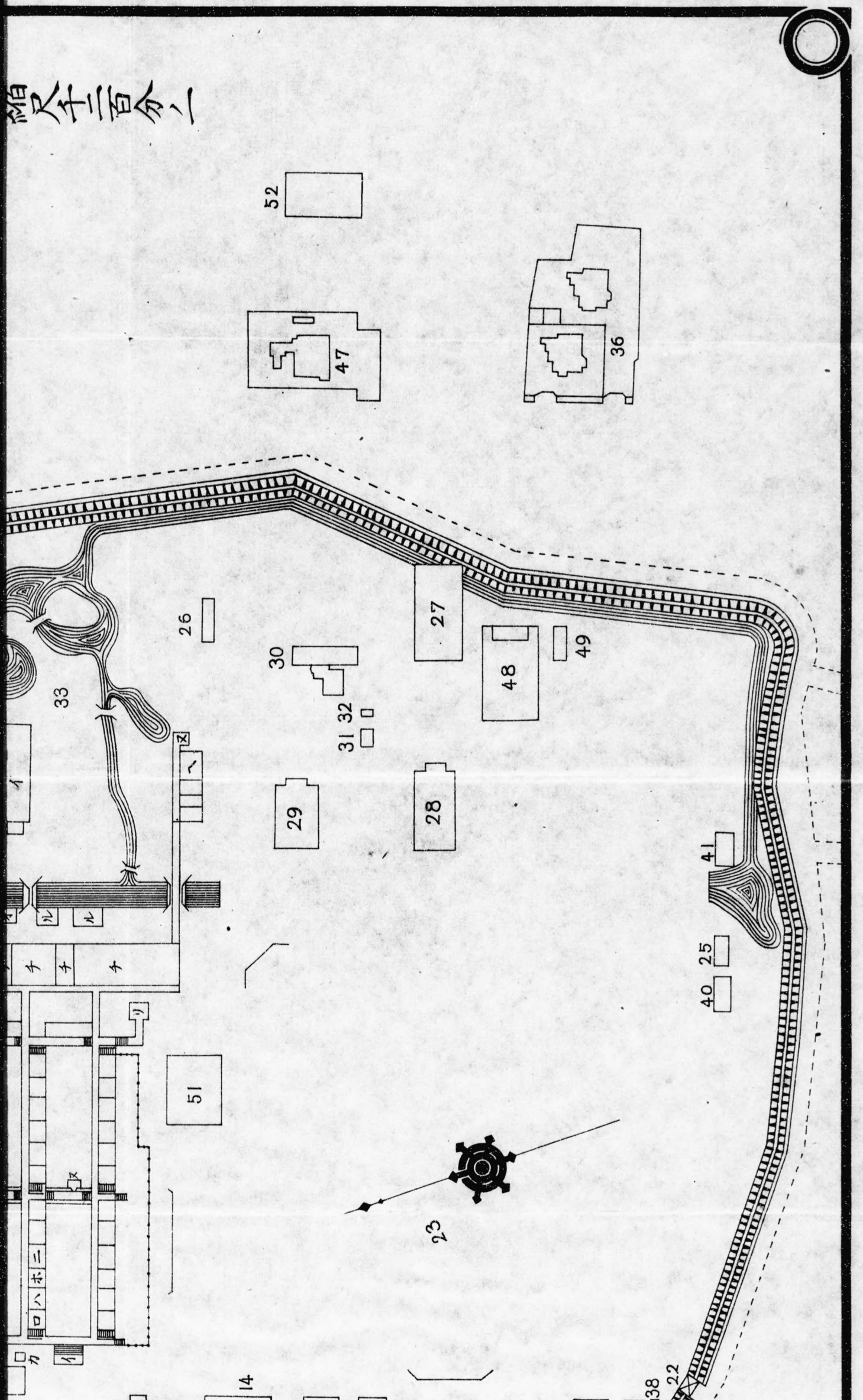
ホ

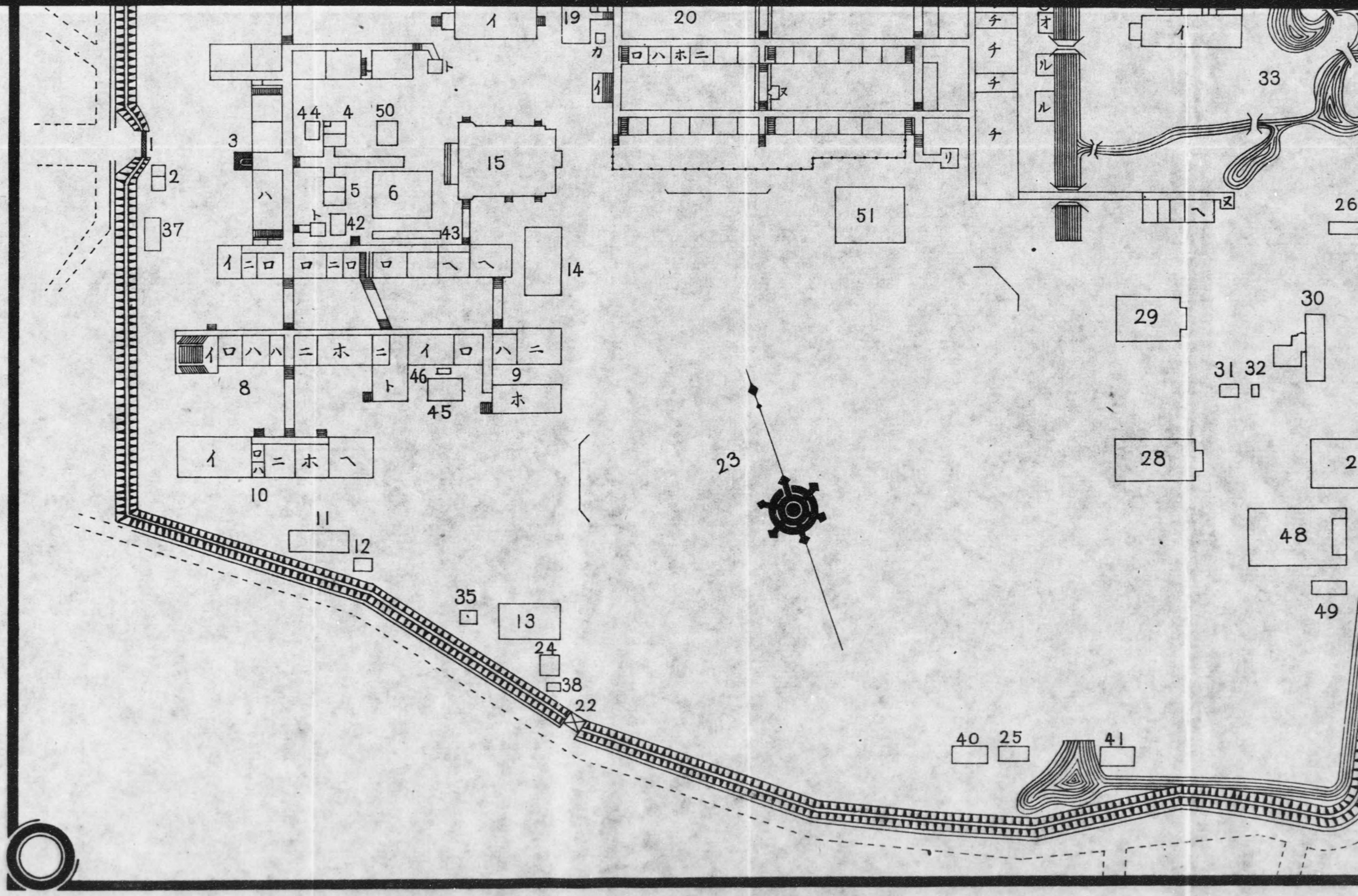
52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21

52 艇庫
51 雨天體操場
50 生徒面會所
49 ブール脫衣所
48 生徒主事官舍
47 植物溫室附屬暖房汽罐室
46 植物溫室
45 電話交換室
44 自轉車置場
43 物置
42 物置
41 北門衛所
40 南門衛所
39 自動車庫
38 傭外國人教師官舍
37 石油庫
36 生徒集會所、イ、娛樂室、ロ、物置、ハ、番人詰所、ニ、便所
35 植物園
34 便所
33 洗面所
32 弓道場
31 柔道場
30 劍道場
29 狹搾射擊場
28 便所
27 物置
26 體操場
25 裏門（南、北）
24 暖房室
23 ヌ、便所、ル、物置、オ、機關室、ワ、物置、カ、物置



縮尺千三百分一


52
47
36
26
27
30
49
48
31
32
33
29
28
41
40
25
51
23
14
38
22
イ
ロ
ハ
ニ
ホ
ヘ
ト
チ
リ
ヌ
ル
ヲ
カ


1
2
37
3
44
4
50
15
5
6
42
43
14
8
9
46
45
10
11
12
35
13
24
38
22
23
19
20
51
33
26
29
30
31
32
28
48
49
40
25
41

昭和十四年七月廿五日印刷
昭和十四年七月卅日發行

編輯兼發行人　岡山市國富田中　第六高等學校

印刷者　岡山市內山下五五番地　四谷八藤

印刷所　岡山市內山下五五番地　四谷印刷所

390
416